

A-PACKAGE

AOMORI ENGLISH PACKAGE



令和6年3月発行

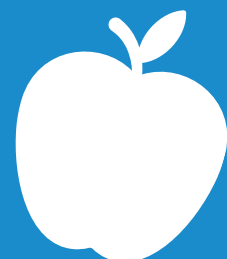
青森県小・中学校外国語教育充実検討委員会

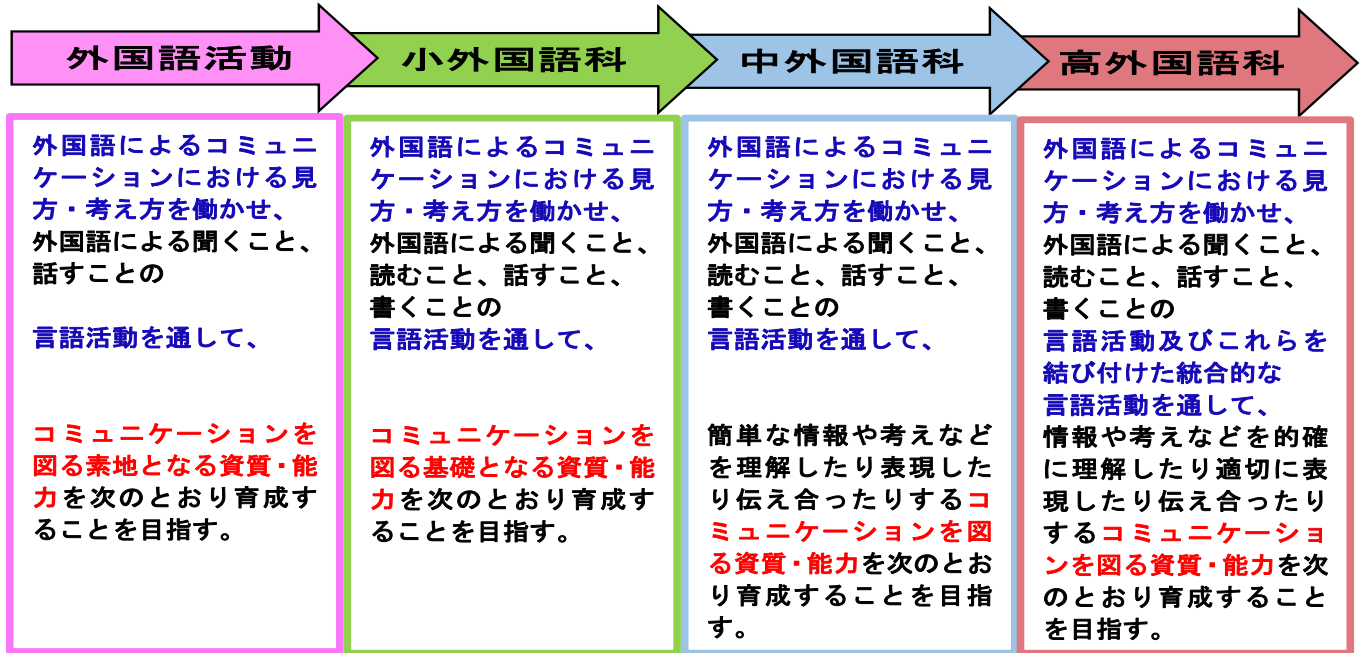
TABLE OF CONTENTS

巻頭言

*A-PACKAGE*の活用に向けて

Chapter 01	AOMORI CAN-DOリスト	p4
Chapter 02	AOMORI ENGLISH MODEL	p11
Chapter 03	小学校実践ハンドブック	p18
Chapter 04	中学校実践ハンドブック	p53
Chapter 05	中学校定期テスト作成サポートブック	p78
Chapter 06	SMALL TALK, トリディス, ICT, ALT	p108





(「令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会」直山視学官説明資料をもとに作成)

「学習指導要領」(平成29年告示)では、各校種の学びを接続させるとともに、「外国語を使って何ができるようになるか」を明確にするという観点から、目標や内容の改善・充実が図られました。

上の図は「外国語活動」「外国語科」の目標を各校種ごとに示したものです。青文字が校種を通じて共通している部分です。赤文字は育成する資質・能力で、校種によって(中学校と高等学校はその前の黒文字も含めてみると)異なります。これらを踏まえると、外国語教育の目標は「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、それぞれの校種で示されている資質・能力を育成すること」であることが確認できます。また、それぞれの校種で示されている資質・能力を着実に育成するためのキーワードは「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせる」、「言語活動を通して指導する」であり、校種間の連携(接続)が不可欠であることも見て取れるかと思えます。

「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」については、「学習指導要領」に「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」と示されています。また、「言語活動」については、「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック(文部科学省)」に「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動」を意味すること、言語材料について理解したり練習したりするための指導とは区別されること、が示されています。

令和6年度からは、これまで生じていた中学校に入学する児童が小学校で受けた外国語活動・外国語科の総授業時数の差がなくなり、外国語活動・外国語科合わせて210時間の授業を受けた子どもたちが中学校に入学してきます。私たち外国語教育に関わる全ての者は、改めて、各校種の学びの接続、「外国語を使って何ができるようになるのか」を明確にした授業づくりについて確認し、そのような授業を通して、自分自身の成長を感じたり、自己存在感や自己有用感を高めたりすることができる子どもたちを増やしていきたいものです。

この度、各校種の学びの接続を意識し、「外国語を使って何ができるようになるのか」を明確にした授業づくりに役立てていただけるよう、これまで県教育委員会で作成・配布した外国語教育に係る冊子等の内容を更新・再構築するとともに、新たな内容を追加し、「AOMORI ENGLISH PACKAGE(通称A-PACKAGE)」を作成しました。作成には、県教育委員会、市町村教育委員会、広域事業組合教育委員会の外国語教育担当指導主事が一丸となって当たりました。今後とも、先生方と共に、本県の外国語教育のさらなる充実のために力を尽くして参りたいと思えます。

先生方におかれましては、本PACKAGEを、必要に応じてアレンジ等を加えながら、日常の実践に是非ご活用いただければと思います。

AOMORI ENGLISH PACKAGE の活用に向けて

AOMORI ENGLISH PACKAGE (A-PACKAGE) は日常の実践と関連させて考えることでより有効に活用いただけます。また、下のチェックリストを活用いただくと、PACKAGE の中で活用可能な資料が明確になります。「自己の重点項目を決める」「授業参観の視点として使う」「新たな項目を付け加える」など、工夫してご活用ください。

★チェックリストの「A-PACKAGE 関連資料」欄の数字は、以下の資料を表しています。

- ①「AOMORI CAN-DO リスト」 ②「AOMORI ENGLISH MODEL(単元計画シート)」 ③「実践ハンドブック」
④「中学校定期テスト作成サポートブック」 ⑤「SMALL TALK, トリオ・ディスカッション, ICT, ALT」

	項目	チェック (○△×)	A-PACKAGE 関連資料
1	授業が実際のコミュニケーションの場となるよう意識し、適切に（小・中の学校種に応じて）英語を使って授業をしている。		⑤
2	本時のねらいを明確に設定している。		① ②
3	「理解や練習を促すための指導」と「言語活動」を適切に使い分けている。		② ③
4	言語活動において、目的や場面、状況等を明確に設定している。		② ③
5	設定したコミュニケーションの目的や場面、状況等を子どもと共有している。		② ③
6	言語活動において、伝えたい「内容」と伝えるための「英語表現」両方を子どもに思考・判断させている。		② ③
7	言語活動において、言語面・内容面でのフィードバックを行っている。		② ③
8	単元など内容や時間のまとまりの構想（ゴールイメージ等）を明確にしている。		① ② ③
9	単元など内容や時間のまとまりの構想（ゴールイメージ等）を子どもと共有している。（単元の導入時や単位時間の授業の中で）		① ② ③
10	ウォームアップ（Small Talk、トリオ・ディスカッションを含む）を、単元又は本時のねらい等と関連させている。		② ⑤
11	ウォームアップを、中心となる言語活動又は理解や練習を促すための指導と関連させている。		② ⑤
12	言語活動を単元など内容や時間のまとまり又は授業の中で繰り返し設定している。		② ③ ⑤
13	言語活動を通して、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方が働くようにしている。		① ③ ⑤
14	CAN-DO リストを子ども等と共有している。（ワークシートに記載する等）		①
15	単元など内容や時間のまとまり又は本時において、パフォーマンステスト等を実施している。		② ③
16	「記録に残す評価」と「指導に生かす評価」について意識している。		② ③ ④
17	定期テストは、各技能（領域）のどの観点を見取るのかを明確にして作成している。		④
18	ICT 等を効果的に活用している。		⑤
19	ALT 等の役割分担を明確にするなど、効果的にチーム・ティーチングをしている。		⑤
20			
21			
22			
23			
24			

参考：「ふくしま・イングリッシュ・コンパス」（福島県教育委員会）

C H A P T E R



AOMORI
CAN-DOリスト

「CAN-DO リストの形での学習到達目標」作成の手引き

1 CAN-DO リストの形での学習到達目標とは？

「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の五つの領域ごとに、卒業時及び各学年修了時までには児童生徒に身に付けさせる能力を、学習指導要領の各領域の目標に基づき、「～することができる」の形で一覧表にしたものです。ここではその一覧表を「CAN-DO リスト」と表すことにします。

2 なぜ CAN-DO リストの作成が求められているのか？

「外国語(英語)」を用いて何ができるようになるか」というコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指した指導と評価をするためです。

「外国語(英語)を使って何ができるようになるか」という観点から、CAN-DO リストを作成します。教科書・教材、児童生徒の学習状況、授業時数等を踏まえながら、できるだけ分かりやすく設定し、その目標に到達するための指導方法を工夫・改善することが期待されています。

3 CAN-DO リストを作成することの効果とは？

教員と児童生徒がゴールを共有し、学習への見通しをもち、学習を評価する(振り返る)ことで主体的な学びを可能にします。

- (1) 「外国語(英語)を使って何ができるようになるのか」を明らかにすることができる。
- (2) 外国語(英語)の学習の「ゴール」が明確になる。
- (3) 文字、語彙、文構造等の知識を活用してコミュニケーションを図ることができる。
- (4) 教員間で共通理解を図りながら指導に当たることができる。
- (5) パフォーマンステストなどを活用することによって「外国語(英語)を用いて何ができるか」という観点から評価することができる。

4 CAN-DO リストの役割とは？

「ゴールを示すこと」と「そのゴールへの到達度を確認」する役割が求められます。

- (1) 「何ができる」ようになるかを知る—到達目標として
- (2) 「どれくらいできる」ようになるかを知る—自分の学びの位置を確認する判断基準として
- (3) 「できるようになる」ために自ら学習する—自律的な学習者を育てるため

5 CAN-DO リストの設定手順とその使い方は？

AOMORI CAN-DO リストを参考に自校版 CAN-DO リストを作成し、活用しましょう。

- (1) CAN-DO リストの目的を中学校区内の外国語(英語)担当教員等で共有します。
- (2) 児童生徒の学習の状況等を踏まえ、卒業時の学習到達目標を「～することができる」という形で、五つの領域ごとに記述します。この時、具体的な学習到達目標となるよう、数値目標を設定してもよいでしょう。
- (3) 卒業時の学習到達目標から、学年ごとの目標を「～することができる」という形で、五つの領域ごとに設定します。その上で各単元における目標を「～することができる」という形で記述し、主な学習活動、評価方法を計画します。
- (4) ペーパーテストに加え、面接、スピーチ、エッセーなどのパフォーマンス評価を活用します。
- (5) 各単元や学期、学年といった単位で学習到達目標の達成状況を把握し、必要に応じて指導方法を改善します。
- (6) 卒業時及び学年ごとの目標の適切さを検討し、必要に応じて見直します。

AOMORI CAN-DO リストや自校版 CAN-DO リストを活用し、児童生徒が自分の学びを振り返る、児童生徒用 CAN-DO リストを作成することもできます。

○ 自校版 CAN-D0 リスト作成のために
例えば、主に下線部を指導内容等に応じて具体的にすることで自校の CAN-D0 リストにすることが出来ます。

AOMORI CAN-D0 リスト(中学校 1～3年生)

中学校で育てたい生徒像	○ 自己評価の活用について AOMORI CAN-D0 リストでは、児童生徒が外国語の学習における到達の程度を4段階で自己評価するための欄を設けています。 色を塗らせるなどの方法で、自己評価の程度を可視化することで、主体的に外国語の学習に取り組む態度の育成につながることを期待できます。
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

中学校卒業時の学習到達目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用したり表現したり伝え合ったりすることができる。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりすることができる。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、書き手、話し手、書き手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

5つの領域ごとの中学校卒業時の学習到達目標

	ア	イ	ウ	関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて即興で話したり書いたりすることができる。	関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて即興で話したり書いたりすることができる。	関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて正確に書くことができる。	学年
ア	はつきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	はつきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	はつきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて正確に書くことができる。	7
イ	はつきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	はつきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	はつきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて正確に書くことができる。	1
ウ	はつきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。	はつきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。	はつきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。	社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて正確に書くことができる。	ウ

学年	聞くこと	読むこと	話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	書くこと	学年	
中	ア 是つかりと話されれば、9.0程度の日常的な話題(日常生活、校内外の放送、交通情報など)について、必要な情報を聞き取ることができる。	ア 是つかりと話されれば、9.0程度の日常的な話題(日常生活、校内外の放送、交通情報など)について、必要な情報を聞き取ることができる。	ア 関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて、即興で話したり書いたりすることができる。	ア 関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて、即興で話したり書いたりすることができる。	ア 関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて、即興で話したり書いたりすることができる。	ア 関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて、即興で話したり書いたりすることができる。	中
3	イ 是つかりと話されれば、9.0程度の日常的な話題(日常生活、校内外の放送、交通情報など)について、必要な情報を聞き取ることができる。	イ 是つかりと話されれば、9.0程度の日常的な話題(日常生活、校内外の放送、交通情報など)について、必要な情報を聞き取ることができる。	イ 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	イ 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	イ 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて正確に書くことができる。	イ 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて正確に書くことができる。	3
中	ウ 是つかりと話されれば、9.0程度の日常的な話題(日常生活、校内外の放送、交通情報など)について、必要な情報を聞き取ることができる。	ウ 是つかりと話されれば、9.0程度の日常的な話題(日常生活、校内外の放送、交通情報など)について、必要な情報を聞き取ることができる。	ウ 関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて、即興で話したり書いたりすることができる。	ウ 関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて、即興で話したり書いたりすることができる。	ウ 関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて、即興で話したり書いたりすることができる。	ウ 関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて、即興で話したり書いたりすることができる。	中
2	ア 是つかりと話されれば、5.0程度の日常的な話題(日常生活、校内外の放送、交通情報など)について、必要な情報を聞き取ることができる。	ア 是つかりと話されれば、5.0程度の日常的な話題(日常生活、校内外の放送、交通情報など)について、必要な情報を聞き取ることができる。	ア 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	ア 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	ア 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて正確に書くことができる。	ア 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて正確に書くことができる。	2
中	イ 是つかりと話されれば、5.0程度の日常的な話題(日常生活、校内外の放送、交通情報など)について、必要な情報を聞き取ることができる。	イ 是つかりと話されれば、5.0程度の日常的な話題(日常生活、校内外の放送、交通情報など)について、必要な情報を聞き取ることができる。	イ 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	イ 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	イ 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて正確に書くことができる。	イ 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な文や文を用いて正確に書くことができる。	中
1	ウ 是つかりと話されれば、5.0程度の日常的な話題(日常生活、校内外の放送、交通情報など)について、必要な情報を聞き取ることができる。	ウ 是つかりと話されれば、5.0程度の日常的な話題(日常生活、校内外の放送、交通情報など)について、必要な情報を聞き取ることができる。	ウ 関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて、即興で話したり書いたりすることができる。	ウ 関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて、即興で話したり書いたりすることができる。	ウ 関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて、即興で話したり書いたりすることができる。	ウ 関心のある事柄について、簡単な文や文を用いて、即興で話したり書いたりすることができる。	1
評価方法	リスニングテスト ペーパーテスト	リーディングテスト ペーパーテスト	スピーキングテスト	スピーキングテスト	ライティングテスト ペーパーテスト	評価方法	

※評価の際、ワークシートや振り返りシートを補助的に活用することも考えられる。

☺ (自信あり!) から ☹ (もつと練習したい!) まで、色を塗るなどして、それぞれの目標をどれくらい達成できたか確認しよう。

AOMORI CAN-DO リスト(小学校5・6年生)

小学校で育てたい児童像

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を身に付けた児童。

小学校卒業時の学習到達目標

- 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、慣れ親しむ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。
- コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞き取り話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちを伝えることができる基礎的な力を身に付けている。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

5つの領域ごとの小学校卒業時の学習到達目標

ア	ゆつくりはつきり話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。	活字体で書かれた文字の形の識別し、身の回りの物に記されている大文字及びびく文字を見て、その名称を正確に発音することができる。	読むこと ア 活字体で書かれた文字の形の識別し、身の回りの物に記されている大文字及びびく文字を見て、その名称を正確に発音することができる。 イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。 ※掲帖、パンフレット、絵本などの言語外情報を伴って示された語句や表現から必要とする情報を得たり、その意味を推測したりする。	話すこと ア 買い物、食事、道案内、旅行などの場面を、形を公表し、依頼をし、それらに応じたりすることができる。 イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄(食べ物、着た服など)について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、児童同士で伝え合うことができる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	大文字、小文字を活字体で書くことができる。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。	7
イ	ゆつくりはつきり話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄(食べ物、着た服など)について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、児童同士で伝え合うことができる。	話すこと ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄(食べ物、着た服など)について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。 イ 自分や相手のこと(趣味や得意なことなど)について、聞き取りながら伝えたりする。内容や基本的な表現を決定するために整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発音やイントネーションなどに気を付けて話すことができる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。	イ	
ウ	ゆつくりはつきり話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄(食べ物、着た服など)について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、児童同士で伝え合うことができる。	自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、児童同士で伝え合うことができる。	話すこと ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄(食べ物、着た服など)について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。 イ 自分や相手のこと(趣味や得意なことなど)について、聞き取りながら伝えたりする。内容や基本的な表現を決定するために整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発音やイントネーションなどに気を付けて話すことができる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。	ウ	

学年	聞くこと ア ゆつくりはつきり話されれば、5～8文程度の内容の文章(第三者のこと、短い話、辞書のこと、町や文化など)について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。 イ ゆつくりはつきり話されれば、5～8文程度の日常生活に関する身近で簡単な事柄(行き先、場所、活動など)について、具体的な情報(季節や場所、数字など)を聞き取ることができる。 ウ ゆつくりはつきり話されれば、5～8文程度の日常生活に関する身近で簡単な事柄(自己紹介、人物紹介、通過の話をしたいことなど)について、短い話の概要を捉えることができる。	読むこと ア 活字体で書かれた文字の形の識別し、身の回りの物に記されている大文字及びびく文字を見て、その名称を正確に発音することができる。 イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。 ※掲帖、パンフレット、絵本などの言語外情報を伴って示された語句や表現から必要とする情報を得たり、その意味を推測したりする。 ウ 活字体で書かれた文字の形の識別し、大文字及びびく文字を見て、その名称を正確に発音することができる。 イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現のおおまかな意味が分かる。 ※掲帖、パンフレット、絵本などの言語外情報を伴って示された語句や表現を識別する。	話すこと「やり取り」 ア 初対面の人とあいさつや自己紹介したり、買い物、食事、道案内、旅行などの場面を、基本的な表現を用いて指示、依頼をし、それらに応じたり断ったりすることができる。 イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄(食べ物、着た服など)について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手から質問に答えたりすることができる。 ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄(食べ物、着た服など)について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手から質問に答えたりすることができる。	話すこと「発表」 ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄(時刻や日時、場所など)について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞き取りながら伝えたりする。内容や基本的な表現を決定するために整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発音やイントネーションなどに気を付けて話すことができる。 イ 自分や相手のこと(趣味や得意なことなど)について、聞き取りながら伝えたりする。内容や基本的な表現を決定するために整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発音やイントネーションなどに気を付けて話すことができる。 ウ 身近で簡単な事柄(学校生活や地域に関することなど)について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	書くこと ア 大文字、小文字を正確に書き写すことができる。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。 イ 自分や身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分自身で表現したい内容のものに置き換えて書くことができる。(置き換える文や語句は例示する) ウ 自分や身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分自身で表現したい内容のものに置き換えて書くことができる。(置き換える語句は例示する)	学年
小	6	小	小	小	小	小
5	5	5	5	5	5	5

※評価の際、ワークシートや振り返りシートを補助的に活用することも考えられる。

〇〇 (自信あり!) から 〇〇 (もっと練習したい!) まで、色を塗るなどして、それぞれの目標をどれくらい達成できたか確認しよう。

AOMORI CAN-DO リスト (小学校3・4年生)

4 学年修了時の学習到達目標

- (1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語の音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。
 (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝える力の素地を身に付けている。
 (3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

5 つの領域ごとの 4 学年修了時の学習到達目標

ア	ゆっくりはっきりはつきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取ろうとする。		基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりしようとする。	身の回りの物について、人前で実物を見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。	ア	7
イ	ゆっくりはつきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味を分かろうとする。		自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとする。	自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。	イ	1
ウ	文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかを分かろうとする。		サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり質問に答えたりしようとする。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。	ウ	4

学年	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	学年
小 4	<p>ア ゆっくりはつきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句(好きな色や食べ物、着ている服、持ち物など)を聞き取ろうとする。</p> <p>イ ゆっくりはつきりと話された際に、イラストや写真などを手掛かりとして、身近で簡単な事柄(よく知っている人や物など)に関する基本的な表現の意味を分かろうとする。</p> <p>ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかを分かろうとする。(大文字・小文字)</p>	<p>ア 相手に配慮しながら、基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりしようとする。</p> <p>イ 相手に配慮した上で、自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとする。</p> <p>ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、2～3語の文で答えたりして会話を続けようとする。</p>	<p>ア 身の回りの物(文房具、果物、飲み物など)について、人前で実物、イラスト、写真などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p> <p>イ 自分自身(好きな場所、学校・教室など)について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p> <p>ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄(曜日や時刻、場所など)について、人前でカレンダーなどの具体物を見せながら、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p>	<p>ア 動物、身体の一部、状態、気持ちなどについて、人前でイラスト、写真などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p> <p>イ 自分や友達の名前の頭文字について、人前でカードを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p> <p>ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前でイラストや写真などを見せながら、自分の考えや気持ちを簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p>		小 4
小 3	<p>ア 繰り返しはつきりはつきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句(好きな色や食べ物、着ている服、持ち物など)を聞き取ろうとする。</p> <p>イ 繰り返しはつきりと話された際に、話し手の顔の表情や身振り、イラストや写真などを手掛かりとして、身近で簡単な事柄(よく知っている人や物など)に関する基本的な表現の意味を分かろうとする。</p> <p>ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかを分かろうとする。(大文字)</p>	<p>ア 相手に伝わるように工夫した上で、自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとする。</p> <p>イ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、2～3語の文で答えたりしようとする。</p>	<p>ア 表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら、基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりしようとする。</p> <p>イ 相手に伝わるように工夫した上で、自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとする。</p> <p>ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、2～3語の文で答えたりしようとする。</p>	<p>ア 動物、身体の一部、状態、気持ちなどについて、人前でイラスト、写真などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p> <p>イ 自分や友達の名前の頭文字について、人前でカードを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p> <p>ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前でイラストや写真などを見せながら、自分の考えや気持ちを簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p>		小 3
評価方法	授業における活動 ワークシート 振り返りカード	授業における活動 ワークシート 振り返りカード	授業における活動 ワークシート 振り返りカード	授業における活動 ワークシート 振り返りカード		評価方法

☺ (自信あり!) から -- (もっと練習したい!) まで、色を塗るなどして、それぞれの目標をどれくらい達成できたか確認しよう。

CAN-DO リスト活用例 ～單元ごとの CAN-DO リストを作成する場合～

- 1 教科書の単元を通して育てたい資質・能力を、AOMORI CAN-DO リストから選択する。

例) 教科書内容 → Blue Sky2 Unit4 My Future Dream

対応する CAN-DO リスト → 2 学年 話すこと [発表] イ

※教科書の単元でスピーチを扱っている場合、「話すこと [発表]」の力を育てることに適していると判断できる。

- 2 CAN-DO リストの下線部を教科書の題材などに変えて「単元目標」とする。

学年	話すこと [発表]
2	イ <u>日常的な話題</u> について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、聞き手の反応を確認しながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 □□□□

例えば、Blue Sky2 の Unit4 であれば、My Future Dream を題材にしているため、下線部を「将来の夢」などに変更する。

- 3 育てたい資質・能力に応じて、具体的な活動場面を想定しながら文言を変更する。

必要に応じて言葉をつないだり、削除したり、「自分で調べた情報を基に」などの学習プロセスが分かる文言を入れたりすることなども考えられる。

＜文言を変更した単元目標例＞

学年	話すこと [発表]
2	イ <u>将来の夢</u> について、自分の考えや気持ちを整理し、理由を付けてまとまりのある内容を話すことができる。 □□□□

- 4 「単元目標」を観点別にまとめると評価規準（単元目標を実現できたと判断する児童生徒の具体的な姿を記述したもの）になる。

評価規準の習得状況の程度を示したものが評価基準となる。その際、数値や記号、条件等で採点の基準を設定する。評価基準は、ルーブリックと呼ばれる。

＜条件設定の考え方・例＞

- ・自分の考えや気持ちを整理→「将来の夢について興味・関心をもって取り組んでいることについて述べている」
- ・理由を付けて→「将来の夢についてその理由を述べている」
- ・まとまりのある内容→「opening-body-closing などの文章構成で述べている」

- 5 単元目標及び対応する CAN-DO リストを単元のスタートで児童生徒と共有する。

- 6 単元目標及び対応する CAN-DO リストの到達度を単元末に児童生徒と確認する。

到達できたと判断したら☑を書かせる。

～教科書内容ベース（單元ごと）の CAN-DO リスト例～

年間指導計画			CAN-DO リスト					評価方法
単元名	題材名	言語材料	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	
			【2学年終了時】 はっきりと話されれば、 <u>日常的な話題</u> について必要な情報を聞き取ったり、話の大きな内容を捉えることができる。	【2学年終了時】 日常的な話題について必要な情報を聞き取ったり、話の大きな内容を捉えることができる。	【2学年終了時】 自分の考えや気持ちについて即興で伝え合ったり、日常的な話題についてメモを活用しながらやり取りできる。	【2学年終了時】 自分の考えや気持ちについて、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して話すことができる。	【2学年終了時】 自分の考えや気持ちについて、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して書くことができる。	
Unit1	What is Hero?	There is/are] ~ 接続詞when 遠征旅行	はっきりと話されれば、ヒーローについて、大きな内容を捉えることができる。(イ)	簡単な語句や文で書かれたヒーローについての文章から、話の大きな内容を捉えることができる。(イ)	自分の好きなヒーローについて、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合うことができる。(ア)	自分の考えをヒーローについて、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して話すことができる。(イ)	自分の考えをヒーローについて、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して書くことができる。(イ)	パフォーマンステスト【発表会】または動画録画
Let's Talk1	待ち合わせ	in front of next to behind between A and B	はっきりと話されれば、待ち合わせの対話文から、必要な情報を聞き取ることができる。(ア)	簡単な語句や文で書かれた待ち合わせに関する対話文から、必要な情報を読み取ることができる。(ア)	待ち合わせについて、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合うことができる。(ア)			動画録画(カードを引き、条件に合うように話す。)
Unit2	Traveling Overseas	will+動原の否定形 be going to+動原の原形 助動詞must	はっきりと話されれば、海外旅行の対話文から、大きな内容を捉えることができる。(イ)	簡単な語句や文で書かれた海外旅行に関する対話文から、話の大きな内容を捉えることができる。(イ)	海外旅行について、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して伝えたり、相手からの質問に応答したりすることができる。(イ)	海外旅行について、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して話すことができる。(イ)	海外旅行について、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して書くことができる。(イ)	パフォーマンステスト【発表会】または動画録画
Let's Talk2	旅行の準備	have to don't have to	はっきりと話されれば、旅行の準備の対話文から、必要な情報を聞き取ることができる。(ア)	簡単な語句や文で書かれた旅行に関する対話文から、必要な情報を読み取ることができる。(ア)	旅行に必要な物について、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合うことができる。(ア)			動画録画(カードを引き、条件に合うように話す。)

※黄色の枠内は、教科書内容から判断して、育成する資質・能力に適した領域。

参考資料

- ・文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年3月）
- ・文部科学省 小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編（平成29年7月）
- ・文部科学省 中学校学習指導要領（平成29年3月）
- ・文部科学省 中学校学習指導要領解説 外国語編（平成29年7月）
- ・文部科学省 小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック（平成29年6月）
- ・文部科学省 Let's Try! 1
- ・文部科学省 Let's Try! 2
- ・青森県教育委員会 小学校外国語活動・外国語科 実践ハンドブック（平成31年3月）
- ・青森県教育委員会 中学校外国語科パフォーマンス評価実践ハンドブック（平成30年3月）
- ・啓林館 BLUE SKY English Course 123（令和2年版）
- ・東京書籍 NEW HORIZON English Course 123（令和2年版）
- ・三省堂 NEW CROWN English Series 123（令和2年版）
- ・光村図書 Here We Go English Course 123（令和2年版）
- ・札幌市教育委員会 令和2年度札幌市英語教育改善プラン 小・中・高等学校間の連携・接続を図る「札幌 CAN-DO スタンダード」活用ハンドブック（令和3年2月）
- ・瀧沢広人 実例でわかる！中学英語パフォーマンステスト&学習評価（令和3年10月）

C H A P T E R



AOMORI
ENGLISH MODEL
✧AEM

AOMORI ENGLISH MODEL【使い方解説】

【AOMORI ENGLISH MODELの手引き】（使い方の解説）

小学校 外国語 単元計画シート

Unit 4 単元名 Summer Vacation in the World

時間単位 3

①学年/Unit/単元名/時間の設定

学年やUnit、時間のセルを左クリックすると、右側に▼が表示されます。その▼を左クリックすると、それぞれのドロップダウンリストが表示されるので、そこから作成する学年やUnit (Lesson, Program)、時間数を選択し、左クリックします。単元名は、手入力してください。

単元目標

話すこと【発表】

うように、自分の夏休みの思い出について、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選んで相手に伝える。

「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標

日常生活に関する身近で簡単な事柄（時刻や日時、場所など）について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選んで相手に伝えるように話すことができる。

②単元目標の設定

※5領域から三つまで設定可能

（小学校外国語活動は3領域から）
「単元目標」の下のセルを左クリックすると、右側に▼が表示されます。その▼を左クリックすると、5領域（3領域）のドロップダウンリストが表示されます。そこから単元の目標にする領域を選択すると、下段の「CAN-DOリスト」のセルに選択した領域が自動で表示されます。その右のセルを左クリックすると、右側に▼が表示されるので、そこから「CAN-DOリスト」の目標をA～ウから選択すると、学習到達目標が自動で入力されます。目標文については、手入力してください。

【補足】

下のタブ「小 CAN-DOリストデータ」「中 CAN-DOリストデータ」を左クリックすると、AOMORI CAN-DOリストがそれぞれのシートに入力されています。自校のものに書き換える場合には、それぞれのシートを書き換えてください。

パフォーマンス課題

言語材料・語彙・表現

自分の夏休みの思い出について、友達やALTの先生に伝えるように発表する。

表現 I went to ~, I enjoyed ~, I ate ~, It was ~, など

語彙 したこと (went など)、食べ物 (curry and rice など)、自然 (desert など)、デザート (cake など)、味 (bitter など)

目標を達成している児童の姿

自分の夏休みの思い出について、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選び、友達やALTの先生に伝えるように発表している。

③パフォーマンス課題/言語材料・語彙・表現/目標を達成している児童生徒の姿

これらを入力することで、単元目標に応じた表が作成されます。これらの項目については、すべて手入力になります。

評価規準【話すこと【発表】】

知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

知識 I went to [saw/ate] ~, I enjoyed ~ing, It was ~, などの表現、および場所や食べ物等に関する語句について理解している。

技能 相手の思い出について、I went to [saw/ate] ~, I enjoyed ~ing, It was ~, などの表現、および場所や行動を表す語句などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。

知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

B 振りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。

A 振りのない正しい英文を用いて話すことができる。

※ Bに達していなければCとする

④評価規準/評価基準（ルーブリック）

「評価基準」のとなりには②で設定した領域名が自動で表示されます。これらを入力することで、単元目標に応じた表が作成されます。これらの項目については、すべて手入力になります。

単元計画

時	ねらい	主な言語活動等	学習評価		
			知識	技能	態度
1	単元のゴールをイメージし、教師の夏休みの思い出を聞いて、おおよその内容を理解する。	・【Let's Sing】【Let's Chant】 ・【Starting Out①】 世界の子どもたちの夏休みの過ごし方を知る ・【Let's Try①】			
2	自然を表す語句や、エミリーとグリーン先生の対話のおおよその内容を理解する。	・【Let's Sing】【Let's Chant】 ・【Starting Out②】 エミリーとグリーン先生の対話を知る ・【Let's Read and Write②③】 夏休みに訪れた場所や楽しんだことを書く			
3	夏休みに食べたものや見たものを紹介する。	・【Let's Sing】【Let's Chant】 ・Small Talk "What did you do yesterday?" ・【Let's Listen①】 登場人物が夏休みにしたことを聞きとる ・【Let's Try②】 夏休みに食べたものについて友達と尋ね合う			
4	夏休みの思い出や感想について尋ね合う。	・【Let's Sing】【Let's Chant】 ・【Let's Listen②】 登場人物が夏休みにしたこと、気持ちを聞きとる ・【Let's Try③】 夏休みに何をしようと思ったか友達と話す ・【Let's Read and Write④⑤】 友達と話したことを書く			
5	世界の夏休みについて知る。世界の小学生の思い出を聞いておおよその内容を理解する。	・【Let's Sing】【Let's Chant】 ・Small Talk "Did you enjoy your summer vacation?" Over the Horizon ・世界の小学生や先生方の夏休みの過ごし方聞き取る			
6	夏休みの思い出について、相手に伝わりやすい工夫して話す。	・【Let's Sing】【Let's Chant】 p38【Step1】【Step2】 夏休みの思い出のスピーチを作る 【ことば探検】の5つのキーワードを使って友達の思い出について尋ねる	SP	SP	SP
7	夏休みの思い出について、相手に伝わりやすい工夫して話す。	・【Step3】 パフォーマンステスト 夏休みの思い出について友達やALTの先生に伝えるように発表する ・振り返り	R	SI	W
8	前回の内容を振り返り、夏休みの思い出について書く。	・Let's Read and Writeを参考に、自分の発表した英文を書く ・パフォーマンステストの振り返りと相互評価 ・【Sound and Letters】【世界のすてき】			
9					
後日					

⑤単元計画

「学習評価」のセルは、左クリックすると右側に▼が表示されます。「記録に残す評価」をする場合には、ドロップダウンリストから該当する記号を選択してください。他の項目については、手入力となります。

※「学習評価」の記号について

- ・聞くこと=L
- ・読むこと=R
- ・話すこと【やり取り】=S I
- ・話すこと【発表】=S P
- ・書くこと=W

AOMORI ENGLISH MODEL【用語解説】

【AOMORI ENGLISH MODELについて】

AOMORI ENGLISH MODELは、「学習指導要領」と「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の理念を、外国語学習指導に最大限反映させるために考えました。可能な限り手順を簡略化しつつも、「参考資料」で示された「目標と指導と評価の一体化」の理念を忠実に再現できるように留意して作成しています。

【AOMORI ENGLISH MODELの手引き】（用語・指導上の解説）

小学校外国語単元計画シート		6年	Unit 4	単元名 Summer Vacation in the World	8時間単元
単元目標					
話すこと【発表】					
相手によりよく分かってもらえるように、自分の夏休みの思い出について、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選んで相手に伝えるように話すことができる。					
「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標	話すこと【発表】	ア	日常生活に関する身近で簡単な事柄（時刻や日時、場所など）について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選んで相手に伝えるように話すことができる。		
パフォーマンス課題			言語材料・語彙・表現		
自分の夏休みの思い出について、友達やALTの先生に伝えるように発表する。			表現	I went to ～, I enjoyed ～, I ate ～, It was ～, など	
			語彙	したこと (went など)、食べ物 (curry and rice など)、自然 (desert など)、デザート (cake など)、味 (bitter など)	
目標を達成している児童の姿					
自分の夏休みの思い出について、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選び、友達やALTの先生に伝えるように発表している。					
評価規準【話すこと【発表】】					
	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	I went to [saw/ate] ～, I enjoyed ～ing, It was ～, などの表現、および場所や食べ物等に関する語句などについて理解している。		相手に自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話している。		相手に自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
技能	夏休みの思い出について、I went to [saw/ate] ～, I enjoyed ～ing, It was ～, などの表現、および場所や行動を表す語句などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。				
評価基準（ルーブリック）					
	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
B	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。		夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話している。		夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
A	誤りのない正しい英文を用いて話すことができる。		Bに加え、相手に伝えるよう、話す内容の順番など工夫して話している。		Bに加え、相手に伝えるよう、話す内容の順番や声の大きさなど工夫して話そうとしている。

※ Bに達していなければCとする

①単元目標

単元で重点的に扱う目標（「どのような活動」ができるようになるか、「どの領域」を中心に指導するか）を考え、「単元目標」を作成します。「単元目標」は、4技能5領域のうち一つ～二つに絞るのが一般的です。

②CAN-DOリスト ※自校のCAN-DOリストとの関連を記す。

「単元目標」は「CAN-DOリスト」を意識して設定します。こうすると、「どのような条件」で「どんな内容」を「どの程度」でできればいいか構想しやすくなり、卒業時の学習到達目標達成の実現に近づきます。

③パフォーマンス課題／言語材料・語彙・表現

「目標を達成している児童生徒の姿」を見取るにはどんな「パフォーマンス課題」が適していて、そのパフォーマンスでは教科書のどんな「言語材料・語彙・表現」が使用されていればよいのかについて記します。

④目標を達成している児童生徒の姿

「目標を達成している児童生徒の姿」をイメージして、どんなことができるようになってほしいかについて記します。「単元目標」と似ていますが、ここにはあくまで学習者の現実的な姿を描きます。

⑤評価規準

児童生徒が、どのような学習状況であれば「単元目標」を実現できているか、具体的に記したものが「評価規準」です。「評価規準」は観点ごと（知技、思判表、態度）に設定し、「おおむね満足できる（=B）」状況を示します。また、「単元目標」を複数設定した場合には、それぞれに「評価規準」を設けます。「評価規準」の書き方はある程度決まった書き方になるので、「参考資料」を参考に設定します。

⑥評価基準（ルーブリック）

それぞれの「評価規準」で示した付けたい力を、児童生徒がどの程度まで習得しているかを、より具体的に明示した判断基準が「評価基準」です。

「評価基準」も観点ごと（知技、思判表、態度）に設定し、「おおむね満足できる（=B）」状況と「十分満足できる（=A）」を示します。また、「評価規準」と同様に、「単元目標」を複数設定した場合には、それぞれに「評価基準」も設定します。

AOMORI ENGLISH MODEL 【用語解説】

単元計画		主な言語活動等	学習評価		
時	ねらい		知	思	表
1	単元のゴールをイメージし、教師の夏休みの思い出を聞いて、おおよその内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Sing】 【Let's Chant】 【Starting Out①】 世界の子供たちの夏休みの過ごし方聞く 【Let's Try①】 			
2	自然を表す語句や、エミリーとグリーン先生の対話のおおよその内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Sing】 【Let's Chant】 【Starting Out②】 エミリーとグリーン先生の対話を聞く 【Let's Read and Write①②】 夏休みに訪れた場所や楽しんだことを書く 			
3	夏休みに食べたものや見たものを紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Sing】 【Let's Chant】 Small Talk "What did you do yesterday?" 【Let's Listen①】 登場人物が夏休みにしたことを聞きとる 【Let's Try②】 夏休みに食べたものについて友達と尋ね合う 			
4	夏休みの思い出や感想について尋ね合う。	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Sing】 【Let's Chant】 【Let's Listen②】 登場人物が夏休みにしたこと、気持ち聞きとる 【Let's Try③】 夏休みに何をしようと思ったか友達と話す 【Let's Read and Write③④】 友達と話したことを書く 			
5	世界の夏休みについて知る。世界の小学生の思い出を聞いておおよその内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Sing】 【Let's Chant】 Small Talk "Did you enjoy your summer vacation?" Over the Horizon 世界の小学生や先生方の夏休みの過ごし方聞き取る 			
6	夏休みの思い出について、相手に伝わりやすい工夫して話す。	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Sing】 【Let's Chant】 p38 【Step1】 【Step2】 夏休みの思い出のスピーチを作る 【ことば探検】 の5つのキーワードを使って友達の思い出について尋ねる 			
7	夏休みの思い出について、相手に伝わりやすい工夫して話す。	<ul style="list-style-type: none"> 【Step3】 パフォーマンステスト 夏休みの思い出について友達やALTの先生に伝えるように発表する 振り返り 	SP	SP	SP
8	前回の内容を振り返り、夏休みの思い出について書く。	<ul style="list-style-type: none"> Let's Read and Writeを参考に、自分の発表した英文を書く パフォーマンステストの振り返りと相互評価 【Sound and Letters】 【世界の手紙】 			
9					

⑦

⑧

⑨

⑦「単元計画」

「単元計画」は、児童生徒が学びのゴールに辿り着くまでの設計図です。身に付けさせたい能力を確実に身に付けさせるため、重点化を図った指導を心掛けます。例えば、毎時間どういった Small Talk や言語活動を積み重ねていけば、意図した力が身に付くか考えましょう。

また、単元の終盤には、「評価規準」に従って目標の達成状況を見取ります。指導したことを評価するというのは当然ですが、「評価するために指導する」という意識をもつと、指導がより深まります。

⑧「見通し」と「振り返り」

児童生徒は、「単元目標」を教師と共有し、目的・場面・状況を理解して「見通し」を立てます。また、単元の終末には言語面・内容面等から自らの学びを「振り返り」ます。

⑨「記録に残す評価」

「記録に残す評価」は、指導した内容について、生徒の達成状況を見取り、記録に残して総括するための評価です。単元の終盤、十分に指導をした後に行われます。



※「指導に生かす評価」

「記録に残す評価」に対して、「指導に生かす評価」というものがあります。これは単元の序盤と中盤、身に付けるべき資質・能力がどれくらい身に付いているかを評価規準に照らして見取り、適切な支援を行うことで児童生徒の学習改善につなげるために行われる評価で、「単元計画」には記載されません。

【指導と評価の一体化の流れの概略図】



※ 小学校外国語活動の評価について

外国語活動の記録については、評定をつけるのではなく、評価の観点に照らして、児童の学習状況に顕著な事項がある場合にその特徴を記入する等、児童にどのような力が身に付いたかを文書で端的に記述することとなっています。

よって、AOMORI ENGLISH MODELでも外国語活動のシートには「評価基準（ルーブリック）の欄は設けていません。

外国語活動 単元計画シート

3 年 Unit 9 単元名 What's this? 4 時間単元

単元目標		
話すこと [やり取り]		
自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形などで身の回りの物を言い表したり、ある物が何かをたずねたり答えたりして伝え合うことができる。		
「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標	話すこと [やり取り]	相手に伝わるように工夫した上で、自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとする。

パフォーマンス課題	言語材料・語彙・表現				
クイズを作り、それをお互いに出したり答えたりして、自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりする。	<table border="1"> <tr> <td>表現</td> <td>・What's this? ・It's ~. ・I like ~ (Unit 4の表現を参考にできる)</td> </tr> <tr> <td>語彙</td> <td>食べ物 (food, pizza, ice cream, cakeなど) 野菜 (vegetable, carrot, onion, cucumberなど) くだもの (fruit, grapes, orange, appleなど) 動物 (animal, dog, cat, rabbitなど) 色 (red, blue, green, yellowなど) 形 (circle, triangle, squareなど)</td> </tr> </table>	表現	・What's this? ・It's ~. ・I like ~ (Unit 4の表現を参考にできる)	語彙	食べ物 (food, pizza, ice cream, cakeなど) 野菜 (vegetable, carrot, onion, cucumberなど) くだもの (fruit, grapes, orange, appleなど) 動物 (animal, dog, cat, rabbitなど) 色 (red, blue, green, yellowなど) 形 (circle, triangle, squareなど)
表現	・What's this? ・It's ~. ・I like ~ (Unit 4の表現を参考にできる)				
語彙	食べ物 (food, pizza, ice cream, cakeなど) 野菜 (vegetable, carrot, onion, cucumberなど) くだもの (fruit, grapes, orange, appleなど) 動物 (animal, dog, cat, rabbitなど) 色 (red, blue, green, yellowなど) 形 (circle, triangle, squareなど)				

目標を達成している児童の姿
What's this?にIt's red.やIt's circle., It's a fruit.のようなヒントを付け加えて、相手にクイズを出したり、相手からのクイズに答えたりしている。さらに、I like ~.を用いて、お互いのことを知ろうとしている。 また、相手意識をもちながら、写真やイラストを用いて相手に伝わりやすいように工夫している。

評価規準【話すこと [やり取り]】			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
知識	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形などで身の回りの物を言い表したり、ある物が何かをたずねたり答えたりして伝え合っている。	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形などで身の回りの物を言い表したり、ある物が何かをたずねたり答えたりして伝え合おうとしている。	
技能			
	身の回りの物についてWhat's this? It's ~.などを用いてクイズを出したり答えたりすることに慣れ親しんでいる。		

単元計画		主な言語活動等	学習評価		
時	ねらい		知技	思判表	態度
1	身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かをたずねたり答えたりする表現を知る。	○Small Talk「好きな食べ物」 ○Activity: What's this?クイズ ・ALTやHRT (JTE)のWhat's this?クイズに答える。 ・学級全体でWhat's this?クイズを考え、ALTにクイズを出す。			
2	相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	○Small Talk「好きな野菜」 ○Activity: What's this?クイズ ・HRT (JTE)が掲示した物について、グループでWhat's this?クイズを考える。 ・グループ同士でクイズを出し合う。			
3	相手に伝わるように工夫しながら、What's this?クイズを考える。	○Small Talk「好きなくだもの」 ○Activity: What's this?クイズ ・グループでクイズに出す物を選び、What's this?クイズを考える。			
4	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、ある物についてたずねたり答えたりして伝え合ったり、相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりすることができる。	○Small Talk「好きな動物」 ○Activity: What's this?クイズ大会 ・グループ同士でクイズを出し合う。	SI	SI	SI
5					
後日					

小学校外国語 単元計画シート

6 年

Unit

4

単元名

Summer Vacation in the World

8 時間単元

単元目標		
話すこと [発表]		
相手によりよく分かってもらえるように、自分の夏休みの思い出について、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選んで相手に伝えるように話すことができる。		
「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標	話すこと [発表]	日常生活に関する身近で簡単な事柄（時刻や日時、場所など）について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選んで相手に伝えるように話すことができる。
	ア	

パフォーマンス課題	言語材料・語彙・表現				
自分の夏休みの思い出について、友達やALTの先生に伝えるように発表する。	<table border="1"> <tr> <td>表現</td> <td>I went to ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～. など</td> </tr> <tr> <td>語彙</td> <td>したこと (went など)、食べ物 (curry and rice など)、自然 (desert など)、デザート (cake など)、味 (bitter など)</td> </tr> </table>	表現	I went to ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～. など	語彙	したこと (went など)、食べ物 (curry and rice など)、自然 (desert など)、デザート (cake など)、味 (bitter など)
表現	I went to ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～. など				
語彙	したこと (went など)、食べ物 (curry and rice など)、自然 (desert など)、デザート (cake など)、味 (bitter など)				

目標を達成している児童の姿
自分の夏休みの思い出について、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選び、友達やALTの先生に伝えるように発表している。

評価規準【話すこと [発表]】		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識 I went to [saw/ate] ～. I enjoyed -ing. It was ～. などの表現、および場所や食べ物等に関する語句などについて理解している。	相手に自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	相手に自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
技能 夏休みの思い出について、I went to [saw/ate] ～. I enjoyed -ing. It was ～. などの表現、および場所や行動を表す語句などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。		
評価基準（ルーブリック）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
A 誤りのない正しい英文を用いて話すことができる。	Bに加え、相手に伝えるよう、話す内容の順番など工夫して話している。	Bに加え、相手に伝えるよう、話す内容の順番や声の大きさなど工夫して話そうとしている。

※ Bに達していなければAとする

単元計画			学習評価		
時	ねらい	主な言語活動等	知技	思判表	態度
1	単元のゴールをイメージし、教師の夏休みの思い出を聞いて、おおよその内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Sing】 【Let's Chant】 【Starting Out①】 世界の子どもたちの夏休みの過ごし方を聞く 【Let's Try①】 			
2	自然を表す語句や、エミリーとグリーン先生の対話のおおよその内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Sing】 【Let's Chant】 【Starting Out②】 エミリーとグリーン先生の対話を聞く 【Let's Read and Write①②】 夏休みに訪れた場所や楽しんだことを書く 			
3	夏休みに食べたものや見たものを紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Sing】 【Let's Chant】 Small Talk "What did you do yesterday?" 【Let's Listen①】 登場人物が夏休みにしたこと聞きとる 【Let's Try②】 夏休みに食べたものについて友達と尋ね合う 			
4	夏休みの思い出や感想について尋ね合う。	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Sing】 【Let's Chant】 【Let's Listen②】 登場人物が夏休みにしたこと、気持ちを聞きとる 【Let's Try③】 夏休みに何をしようと思ったか友達と話す 【Let's Read and Write③④】 友達と話したことを書く 			
5	世界の夏休みについて知る。世界の小学生の思い出を聞いておおよその内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Sing】 【Let's Chant】 Small Talk "Did you enjoy your summer vacation?" Over the Horizon 世界の小学生や先生方の夏休みの過ごし方を聞き取る 			
6	夏休みの思い出について、相手に伝わりやすい工夫して話す。	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Sing】 【Let's Chant】 p38 【Step1】 【Step2】 夏休みの思い出のスピーチを作る 【ことば探検】 の5つのキーワードを使って友達の思い出について尋ねる 			
7	夏休みの思い出について、相手に伝わりやすい工夫して話す。	<ul style="list-style-type: none"> 【Step3】 パフォーマンステスト 夏休みの思い出について友達やALTの先生に伝えるように発表する 振り返り 	SP	SP	SP
8	前回の内容を振り返り、夏休みの思い出について書く。	<ul style="list-style-type: none"> Let's Read and Writeを参考に、自分の発表した英文を書く パフォーマンステストの振り返りと相互評価 【Sound and Letters】 【世界のすてき】 			

中 学 校 外 国 語 単 元 計 画 シ ー ト

1 年

Unit

1

単元名

Friends in New Zealand

8

時間単元

単元目標		
話すこと [やり取り]		
自分の夏休みの思い出について、伝え合ったり、話したりすることができる。		
「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標	話すこと [やり取り]	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合うことができる。

パフォーマンス課題		言語材料・語彙・表現	
友達やALTの先生に習慣や好きなスポーツ、食べ物などをたずねたり、聞かれたことに答えたりする。	表現	What time do you ~? / I ~. What + 名詞 do you like? / I like ~. など	
	語彙	数, 名詞 (time, sport, animal, food, subject など), 動詞 (go to bed, eat, like など)	

目標を達成している生徒の姿
おたがいのことをよりよく知るために、相手や自分の習慣や好きなこと (もの) について、簡単な語句や文を用いて、情報を即興でたずねたり答えたりしている。

評価規準【話すこと [やり取り]】			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識	What + 名詞 ~? を用いた習慣的な行動の時刻や好きなこと (もの) のたずね方や答え方、および関連する語句などについて理解している。	おたがいのことをよりよく知るために、何かをする時刻や、相手や自分が好きなこと (もの) について、簡単な語句や文を用いて、情報を即興でたずねたり答えたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、何かをする時刻や、相手や自分が好きなこと (もの) について、簡単な語句や文を用いて、即興でたずねたり答えたりしようとしている。
技能	What + 名詞 ~? などの習慣的な行動の時刻、および好きなこと (もの) をたずねたり答えたりする表現や語句を用いて、情報をやり取りする技能を身に付けている。		
評価基準 (ルーブリック)			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B	What + 名詞 ~? を用いた習慣的な行動の時刻や好きなこと (もの) のたずね方や答え方、および関連する語句などについてある程度理解し、情報をやり取りしている。	おたがいのことをよりよく知るために、何かをする時刻や、相手や自分が好きなこと (もの) について、簡単な語句や文を用いて、3つ以上の情報を即興でたずねたり答えたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、何かをする時刻や、相手や自分が好きなこと (もの) について、簡単な語句や文を用いて、即興でたずねたり答えたりしようとしている。
A	What + 名詞 ~? を用いた習慣的な行動の時刻や好きなこと (もの) のたずね方や答え方、および関連する語句などについて理解し、正しい文法や語句を用いて情報をやり取りしている。	おたがいのことをよりよく知るために、何かをする時刻や、相手や自分が好きなこと (もの) について、簡単な語句や文を用いて、5つ以上の情報を即興で正確にたずねたり答えたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、何かをする時刻や、相手や自分が好きなこと (もの) について、簡単な語句や文、およびあいづちやつなぎ言葉などを用いて、即興で円滑にたずねたり答えたりしようとしている。

* Bに達していなければCとする

単元計画					
時	ねらい	主な言語活動等	学習評価		
			知技	思判表	態度
1	ALTとJTEのやり取りを見て、単元のゴールをイメージする。また、相手の状況に合わせて、指示や助言をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標の提示 【Enjoy Listening】 【Part 1】新出文法導入 (命令文) 【Your Turn】 			
2	本文の内容を捉え、文脈の中で命令文を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 【Enjoy Communication】小学校で慣れ親しんだ表現を復習する。 新出単語の導入 本文の内容理解 本文の音読練習 			
3	現在の時刻や習慣的な行動の時刻をたずねたり答えたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 【Enjoy Communication】小学校で慣れ親しんだ表現を復習する。 【Part 2】新出文法導入 (What time ~?) 【Your Turn】 コミュニケーション・アクティビティ (パフォーマンステストに向けた準備) 			
4	本文の内容を捉え、文脈の中でWhat time ~? を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 新出単語の導入 本文の内容理解 本文の音読練習 ワークブック 			
5	何が好きかたずねたり答えたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 【Enjoy Communication】小学校で慣れ親しんだ表現を復習する。 【Part 3】新出文法導入 (What + 名詞 do you like?) 【Your Turn】 コミュニケーション・アクティビティ (パフォーマンステストに向けた準備) 			
6	本文の内容を捉え、文脈の中でWhat + 名詞 ~? を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 新出単語の導入 本文の内容理解 本文の音読練習 【Grammar for Communication】疑問詞についてまとめる。 			
7	友達やALTの先生と習慣や好きなスポーツ、食べ物などについてたずね合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト ALTとやり取りを行う。自分のやり取りの様子をICT機器で録画する。 	SI	SI	SI
8	ICT機器を活用して前回の内容を振り返り、書く活動につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を用いて自分のパフォーマンステストの映像を見て振り返る。 パフォーマンステストでやり取りした内容を3つ選び、書き起こす。 			

C H A P T E R



小学校
実践ハンドブック

【目 次】

- 1 「CAN-DOリストの形での学習到達目標」作成の手引き
- 2 AOMORI CAN-DOリスト（小学校5・6年生）
- 3 AOMORI CAN-DOリスト（小学校3・4年生）
- 4 CAN-DOリスト活用例
- 5 実践事例
 - (1) 聞くこと
 - (2) 読むこと
 - (3) 話すこと（やり取り）
 - (4) 話すこと（発表）
 - (5) 書くこと
- 6 参考文献

【本実践ハンドブックについて】

平成29年3月に告示された小学校学習指導要領が全面実施されてから4年が経ちます。本県の先生方におかれましては、小学校中学年「外国語活動」、高学年「外国語科」の指導の充実を目指し、日々の授業実践及び授業改善に取り組まれていることと思います。

このたび、平成31年3月発行の「小学校外国語活動・外国語科 実践ハンドブック」を見直し、単元目標やパフォーマンス課題、単元の評価規準等を示した上で、指導過程例の修正を加えました。小学校中学年「外国語活動」における実践事例については、「文部科学省 Let's Try! 1」「文部科学省 Let's Try! 2」の教材をもとに見直し・修正しておりますが、高学年「外国語科」の実践事例は、各教科書会社で出版されている教科書で扱われている題材をもとに見直し・修正しております。各学校の児童の実態に合わせて御活用いただければと思います。

最後に、本実践ハンドブックが、本県の子どもたちの外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による各技能の言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地または基礎となる資質・能力の育成につながる一助となれば幸いです。

「CAN-DO リストの形での学習到達目標」作成の手引き

1 CAN-DO リストの形での学習到達目標とは？

「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の五つの領域ごとに、卒業時及び各学年修了時までには児童生徒に身に付けさせる能力を、学習指導要領の各領域の目標に基づき、「～することができる」の形で一覧表にしたものです。ここではその一覧表を「CAN-DO リスト」と表すことにします。

2 なぜ CAN-DO リストの作成が求められているのか？

「外国語(英語)」を用いて何ができるようになるか」というコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指した指導と評価をするためです。

「外国語(英語)を使って何ができるようになるか」という観点から、CAN-DO リストを作成します。教科書・教材、児童生徒の学習状況、授業時数等を踏まえながら、できるだけ分かりやすく設定し、その目標に到達するための指導方法を工夫・改善することが期待されています。

3 CAN-DO リストを作成することの効果とは？

教員と児童生徒がゴールを共有し、学習への見通しをもち、学習を評価する(振り返る)ことで主体的な学びを可能にします。

- (1) 「外国語(英語)を使って何ができるようになるのか」を明らかにすることができる。
- (2) 外国語(英語)の学習の「ゴール」が明確になる。
- (3) 文字、語彙、文構造等の知識を活用してコミュニケーションを図ることができる。
- (4) 教員間で共通理解を図りながら指導に当たることができる。
- (5) パフォーマンステストなどを活用することによって「外国語(英語)を用いて何ができるか」という観点から評価することができる。

4 CAN-DO リストの役割とは？

「ゴールを示すこと」と「そのゴールへの到達度を確認」する役割が求められます。

- (1) 「何ができる」ようになるかを知る—到達目標として
- (2) 「どれくらいできる」ようになるかを知る—自分の学びの位置を確認する判断基準として
- (3) 「できるようになる」ために自ら学習する—自律的な学習者を育てるため

5 CAN-DO リストの設定手順とその使い方は？

AOMORI CAN-DO リストを参考に自校版 CAN-DO リストを作成し、活用しましょう。

- (1) CAN-DO リストの目的を中学校区内の外国語(英語)担当教員等で共有します。
- (2) 児童生徒の学習の状況等を踏まえ、卒業時の学習到達目標を「～することができる」という形で、五つの領域ごとに記述します。この時、具体的な学習到達目標となるよう、数値目標を設定してもよいでしょう。
- (3) 卒業時の学習到達目標から、学年ごとの目標を「～することができる」という形で、五つの領域ごとに設定します。その上で各単元における目標を「～することができる」という形で記述し、主な学習活動、評価方法を計画します。
- (4) ペーパーテストに加え、面接、スピーチ、エッセーなどのパフォーマンス評価を活用します。
- (5) 各単元や学期、学年といった単位で学習到達目標の達成状況を把握し、必要に応じて指導方法を改善します。
- (6) 卒業時及び学年ごとの目標の適切さを検討し、必要に応じて見直します。

AOMORI CAN-DO リストや自校版 CAN-DO リストを活用し、児童生徒が自分の学びを振り返る、児童生徒用 CAN-DO リストを作成することもできます。

AOMORI CAN-DO リスト (小学校3・4年生)

4 学年修了時の学習到達目標

- (1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語の音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。
 (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝える力の素地を身に付けている。
 (3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

5 つの領域ごとの 4 学年修了時の学習到達目標

ア	ゆっくりはっきりはつきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取ろうとする。			身の回りの物について、人前で実物を見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。	7
イ	ゆっくりはつきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味を分かろうとする。			自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。	1
ウ	文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかを分かろうとする。			日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。	ウ

学年	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	学年
小 4	<p>ア ゆっくりはつきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句(好きな色や食べ物、着ている服、持ち物など)を聞き取ろうとする。</p> <p>イ ゆっくりはつきりと話された際に、イラストや写真などを手掛かりとして、身近で簡単な事柄(よく知っている人や物など)に関する基本的な表現の意味を分かろうとする。</p> <p>ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかを分かろうとする。(大文字・小文字)</p>	<p>ア 相手に配慮しながら、基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりしようとする。</p> <p>イ 相手に配慮した上で、自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとする。</p> <p>ウ サポートを受け、自分や相手のこと、相手の物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、2～3語の文で答えたりして会話を続けようとする。</p>	<p>ア 相手に伝わるように工夫した上で、自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとする。</p> <p>イ 相手に伝わるように工夫した上で、自分のことや身の回りの物について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p> <p>ウ サポートを受け、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、2～3語の文で答えたりしようとする。</p>	<p>ア 身の回りの物(文房具、果物、飲み物など)について、人前で実物、イラスト、写真などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p> <p>イ 自分自身(好きな場所、学校・教室など)について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p> <p>ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄(曜日や時刻、場所など)について、人前でカレンダーなどの具体物を見せながら、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p>	<p>ア 動物、身体の一部、状態、気持ちなどについて、人前でイラスト、写真などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p> <p>イ 自分や友達の名前の頭文字について、人前でカードを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p> <p>ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前でイラストや写真などを見せながら、自分の気持ちや考えなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとする。</p>	<p>小 4</p>
小 3	<p>ア 繰り返しはつきりはつきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句(好きな色や食べ物、着ている服、持ち物など)を聞き取ろうとする。</p> <p>イ 繰り返しはつきりと話された際に、話し手の顔の表情や身振り、イラストや写真などを手掛かりとして、身近で簡単な事柄(よく知っている人や物など)に関する基本的な表現の意味を分かろうとする。</p> <p>ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかを分かろうとする。(大文字)</p>					小 3
評価方法	授業における活動 ワークシート 振り返りカード		授業における活動 ワークシート 振り返りカード	授業における活動 ワークシート 振り返りカード		評価方法

☺ (自信あり!) から -- (もっと練習したい!) まで、色を塗るなどして、それぞれの目標をどれくらい達成できたか確認しよう。

CAN-DO リスト活用例 ～單元ごとの CAN-DO リストを作成する場合～

- 1 教科書の単元を通して育てたい資質・能力を、AOMORI CAN-DO リストから選択する。

例) 教科書内容 → Blue Sky2 Unit4 My Future Dream

対応する CAN-DO リスト → 2 学年 話すこと [発表] イ

※教科書の単元でスピーチを扱っている場合、「話すこと [発表]」の力を育てることに適していると判断できる。

- 2 CAN-DO リストの下線部を教科書の題材などに変えて「単元目標」とする。

学年	話すこと [発表]
2	イ <u>日常的な話題</u> について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、聞き手の反応を確認しながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 □□□□

例えば、Blue Sky2 の Unit4 であれば、My Future Dream を題材にしているため、下線部を「将来の夢」などに変更する。

- 3 育てたい資質・能力に応じて、具体的な活動場面を想定しながら文言を変更する。

必要に応じて言葉をつないだり、削除したり、「自分で調べた情報を基に」などの学習プロセスが分かる文言を入れたりすることなども考えられる。

＜文言を変更した単元目標例＞

学年	話すこと [発表]
2	イ <u>将来の夢</u> について、自分の考えや気持ちを整理し、理由を付けてまとまりのある内容を話すことができる。 □□□□

- 4 「単元目標」を観点別にまとめると評価規準（単元目標を実現できたと判断する児童生徒の具体的な姿を記述したもの）になる。

評価規準の習得状況の程度を示したものが評価基準となる。その際、数値や記号、条件等で採点の基準を設定する。評価基準は、ルーブリックと呼ばれる。

＜条件設定の考え方・例＞

- ・自分の考えや気持ちを整理→「将来の夢について興味・関心をもって取り組んでいることについて述べている」
- ・理由を付けて→「将来の夢についてその理由を述べている」
- ・まとまりのある内容→「opening-body-closing などの文章構成で述べている」

- 5 単元目標及び対応する CAN-DO リストを単元のスタートで児童生徒と共有する。

- 6 単元目標及び対応する CAN-DO リストの到達度を単元末に児童生徒と確認する。

到達できたと判断したら☑を書かせる。

～教科書内容ベース（單元ごと）の CAN-DO リスト例～

年間指導計画			CAN-DO リスト					評価方法
単元名	題材名	言語材料	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	
			【2学年終了時】 はっきりと話されれば、日常的な話題について必要な情報を聞き取ることができる。(イ)	【2学年終了時】 日常的な話題について必要な情報を聞き取ったり、話の大きな内容を捉えることができる。(イ)	【2学年終了時】 自分の好きなヒーローについて、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合うことができる。(ア)	【2学年終了時】 自分の考えやヒーローについて、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して話すことができる。(イ)	【2学年終了時】 自分の考えやヒーローについて、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して書くことができる。(イ)	
Unit1	What is Hero?	There is/are] ~ 接続詞when 過去進行形	はっきりと話されれば、ヒーローについて、大きな内容を捉えることができる。(イ)	簡単な語句や文で書かれたヒーローについての文章から、話の大きな内容を捉えることができる。(イ)	自分の好きなヒーローについて、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合うことができる。(ア)	自分の考えやヒーローについて、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して話すことができる。(イ)	自分の考えやヒーローについて、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して書くことができる。(イ)	パフォーマンステスト【発表会】または動画録画
Let's Talk1	待ち合わせ	in front of next to behind between A and B	はっきりと話されれば、待ち合わせの対話文から、必要な情報を聞き取ることができる。(ア)	簡単な語句や文で書かれた待ち合わせに関する対話文から、必要な情報を聞き取ることができる。(ア)	待ち合わせについて、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合うことができる。(ア)			動画録画(カードを引き、条件に合うように話す。)
Unit2	Traveling Overseas	will + 動原の原形 be going to + 動原の原形 助動詞must	はっきりと話されれば、海外旅行の対話文から、大きな内容を捉えることができる。(イ)	簡単な語句や文で書かれた海外旅行に関する対話文から、話の大きな内容を捉えることができる。(イ)	海外旅行について、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して伝えたり、相手からの質問に応答したりすることができる。(イ)	海外旅行について、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して話すことができる。(イ)	海外旅行について、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して書くことができる。(イ)	パフォーマンステスト【発表会】または動画録画
Let's Talk2	旅行の準備	have to don't have to	はっきりと話されれば、旅行の準備の対話文から、必要な情報を聞き取ることができる。(ア)	簡単な語句や文で書かれた旅行に関する対話文から、必要な情報を聞き取ることができる。(ア)	旅行に必要な物について、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合うことができる。(ア)			動画録画(カードを引き、条件に合うように話す。)

※黄色の枠内は、教科書内容から判断して、育成する資質・能力に適した領域。

4年 外国語活動【聞くこと】

「聞くこと」の言語活動は、全ての言語活動の始まりであり、土台です。そのため、デジタル教材の使用はもちろんのこと、指導者自身が積極的に英語を使い、児童が豊富に英語を聞くことができるようにすることが大切です。

活動においては、目的設定を大切に、児童が楽しみながら、必然性をもって聞くことができるようにしましょう。

そして、単なる知識として言葉を与えるのではなく、児童の身近な生活やコミュニケーション場面と関連付けて語句や表現と出合わせましょう。そうした出会いが、積極的な言葉の活用や主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながります。

1 AOMORI CAN-DO リスト（第4学年 ア）

ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句（好きな色や食べ物、着ている服、持ち物等）を聞き取ろうとする。

2 単元目標

友達を遊びに誘うために、天候や遊びについての表現を聞き取ることができる。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	世界と日本の天候や遊びの表現等の多様さに気付くとともに、天候の言い方を聞き取ることに慣れ親しんでいる。	友達を遊びに誘うために、天候や遊びについての表現を聞いて意味が分かっている。	友達を遊びに誘うために、天候や遊びについての表現を聞き取ろうとしている。

4 パフォーマンス課題【聞くこと】

海外に滞在している人からのレポートから、6つの国名とそれぞれの天気についての情報を聞き取る。

5 目標を達成している児童の姿

“I'm in Japan. It's sunny here. / I'm in Egypt. It's sunny. / I'm in Greenland. It's snowy. / I'm in Canada. It's cloudy today. / I'm in Brazil. It's rainy. / I'm in Hawaii. It's sunny. It's so hot.” というレポートを聞いて、国名及び天気を聞き取り、選択肢から該当する国名を選んだり、□内に天気の絵を描いたりしている。

6 指導過程例

4年 Unit2 Let's play cards. 好きな遊びを伝えよう 3/4			
目標 世界の天気や遊びについて聞き取ることができる。			
	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導 入	○天気について指導者の質問に答える。	・児童の答えやつぶやきに応じて It's sunny / rainy / cloudy / snowy. と紹介する。さらに、 Do you like sunny / rainy / cloudy / snowy days? と尋ね、児童と天気を話題にやり取りをすることで、天気の実現に慣れ親しませる。	教師用カード (天気) デジタル教材 ワークシート
	○チャンツ、歌、スモールトークを通して、天気の言い方にさらに慣れ親しむ。 【Let's Chant】 How's the weather? 【Let's Sing】 【small talk】	・児童と一緒にチャンツを言ったり、歌ったりする。 ・ALT や HRT が行う「天気や遊び」についてのやり取りを聞き、分かったことを発表する。	
世界の天気を聞き取ろう。			
展 開	【Let's Watch and Think 2】 p. 9 ○天気と世界の国々に関わる映像を見る。	・視聴させる前に、世界の国名を挙げさせ、その国の天気を予想させる。	デジタル教材
	【Let's Listen 3】 p. 9 ○国名と天気を聞き取り、□に天気の色を描く。 1: I'm in Japan. It's sunny here. 2: I'm in Egypt. It's sunny. 3: I'm in Greenland. It's snowy. 4: Hi, I'm in Canada. It's cloudy today. 5: I'm in Brazil. It's rainy. 6: I'm in Hawaii. It's sunny. It's so hot!	・場面設定の理解を深めるため、1度音声を聞かせ聞き取れた国名を発表させる。児童の様子をよく観察し、音声を途中で止めたり、繰り返し聞かせたりして、□に天気の色を描かせる。(p.9 Let's Listen 3の天気の色参照) ・なお、ここでは、国名について深く扱わないこととする。 ・他にどのような天気があるかや、そのときにできる遊び方を問いかけるなどして、次の活動につなげる。 ◎世界の天気を聞き取っている。 (指導に生かす評価) <行動観察・記入の点検>	児童用テキスト
	○天気に応じた好きな遊びを伝える。 ・ペアになり、天気に応じて好きな遊びを提案したり答えたりして伝え合う。	・ペアで好きな遊びを紹介し合い、sunny、rainy、cloudy等の天気の日に適したと思う遊びを互いに提案するよう伝える。隣、前後、斜めで繰り返し行わせる。	デジタル教材 教師用カード (遊び、天気)

	A : How's the weather? B : It's rainy. A : Oh, well, let's play cards, then? B : OK.		
終末	○本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度でよかつたところについて称賛する。	振り返りカード

7 事後指導

◎本時の活動において目標への到達状況が十分でない児童がいる場合は、次時に向けて個別に指導、支援する場面を設けたり、次時での挨拶や small talk において、意図的に指名したりする。

□効果的な「聞く」活動にするためのポイント

- 1 児童に「何だろう?」「知りたい!」という目的意識をもたせて「聞く必然性」を高めましょう。
- 2 指導者やALTが自分のことを語るなど、意味のある内容を繰り返し聞かせ、ジェスチャー等の非言語の要素を手がかりにしながら、「類推」できた（なんとなく分かった）という喜びや達成感を児童が得られるよう配慮しましょう。
- 3 自然な会話の中から児童にとって身近な場面を設定し、英文の内容を通して新しい語句や表現と出合わせましょう。

【指導上の留意点】

- Let's Listen 等の映像資料を扱う際には、「聞き取りテスト」とならないこと、逐語的に日本語に訳さないことなどに留意し、Small Talk を通して意味のあるやり取りを行い、児童が新しい表現と出合う場面を工夫しましょう。
- 映像資料については、1回目は全体をまとめて、2回目は区切って聞かせるなど、聞かせ方を工夫しましょう。

5年 外国語科【聞くこと】

高学年においても、自分のことや学校生活など、身近で簡単な事柄を取り扱い、ゆっくりはっきりと話される英語を聞くことができるようにすることが大切です。

児童は、中学年の外国語活動において、「聞くこと」の活動に取り組んでおり、簡単な語句や基本的な表現を聞くことについて慣れ親しんでいます。五つの領域の中で土台となる領域が「聞くこと」であることを踏まえ、どの児童も自信をもってこの活動に取り組むことができるよう、聞かせる事柄や聞かせる英語の速さに留意しましょう。

1 AOMORI CAN-DO リスト（第5学年 イ）

ゆっくりはっきりと話されれば、視覚的な情報を手掛かりにするなどして、3～5文程度の日常生活に関する身近で簡単な事柄（好きなことやできること、誕生日、時刻や値段など）について、具体的な情報（季節や場所、数字など）を聞き取ることができる。

2 単元目標

身近な人物を紹介するために、その人物のできること等の具体的な情報を聞き取ることができる。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識> 家族、職業、動作の言い方や can/can' t, he/she の表現について理解している。</p> <p><技能> できることやできないこと等の情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>身近な人物を紹介するために、その人物のできること、できないことについて具体的な情報を聞き取っている。</p>	<p>身近な人物を紹介するために、その人物のできること、できないことについて具体的な情報を聞き取ろうとしている。</p>

4 パフォーマンス課題【聞くこと】

身近な人物のできることやできないことを聞き取る。

5 目標を達成している児童の姿

指導者のスピーチ “My friend, John is from Australia. He can swim fast and he can play kendama. He can't cook. He can't play the piano.” を聞いて、できること等の情報を選択肢から選んだり、日本語で書き取ったりしている。

6 指導過程例

5年 身近な人物の紹介 5/8

目標 いろんな先生方のできることやできないことを聞き取ることができる。

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導 入	○【Small Talk】 有名人の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・有名人について話す。 ※本単元において児童に期待する姿のモデルを示す。 	紹介する有名人の写真
	<p>【例】 Today, I have a picture of someone. He is an athlete. Do you know the word "athlete"? He is a sport player. Who is he? I give you 3 hints. Hint No.1. He can run fast. Hint No.2. He can hit a lot. Do you know him? Any ideas? Hint No.3. He lives in America. Who is he? The answer is . . . ●●. I like him very much. He is very cool. . . ○○san, good job! (ヒントの途中ですでに当てていた児童を褒める。)</p> <p>誰がどんなことができるか、聞き取ろう。</p>		
展 開	<p>【Let' s Watch and Think2】 p. 38</p> <p>○ある2人の会話を聞いていた登場人物が、その情報をまとめ he/she を使って2人を紹介する映像を視聴し、分かったことを誌面に記入する。</p> <p>○指導者とやり取りをして答えを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映像を視聴する前に、登場人物の話す内容を予想させる。実態に応じて、繰り返し視聴させる。 ・登場人物の話聞いて分かったことを誌面に書くように指示する。 ・児童が書いたことについて、やり取りしながら確認する。 	デジタル教材
	<p>○ Who is he? Who is she?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ he/she を使って紹介された学校職員について、それが誰かを予想して答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数名の学校職員について、できること、できないことなどを he/she を使って児童に聞かせる。児童にどの人物のことかを考えさせ、答えさせる。 ◎視覚的な情報も参考にして、相手が話している内容を聞き取っている。(指導に生かす評価) 〈行動観察・ワークシート点検〉 ・答え合わせの際には、再度 he/she を使って、できること、できないことを話す。 	学校職員の写真 ワークシート

	<p>【Let's Chant】</p> <p>○She can run fast. He can jump high. のチャンツを言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を見ながら、スピードやオプションを選ぶ。 ・児童のモデルになるようにチャンツを言う。 ・映像とともにチャンツを流しながら、児童が内容を推測したり理解したりできるようにする。 	デジタル教材
終末	○本時の活動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを全体で確認しながら振り返りカードに記入させる。 ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 	振り返りカード

7 事後指導

◎本時の活動において目標への到達状況が十分でない児童がいる場合は、次時に向けて個別に指導する場面を設ける。また、次時において同様の活動を授業の復習として設定し、異なる内容を聞かせた上で、助言や支援を行う等する。

□効果的な「聞く」活動にするために・・・

表情豊かに伝えたり、ジェスチャーを活用したりすることにより、児童が英語を聞いて理解する手助けとなります。

ゆっくりはっきり話すとともに、児童の状況を的確に捉えて繰り返し聞かせたりすることも大切です。

また、児童と聞いた内容を確認するときには、単なる答え合わせとするのではなく、やり取りを通して内容を確認し、少しでも聞き取れたことを称賛し、自信をもたせるようにしましょう。

5年 外国語科【読むこと】

「読むこと」の言語活動で読ませる英語は、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現とすることに十分留意しましょう。

児童が主体的に読もうとする「学びに向かう力、人間性等」を育成するためにも、自分自身や仲間などの身近で簡単な事柄について、目的をもって推測しながら読む言語活動を設定するとともに、そのような活動に過度の負担を感じずに取り組むことができるよう、単元を通じて、毎時間、スモールステップを踏んだ指導を行いましょ

1 AOMORI CAN-DOリスト（第5学年 ア）

活字体で書かれた文字の形の違いを識別し、大文字及び小文字を見て、その名称を発音することができる。

2 単元目標

大文字や小文字の名称を読んだり認識を深めたりするために、目的をもってその読み方を発音することができる。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<p><知識> 活字体で書かれた大文字や小文字の違いを識別し、その読み方を理解している。</p> <p><技能> 活字体で書かれた大文字や小文字の違いを識別し、その読み方の技能を身に付けている。</p>	<p>大文字や小文字の名称を読んだり認識を深めたりするために、目的をもってその文字の読み方を発音している。</p>	<p>大文字や小文字の名称を読んだり認識を深めたりするために、目的をもってその文字の読み方を発音しようとしている。</p>

4 パフォーマンス課題【読むこと】

「七並べ」の要領で、a（後）～（前）n（後）～（前）zのカードを置く。置く際には小文字の名称を発音し、全部並べ終わったら、全員でa～z、z～aの順に文字を読む。

5 目標を達成している児童の姿

「七並べ」の要領でカードを置く際に、置く小文字の名称を正しく発音している。また、a～zまで順序良く並べており、a～z、z～aの順に文字を読んでいる。

6 指導過程例

5年 学校生活・教科・職業 6/7

目標 アルファベット小文字による七並べを通して、活字体の小文字を識別し、読むことができる。

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導入	○挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
	【Let's Chant】 ①What do you want to study? ②What do you want to be? ○チャンツを聞き、言う。	・児童の実態により、スピードを選ぶとよい。 児童と一緒に言う。 ・チャンツを聞き、言う。	デジタル教材 デジタル教材
	【Activity 2】 p. 24 ・前時に作成したオリジナル時間割を紹介する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">アルファベットの小文字で七並べをしよう。</div>	・理由も伝えるように促す。	ワークシート
展開	○アルファベット文字当てパズル(小文字) ○anzゲーム <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・グループで児童用カード(小文字) 1セットを用意し、最初にa,n,zの3文字のみ間隔をあけて机の上に置く。3文字以外の小文字カードはシャッフルし、裏返して等分に配る。じゃんけんをして順番を決める。 ・「七並べ」の要領で、a(後)～(前) n(後)～(前) zのカードを置くことができる。隣り合うカードのみしか置くことはできない。置く際には小文字を読む。全て並べ終えたら、全員でa~z、z~aの順に文字を読む。 </div>	・児童が十分にアルファベットに慣れるまで数回繰り返す。 ◎活字体の小文字を識別し、正しく読んでいる。(記録に残す評価) <行動観察、振り返り>	デジタル教材

終末	○本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ○挨拶をする。	・数名に発表させ、児童のよかったところを認める。 ・振り返りカードに記入させる。 ・挨拶をする。	振り返りカード
----	--------------------------------------	--------------------------------------------------------	---------

7 事後指導

◎本時の活動において目標への到達状況が十分でない児童がいる場合は、次時に向けて個別に指導する場面を設けたり、他教科等との関連を図るなどの工夫をしたりし、文字への興味・関心を高め、指導を続けながら学習改善の状況を継続的に観察する。

「読むこと」の活動のポイント

児童が活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかや、その文字が大文字であるか小文字であるかを識別することができるよう、丁寧で確実な指導が必要です。

学習到達目標(第5学年 イ)について

音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現のおおまかな意味が分かる。
この「読むこと」の指導においては、以下の3点が重要です。

- 1 単元を通じて音声で十分慣れ親しんだ後、単元終末において取り組むこと
- 2 毎時間少しずつ取り組むこと
- 3 目的意識をもたせ、内容を推測させながら読ませること

【指導上の留意点】

◆以下の活動を、単元を通して複数の授業に繰り返し設定することが大切です。

- ・歌やチャンツなどで音声に十分慣れ親しませる活動
- ・身近な場所にある看板や持ち物に記されている活字体で書かれた文字に意識を向けさせたりする活動

3年 外国語活動【話すこと[やり取り]】

第5・6学年に設定されている Small Talk には、児童の実態に応じて第3・4学年から取り組みましょう。この活動を通して、児童の本当の考えや気持ちを話す機会を充実させましょう。Small Talk は既習語句や表現を繰り返し活用したり、対話を続けたりする学習活動を通して互いの心を通わすことの大切さを児童に意識させたり、その楽しさを実感させたりすることができる言語活動です。

1 AOMORI CAN-DO リスト（第3学年 イ）

相手に伝わるように工夫した上で、自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとする。

2 単元目標

授業等で ALT と物をやり取りするために、相手に伝わるように工夫しながら、アルファベットカードなどの身の回りの物について、ほしい物を伝えたり、物をやり取りする場面の基本的な表現で伝え合ったりする。

※本単元における「聞くこと」については、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やり取り〕	身の回りには活字体の文字で表されていることに気付き、活字体の大文字とその読み方、アルファベットカードなどの物をやり取りするときの表現に慣れ親しんでいる。	授業等で ALT と物をやり取りするために、相手に伝わるように工夫しながら、アルファベットカードなど、身の回りの物について、欲しいものを伝えたり、物をやり取りする場面の基本的な表現を使って伝え合ったりしている。	授業等で ALT と物をやり取りするために、相手に伝わるように工夫しながら、アルファベットカードなど、身の回りの物について、欲しいものを伝えたり、物をやり取りする場面の基本的な表現を使って伝え合ったりしようとしている。

4 パフォーマンス課題【話すこと〔やり取り〕】

ALT と授業の中で簡単な表現を用いて物のやり取りをする。

5 目標を達成している児童の姿

A : The "A" card, please. ※ _____ 部はアルファベットカードや身の回りの物 など

B : Here you are.

A : Thank you.

B : You're welcome.

6 指導過程例

3年 Unit 6 ALPHABET アルファベットとなかよし 1/5

目標 アルファベットの言い方や、物をやり取りしたりお礼を伝えたりする表現に慣れ親しむ。

	児童の活動	指導者の活動◎評価〈方法〉	準備物
導 入	○挨拶をする。 【Small Talk】	<ul style="list-style-type: none"> ・単元目標を児童と共有する。 ・Let's Try の P22-23 を用いて、簡単なやり取りをして見せる。 	
	【Let's Watch and Think】 P23 ・デジタル教材を視聴し、町の中にどんな店があるかを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の洋服や持ち物のアルファベットを探す。 <p>T: You have "A" in your shirt. Let's find alphabet in the town.</p>	デジタル教材 テレビ
	アルファベットカードをやり取りしよう。		
展 開	○友だちと協力しながら担当のアルファベットを知る。 ○3グループ程度に分かれてアルファベットの読み方を知り、言えるように練習する。 A: This is ～. That's right.	<ul style="list-style-type: none"> ・後で違うグループの人に自分が知ったアルファベットを教えることを伝える。 ・各グループに読み方を知らせる。 	アルファベットカード
	○グループ活動で知ったアルファベットを教え合い、言えたらアルファベットカードをもらう。 ・各グループから1名ずつ集まり、未知のアルファベットを学び合う。 ・自分が覚えたアルファベットカードを数枚ずつ持ち寄り紹介し合う。 A: This is "N". B: "N". The "N" card, please. A: Here you are. B: Thank you. A: You're welcome. B: This is "V". A: "V". The "V" card, please. B: Here you are. A: Thank you. B: You're welcome.	<ul style="list-style-type: none"> ・VBNMZについて正しい発音を教える。 ・互いに未知であるアルファベットを伝え合うことによって、相手が知っているアルファベットの読み方に興味をもつようにする。 ・児童を観察して、難しさを感じているところを把握する。 <p>◎アルファベットに興味をもち、進んでやり取りをしようとしている。(指導に生かす評価)〈行動観察・振り返りカード分析〉</p>	アルファベットのポスター

	○手持ちのカードでトランプのように引いて発音してみるなどの活動に広げる。		
終 末	○難しいアルファベットについて気付いたことを発表する。 ・NとMが分かりにくい。 ・Cの発音の仕方が難しい。 ・VとBの違いが分からない。 ・Wの読み方が難しい。 ・Zを「ズィー」ということを初めて知った。	・児童が達成感を得られ次の学習への意欲につながるように、観点を設定して振り返りをさせる。	
	○本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の【やり取り】の中でよかった点を大いに称賛する。 ・挨拶をする。	カード

7 事後指導

◎本時の活動において目標への到達状況が十分でない児童がいる場合は、次時に向けて個別に指導する場面を設けたり、身の回りからアルファベットを探す、他教科等との関連を図るなどの工夫をしたりし、文字への興味・関心を高め、指導を続けながら学習改善の状況を継続的に観察する。

□Small Talk の進め方例

(1) 指導者と児童で簡単なやり取りをしましょう。

■話題の提示、言い出し方の提供

※チーム・ティーチングでは、指導者同士が Small Talk を行うことも有効です。

(2) 児童と児童でやり取り⇒まずはやらせてみましょう。

(3) 指導

①みんなでどのように表現すればよいか考え、共有しましょう。

②言えなかったことを、既習表現に結び付けられるようヒントを出しましょう。

「何か言えなくて困ったことはありませんでしたか？」

(4) 相手を替えて児童と児童でやり取り⇒既習事項を活用させましょう。

4年 外国語活動【話すこと[やり取り]】

Let's Chant や歌及びジングル等で、英語の音やリズム、イントネーションのインプットを十分行い、次の活動に円滑につながるためにもSmall Talkを活用しましょう。
指導者が自分のことを話して、児童の興味・関心を高めたり、児童を巻き込み、児童に尋ねて答えさせたりして、既習の語句や表現に慣れ親しませましょう。

【Small Talkのタイプ1：単元ベース】

□ 本時や単元の最終的な姿（Activity）を見せて、本時のねらいを明確にするタイプ

【Small Talkのタイプ2：定着ベース】

□ 既習の表現を使って、指導者と児童、児童同士でやり取りして定着を図るタイプ

1 AOMORI CAN-DOリスト（第4学年 イ）

相手に配慮した上で、自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとする。

2 単元目標

お互いのことをよく知るために、好きな色クイズを通して、アルファベットの小文字をたずねたり、答えたりする。

3 単元の評価規準

話すこと 「やりとり」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	身の回りにはアルファベットの大文字小文字が多く使われていることに気付き、アルファベットの小文字に慣れ親しんでいる。	お互いのことをよく知るために、好きな色クイズを通して、相手に配慮しながら、アルファベット文字について伝え合っている。	主体的に学習に取り組む態度 お互いのことをよく知るために、好きな色クイズを通して、相手に配慮しながら、アルファベット文字について伝え合おうとしている。

4 パフォーマンス課題【話すこと [やり取り]】

好きな色クイズを通して、相手に配慮しながら、アルファベットの小文字について伝え合っている。

5 目標を達成している児童の姿

A : What's my favorite color? Please guess.

B : OK.Do you have a "b"?

A : No,I don't. I don't have a "b".

B : Do you have a "p"?

A : Yes,I do. I have a "p".

B : Do you have a "i"?

A : Yes,I do. I have a "i".

B : I got it! "pink"

A : That's right. I like pink.

6 指導過程例

4年 Unit6 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう 4/4

目標 アルファベットの小文字についてたずねたり、答えたりすることができる。

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導 入	○挨拶をする。 【Let's Chant】 Alphabet Chant	・挨拶をする。 ・児童と一緒に歌う。	デジタル教材 アルファベ ット小文字カード (指導者用)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 相手が選んだ色を当てよう。 </div>		
展 開	【Ping-pongストーミング】 ○代表2名が前に出て指導者が操 作するボールのラリーをする。 打つタイミングでアルファベッ トを"a"から順に言う。	・ Small Talkと実演を通してやり 方を理解させる。 指導者が操作するボール（指 し棒に取り付けたもの）がラ ケットに到達するまでに次のア ルファベットを言えなくなったら 負けであることなど。	卓球ラケット ×2 ボール（指し棒 に取り付けたも の
	【Writing on Back】 ○班ごとに1列になる （計6列できる） ○一番後ろの児童が前の児童の背 中に指導者から指示されたア ルファベットを指で書く。伝言 ゲームの要領でそれを次、また 次へと続けていき、先頭の児童が 最後に黒板へ書く。	・ スタートする児童へのアルフ ァベットの指示をする。 ・ 指示するアルファベットは、 “h”と“n”，“q”と“d”， “a”と“u”など、違いをはっ きり書かないと誤認されやす いものの中から出題する。	アルファベット 小文字カード(指 導者用)

展 開	<p>【Find ABC】</p> <p>○新聞の中からアルファベットを見つけ、見つけたアルファベットに赤丸をつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各班に新聞1部を配る。 ・新聞の中からアルファベット5文字を見つけるよう指示する。早く終えた班の勝ち。 ・紙面から5文字見つけているか、終わった班を確認し、称賛する。 	<p>ホワイトボード マーカー</p>
	<p>【Activity 2】</p> <p>○テキストの10色から好きな色を選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手が選んだ色を当てる。</p> <p>[Pattern A]</p> <p>A: What's my favorite color? Please guess.</p> <p>B: OK. Do you have a "b"?</p> <p>A: No, I don't. I don't have a "b".</p> <p>B: Do you have a "p"?</p> <p>A: Yes, I do. I have a "p".</p> <p>B: Do you have a "i"?</p> <p>A: Yes, I do. I have a "i".</p> <p>B: I got it! "pink".</p> <p>A: That's right. I like pink.</p> <p>[Pattern B]</p> <p>A: What's my favorite color? Hint No.1. I have 4 letters. Hint No.2. I have a "b". Please guess it!</p> <p>B: Let me see. Do you have a "u"?</p> <p>A: Yes, I do. I have a "u".</p> <p>B: I got it! "Blue."</p> <p>A: That's right. I like blue.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talkを通して、児童の好きな色についてやり取りし、活動のイメージを示す。 ・ [やり取り]の例として、デジタル教材の「あやめ」と「れん」の会話を聞かせる。 ・ 前時【Activity 1】で練習した"Do you have ~?"などの表現を想起させる。 ・ 慣用表現"I got it." "Let me see." や、"Umm"などを積極的に使いながらできるだけやり取りを続けるよう促す。 ・ はじめは隣の児童とペアになって行い、2回目以降は相手を替えて行う。 ・ 2回目以降はレベルを上げる工夫として当てる側の質問の回数を2回までとする。 ・ この活動に慣れてきたら、当てる側が質問するだけでなく、出題者がヒントを出す形式でもやり取りさせる。 <p>◎相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合っている。(記録に残す評価) <行動観察・振り返りカード></p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>

終	○本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の[やり取り]の中でよかった点を大いに称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード
末	○挨拶をする。		

7 事後指導

- ◎ 本時の活動において目標への到達状況が十分でない児童がいる場合は、次時に向けて個別に指導する場面を設けたり、他教科等との関連を図るなどの工夫をしたりし、文字への興味・関心を高め、指導を続けながら学習改善の状況を継続的に観察する。

「児童とやり取りしながら学ばせる」指導を大切にしましょう

指導者の中には、自身の英語力や専門性に不安を抱いている方がいると思います。まずは、指導者も英語に慣れ親しみ、意欲的に授業に臨むことが大切です。

また、外国語活動・外国語科の授業で大切なことの1つは、児童とのやり取りの中で語句や表現等を理解させることです。他教科等の授業で実践されているように、児童とやり取りしながら、つぶやきを拾ったり、意見を引き出したりする指導を外国語活動・外国語科の授業でも行いましょう。

6年 外国語科【話すこと[やり取り]】

児童が間違えることを恐れずに英語を使おうとするためには、まずは指導者自らが「英語の学習では、間違えてもいいから英語を使おうとすることが大切だ」という雰囲気をつくるのが大切です。児童の発話の「内容」を重視しましょう。

指導者は学習者のモデルとなり、積極的に英語を話そうとしたり、ジェスチャー等を駆使しながら、自分の言葉でどうにかして伝えようとしたりする姿を見せることが大切です。

1 AOMORI CAN-DO リスト（第6学年 ウ）

自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄（好きなこと・もの、持ち物など）について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、児童同士で会話を続けることができる。

2 単元目標

お互いのことをもっとよく知るために、好きなものや宝物などについて紹介し合うことができる。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「やり取り」	<p><知識> 好きなものや宝物の言い方、I like～.I'm good at～.My treasure is～.It's from～.What～do you like?などへの答え方について理解している。</p> <p><技能> 好きなものや宝物などについて、I like～.I'm good at～.My treasure is～.It's from～.What～do you like? When is your birthday?等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の好きなものや宝物について、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の好きなものや宝物について、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p>

4 パフォーマンス課題【話すこと（やり取り）】

児童同士で好きなものや宝物などについて紹介し合い、さらにお互いのことを知るために質問したり答えたりする。

5 目標を達成している児童の姿

A: I'm Hanako. I'm from Aomori. I like basketball. I'm good at playing basketball.
My treasure is this cap. It's from my brother. Thank you.

(例)

T: Any questions?

B: What animal do you like?

A: I like dogs.

B: When is your birthday?

A: My birthday is April 21th.

6 指導過程例

6年 自己紹介 5/7
目標 今までに学習した表現を使いながら、友達に自己紹介をしたり、聞いたりすることができる。

	児童の活動	指導者の活動◎評価〈方法〉	準備物
導入	○教科書の文を指で追いながら発表を聞く。	・動画で発表を聞かせる。スピード調節ができる場合は、最初はふつうの速さ、ゆっくり、速めの順で聞かせ、児童の指の動きを確認し、何度か聞かせる。	デジタル教材 テレビ
	自分の宝物について紹介しよう。		
展開	○自分の宝物紹介カードを作る。まずは日本語で書き、宝物の英語での言い方を調べて書き写す。 ○書き写したものをもとに言い方をALT等に聞く。	・宝物は何か、誰からもらったものかなど、2文程度の簡単な文を考えさせる。 ・自分が表現したいことについての言い方等を調べさせる。	教科書 (自己紹介シート)
閉	○自分の宝物紹介カードをもとにして発話してみる。 I'm Hanako. (I'm from Aomori.)	・最初は自分だけで小さな声で言ってみて、言い方を確認させる。不安なところがないかどうかを確かめる。	

	<p>(I like baseball.) (I'm good at playing the piano.) My treasure is this cap. It's from my brother. Thank you.</p> <p>○ペアのスピーチを振り返って、良かったところ、相手についてもっと知りたいこと、自分でもっと伝えたいことなどを共有し、既習の表現方法を確認する。</p> <p>(例)</p> <p>B: What animal do you like? A: I like dogs. B: When is your birthday? A: My birthday is April 21th.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで自己紹介に挑戦させる。 ・()内の部分は児童の実態に合わせて取り入れる。 ・聞く側は、自分でもっと知ってほしいことや相手のことでもっと知りたいことはないか考えながら相手のスピーチを聞くように促す。 <p>・ペアで話してみて、良かったところやもう少し工夫したいところに加え、スピーチを充実させるための内容について話し合わせる。</p> <p>◎自分のことを相手に知ってもらうために意欲的に宝物カードを作り、自分のことを表現しようとしているか。(指導に生かす評価) 〈行動観察・振り返りカード分析〉</p>	
終末	○本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の【やり取り】の中でよかった点を称賛する。	振り返りカード

7 事後指導

◎本時の活動において目標への到達状況が十分でない児童がいる場合は、次時に向けて個別に指導する場面を設けたり、自分の大切にしているものに目を向けさせる、指導者が日常的に本時の英語表現を使ってみるなどの工夫をしたりし、自己紹介への興味・関心を高め、指導を続けながら学習改善の状況を継続的に観察する。

□言語活動を通して指導しましょう

外国語の学習には繰り返しの反復練習も必要ですが、指導者から与えられた表現をひたすら復唱するなどの機械的な反復練習では、児童の学習意欲を減退させてしまうこともあります。英語は使っているものの、児童が自分の考えや気持ちを伝え合っていない活動は言語活動とは言えません。練習だけで授業が終わらないよう留意し、【活動→中間評価→指導→活動】の流れで言語活動を行いましょう。

言語活動を繰り返し行うことで、児童だけでなく、指導者の英語力も向上させることができます。

3年 外国語活動【話すこと [発表]】

「話すこと [発表]」の段階は、それまでに慣れ親しんできた語句や表現を活用して課題を解決する体験の場となります。児童一人一人が相手意識・目的意識をもち、「話したい」内容を選択し、コミュニケーションすることや自分のことについて話すことの楽しさを実感させることが大切です。

事前にしっかり表現に慣れ親しませておくとともに、「正確さ」よりも「内容」を大切にし、児童の「話そう」とする意欲や態度を認め称賛し、どの児童にも「話せた」という喜びや達成感を味わわせましょう。

1 AOMORI CAN-DO リスト (第3学年 イ)

自分や友達の名前の頭文字について、人前でカードを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝える。

2 単元目標

自分の名前を友達にわかりやすく紹介するために、相手に伝わるように工夫しながら姓名の頭文字を伝える。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔発表〕	アルファベットの活字体の大文字を識別し、活字体とその読み方に慣れ親しんでいる。	自分のことを伝えるために、相手に分かりやすいように工夫しながら、基本的な表現を用いて自分の姓名の頭文字を話している。	自分のことを伝えるために、相手に分かりやすいように工夫しながら、基本的な表現を用いて自分の姓名の頭文字を話そうとしている。

4 パフォーマンス課題【話すこと [発表]】

相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を紹介する。

5 目標を達成している児童の姿

(例) Hello (, everyone) .
I'm Yamada Ken.
"Y" and "K".
Thank you.

6 指導過程例

3年 Unit6 ALPHABET アルファベットとなかよし 5/5

目標 相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えることができる。

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導 入	○挨拶 ○ABCsong	・笑顔で雰囲気をつくり、挨拶をする。 ・黒板にアルファベットの文字カードを貼 り、児童と一緒に歌う。	指導者用 カード
	○線つなぎゲーム ・指導者が言う大文字の読 み方の順にその文字をつ ないでいく。	・やり方について実演し、やり取りを通し て理解させる。	
	自分のイニシャルを発表しよう。		
展 開	○自分の姓名の頭文字を集 め、イニシャルカードを 作成する。 ・文字カードを渡す役とも らう役に分かれ、英語の 名札を参考に、自分の姓 と名前の頭文字に必要な カードをもらい、テキス トに貼る。	・やり方について実演し、やり取りを通し て理解させる。	児童用カ ード(大文 字)のコピ ー
	○自分の姓名の頭文字を発 表する。 【発表例】 Hello(, everyone). I'm Yamada Ken. "Y" and "K". Thank you.	・Small Talk でALT (不在の場合は JTE) がモデルを示すなど、児童に活動の見通 しをもたせながら意欲付けを図る。 ・デモンストレーションで使用する表現 を確認し、隣同士で紹介し合う活動に慣 れさせる。 ・グループや学級全体で、もしくは自由に 歩いて紹介し合うなど学級や児童の実 態に合わせて紹介の仕方を工夫する。 ◎相手に伝わるように工夫しながら、自分 の姓名の頭文字を紹介している。(記録 に残す評価) <活動観察・発表・振り返 りカード点検>	
終 末	○振り返りカードに、会話 の楽しさや新しい気付 き、友達のよいところ等 を書き、発表する。 ○Goodbye song ○終わりの挨拶	・会話の楽しさや新しい気付き等を発表 させ、称賛し合わせる。	振り返り カード

7 事後指導

- ◎本時の活動において目標への到達状況が十分でない児童がいる場合は、個別に指導する場面を設けたり、身の回りの掲示物や標識、看板などからアルファベットを探す、文字の識別や読み方の練習を毎時間繰り返すなどしたりして文字への関心を高める工夫をしながら指導を続け、学習改善の状況を継続的に観察する。

□児童が発話するまでの流れ

①言葉をインプットする段階

英語を指導する際に大切なことは、多くの質の高いインプットを与えることです。特に単元の1、2時間目は無理に発話を促さず、じっくりとインプットできる、必然性の高い聞く活動を行うようにしましょう。

②模倣する段階

十分にインプットできた後は手本を模倣する段階に入ります。指導者の後に続いて発話させていく活動に取り組みましょう。しかし、この活動に終始することがないように留意することが大切です。

③自分でやってみる段階

自信をもって模倣できるようになってきたら、指導者と一緒に発話したり、児童だけで発話したりする活動に取り組みましょう。この場面で指導者が児童の発話状況を見取り、励ましたり、不十分なところを補足したりすることが大切です。

5年 外国語科【話すこと [発表]】

児童が身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを、聞き手に分かりやすく整理し、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにするためには、単元計画に基づいた準備が大切です。

そこで、児童にとって「身近で簡単なこと」について、「自分が伝えたい内容」をもたせ、それを伝えるために必要な表現を練習する授業を計画的に進めましょう。

相手意識や目的意識を明確にした活動を設定すれば、児童の「英語を話して伝えたい」という意欲を高めることにつながります。

1 AOMORI CAN-DO リスト (第5学年 ア)

日常生活に関する身近で簡単な事柄(時刻や日時、場所など)について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、メモやキーワードをもとに、相手に伝わるように話すことができる。

2 単元目標

自分のことをもっとよく知ってもらうために、時刻を入れて一日の生活について発表することができる。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔発表〕	<知識> 日常生活の動作や時刻、頻度について伝える言い方 I go / do / clean~. I always / usually / sometimes / never ~. を理解している。 <技能> 日常生活の動作や時刻、頻度について伝える言い方を身に付けている。	相手に自分のことをよく知ってもらうために、一日の過ごし方について、動作や時刻、頻度について伝えている。	相手に自分のことをよく知ってもらうために、一日の過ごし方について、動作や時刻、頻度について伝えようとしている。

4 パフォーマンス課題【話すこと [発表]】

相手に自分のことをよく知ってもらうために、日曜日の過ごし方を、時刻を入れて発表する。

5 目標を達成している児童の姿

Hello (, everyone).
 I usually get up at six on Sunday.
 I sometimes walk my dog at seven.
 I eat lunch at twelve.
 I eat dinner at six.
 I play the piano at seven.
 I go to bed at ten.
 Thank you.

6 指導過程例

5年	学校生活・教科・職業	4/5
目標	同じ生活パターンの仲間を見つけるために、自分の日曜日の生活について伝えることができる。	

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をする。 児童と一緒に、日付や天気、体調、時刻等を確認する。 	
導 入	○日常生活について、動作・時刻・頻度の表現を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 起床、食事、就寝時間等について質問する。 	デジタル教材 ワークシート
	○月曜日の生活について、メモを完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> 時刻のみ、ワークシート（スプレッドシート）にメモさせる。 	
	○メモを見ながら発表練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> 時間の前につける前置詞「at」や、頻度を伝える「sometimes」「usually」「always」に留意しながら練習させる。 	
	○メモを見ながら、月曜日の自分の生活についてペアで発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取った時刻や頻度をメモさせ、主語を「You」に変えて確認させる。 	
	○表現や発音で難しかったことや、理解できなかった表現を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> 気が付いたことを発表させる。 表現や発表について修正したりアドバイスしたりする。 	
	○月曜日の生活について、ペアと自分との共通点や相違点を発表する。		
	日曜日の生活パターンが同じ仲間を見つけよう。		

展 開	<p>○起床、食事、就寝時間以外に、日曜日によくする行動について考え、それぞれの時間をメモする。</p> <p>○メモを見ながら発表練習をする。</p> <p>○メモを見ながら、日曜日の自分の生活についてペアで発表し合う。</p> <p>○メモを見ながら自分の日曜日の生活について、仲間に発表する。発表を聞く児童はメモを取る。 (例) Hello. I usually get up at seven on Sunday. I sometimes walk my dog at ten. I eat lunch at one. I eat dinner at six. I go to bed at ten. Thank you.</p>	<p>・活動のねらいを児童に伝える。</p> <p>・「犬の散歩」や「部屋の掃除」「宿題」等の表現を確認する。</p> <p>・相手の日曜日の生活についての発表を聞いて、時刻や行動をメモする。</p> <p>・ペアで十分練習させる。</p> <p>◎日曜日の生活のパターンが似ている仲間を見つけるために積極的に自分のことを表現しようとしているか。(指導に生かす評価) 〈行動観察・振り返りカード分析〉</p>	<p>教科書</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p>
	終 末	<p>○本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・児童の発表の中でよかった点を大いに称賛する。</p> <p>・日曜日の生活パターンが同じだった仲間は何人いたのか、また、一週間の生活パターンが同じ仲間を探すために、どんなことを工夫したいかを記入させる。</p>

7 事後指導

◎本時の活動において目標への到達状況が十分でない児童がいる場合は、個別に指導する場面を設けたり、自分の生活について想起させる時間を確保したり、ねらいを明確にし、児童が必然性を持ちながら活動できるようにしたりしながら指導を続け、学習改善の状況を継続的に観察する。

本事例の領域別目標は【話すこと [発表]】です。したがって、全体の前で発表できるとよいのですが、人数の関係や十分な活動量の確保といった点を考えて、全体での活動（歩き回って複数人に発表する）という形態をとることも可能です。

相手を変えて発表する機会を設定することにより、児童が「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせる活動としてよい事例です。

5年 外国語科【書くこと】

「書くこと」の言語活動で書かせる英語は、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現とすることに留意しましょう。また、児童が過度の負担を感じることをしないよう、段階を踏んで指導する必要があります。

「相手意識」と「目的意識」を児童にもたせ、音声で何度もやり取りした語句の中から、「自己選択」と「自己決定」させて「書き写す」活動に取り組ませましょう。

1 AOMORI CAN-DO リスト（第5学年 ア）

大文字、小文字を正確に書き写すことができる。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

2 単元目標

身近な人を相手に紹介する英文を作成する際に、相手によく知ってもらうために、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<p><知識> 先生や友達のことを紹介する際に使う語句や This is～. He can ～. She can ～. の表現について理解している。</p> <p><技能> 先生や友達のことを紹介する際に使う語句や This is～. He can ～. She can ～. を用いて、書く技能を身に付けている。</p>	先生や友達のことを相手に紹介する際に、相手によく知ってもらうために、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写している。	先生や友達のことを相手に紹介する際に、相手によく知ってもらうために、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写そうとしている。

4 パフォーマンス課題【書くこと】

先生や友達を紹介する英文を作成する際に、相手によく知ってもらうために、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写す。

5 目標を達成している児童の姿

(例) This is Mr.Suzuki. He can cook well.
This is Yumi. She can dance well.

6 指導過程例

5年 身近な人の紹介 8/8

目標 自分が決めた人物を紹介する際に、大文字、小文字を正確に書き写すことができる。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

	児童の活動	指導者の活動◎評価〈方法〉	準備物
導 入	○挨拶をする。 【Let's Chant】 She can sing well. ○チャンツを言う。	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をする。 本時のめあてと流れを児童と共に確認する。 デジタル教材で、チャンツを視聴しながら音声に合わせてチャンツを言う。 	デジタル教材
	【Let's listen①】 ○登場人物の話を聞いて、できることに○、できないことに△をつける。	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物についてできることできないことを説明する音声をデジタル教材で聞かせる。 	デジタル教材
	【Let's listen②】 ○登場人物の話を聞いて、人物の名前や He か She を4線に書く。	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の名前やできることを説明する音声をデジタル教材で聞かせる。 	デジタル教材
	○先生や友達にインタビューして、誰が何をすることができるのかのメモをとる。	<ul style="list-style-type: none"> Can you ~ well? (cook / dance / draw / play volleyball / play tennis / play the guitar / play the piano / run / sing / swim) Yes, I can. / No, I can't.の表現に慣れ親しませる。 	教科書
	先生や友達の紹介文を書こう。		
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ○先生や友達にインタビューしたことをもとに、紹介したい人物を1人決める。 ○紹介文の書き方を聞く。 ○決定した人物の名前とできることをワークシートに書く。(名前の最初は大文字にし、This is ~. / He can ~. / She can ~.の英文を書く。) ○例文を読んだ後に、自分自身で書いた英文を読む。 ○例文の空書き・机書き・な 	<ul style="list-style-type: none"> 先生や友達にインタビューしたことをもとに紹介したい人物を1人決めさせる。 This is ~./ He can ~. / She can ~.の英文の書き方を示す。 ワークシートを配付し、決定した人物の名前とできることを This is ~. / He can ~. / She can ~. の英文でワークシートに書くよう指示する。(机間指導して、全員の英文が正しいかを確認する。) 1つ例をあげて全員で英文を読む。次に、児童が自分自身で書いた英文を読ませる。 例の英文の空書き・机書き・なぞり書き 	ワークシート 絵カード

	ぞり書きの後に、自分が紹介したい人物の英文を絵カードに書き写す。	をさせた後に、自分が紹介したい人物の英文を、空書き・机書き・なぞり書きをさせ、その後に、絵カードに書き写させる。 ◎This is ～./ He can ～. / She can ～.の英文を正しく4線に書き写している。(記録に残す評価) <行動観察・振り返りカード分析>	
終末	○本時の活動を振り返る。 ○挨拶をする。	・カードで振り返らせ、児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

7 事後指導

◎本時の活動において目標への到達状況が十分でない児童がいる場合は、個別に指導する場面を設けたり、アルファベット等を書かせる活動を繰り返し設定したり、音声で十分慣れ親しんだ英文を書き写す活動を意図的に設定したりするなどの指導を続けながら学習改善の状況を継続的に観察する。

■「書くこと」の指導の在り方

「書くこと」においては、中学年でアルファベットの大・小文字に慣れ親しんだことを踏まえ、「書きたい」と児童が思える必然性のある場面を設定し、音声で十分慣れ親しんだ文字や内容について、なぞったり書き写したりさせます。

単元を通じて聞いて、話してから毎時間1文ずつ書き溜めていかせるようにしましょう。

アルファベット等を書かせる活動を繰り返す際においても、音声を伴って指導するとともに、児童に過度な負担をかけない工夫が必要です。

■「書くこと」につながるローマ字学習・アルファベットの識別

第3学年におけるローマ字学習・大文字の識別

外国語活動でアルファベットの大文字を取り扱うとともに、ローマ字学習では小文字を多く扱います。

ローマ字は英語ではなく、アルファベットで表記された日本語ですが、児童にとってその区別が難しいことも考えられます。

したがって、国語科のローマ字指導では、「日本語の音が子音と母音の組み合わせで成り立っている」ことを理解させた上（訓令式）で、より英語の音に近いヘボン式も指導しましょう。

子音と母音を切り離す練習をすることで英語特有の発音やつづりはローマ字で表せないことに気付かせることも大切です。

参 考 文 献

- ◆文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年3月）
- ◆文部科学省 小学校学習指導要領解説 外国語活動編（平成29年7月）
- ◆文部科学省 小学校学習指導要領解説 外国語編（平成29年7月）
- ◆文部科学省 中学校学習指導要領（平成29年3月）
- ◆文部科学省 中学校学習指導要領解説 外国語編（平成29年7月）
- ◆文部科学省 小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック（平成29年6月）
- ◆文部科学省 Hi, friends! 1
- ◆文部科学省 Hi, friends! 2
- ◆文部科学省 Let's Try! 1
- ◆文部科学省 Let's Try! 2
- ◆文部科学省 We Can! 1
- ◆文部科学省 We Can! 2
- ◆文部科学省 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
小学校 外国語・外国語活動（令和2年3月）
- ◆文部科学省 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
中学校 外国語（令和2年3月）

C H A P T E R



中学校
実践ハンドブック

目 次

- I 本ハンドブックの作成(2024改訂)に当たって
- II CAN-DO リストについて
 - 「CAN-DOリストの形での学習到達目標」作成の手引き
 - CAN-DOリスト活用例 ～单元ごとのCAN-DOリストを作成する場合～
 - AOMORI CAN-DOリスト
- III 実践例について
 - 活用のポイント
 - 実践例1 話すこと〔やり取り〕ア
 - 実践例2 話すこと〔やり取り〕イ
 - 実践例3 話すこと〔発表〕ア
 - 実践例4 話すこと〔発表〕イ
 - 実践例5 話すこと〔発表〕ウ
 - 実践例6 書くこと ア
 - 実践例7 書くこと イ
 - 実践例8 書くこと ウ
- IV 参考文献

I 本ハンドブックの作成(2024改訂)に当たって

1 作成(2024改訂)の趣旨

- (1) 中学3年生に求められるCEFR A1レベル(英検3級)相当以上の英語力を有する生徒の育成に向け、五つの領域(聞くこと・読むこと・話すこと〔やり取り〕・話すこと〔発表〕・書くこと)を総合的に育成するための指標となる県版『中学校外国語科パフォーマンス評価実践ハンドブック』を作成する。
- (2) 英語の三つの領域(話すこと〔やり取り〕・話すこと〔発表〕・書くこと)について、パフォーマンス評価の事例を示すことにより、学年ごとの到達目標実現のための単元目標及び評価方法等の立案する際の一助とする。
- (3) 英語の五つの領域について、CAN-DOリストの形での学年ごとの到達目標と達成状況を測る評価方法を「AOMORI CAN-DOリスト」として示すことにより、県内中学生一人一人の五つの領域ごとの英語力の状況を把握し、英語力向上に係る指導改善を図る。

2 パフォーマンス評価の必要性

2016年の中央教育審議会答申では、「資質・能力のバランスのとれた学習評価を行っていくためには、指導と評価の一体化を図る中で、パフォーマンス評価などを取り入れ、ペーパーテストの結果にとどまらない、多面的・多角的な評価を行っていくことが必要である。」としている。

よって、面接・スピーチ・エッセイ等のパフォーマンス評価を授業に取り入れ、「言語を用いて何ができるか」という観点から評価を行うことが大切である。

「CAN-DO リストの形での学習到達目標」作成の手引き

1 CAN-DO リストの形での学習到達目標とは？

「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の五つの領域ごとに、卒業時及び各学年修了時までには児童生徒に身に付けさせる能力を、学習指導要領の各領域の目標に基づき、「～することができる」の形で一覧表にしたものです。ここではその一覧表を「CAN-DO リスト」と表すことにします。

2 なぜ CAN-DO リストの作成が求められているのか？

「外国語(英語)」を用いて何ができるようになるか」というコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指した指導と評価をするためです。

「外国語(英語)を使って何ができるようになるか」という観点から、CAN-DO リストを作成します。教科書・教材、児童生徒の学習状況、授業時数等を踏まえながら、できるだけ分かりやすく設定し、その目標に到達するための指導方法を工夫・改善することが期待されています。

3 CAN-DO リストを作成することの効果とは？

教員と児童生徒がゴールを共有し、学習への見通しをもち、学習を評価する(振り返る)ことで主体的な学びを可能にします。

- (1) 「外国語(英語)を使って何ができるようになるのか」を明らかにすることができる。
- (2) 外国語(英語)の学習の「ゴール」が明確になる。
- (3) 文字、語彙、文構造等の知識を活用してコミュニケーションを図ることができる。
- (4) 教員間で共通理解を図りながら指導に当たることができる。
- (5) パフォーマンステストなどを活用することによって「外国語(英語)を用いて何ができるか」という観点から評価することができる。

4 CAN-DO リストの役割とは？

「ゴールを示すこと」と「そのゴールへの到達度を確認」する役割が求められます。

- (1) 「何ができる」ようになるかを知る一到達目標として
- (2) 「どれくらいできる」ようになるかを知る一自分の学びの位置を確認する判断基準として
- (3) 「できるようになる」ために自ら学習する一自律的な学習者を育てるため

5 CAN-DO リストの設定手順とその使い方は？

AOMORI CAN-DO リストを参考に自校版 CAN-DO リストを作成し、活用しましょう。

- (1) CAN-DO リストの目的を中学校区内の外国語(英語)担当教員等で共有します。
- (2) 児童生徒の学習の状況等を踏まえ、卒業時の学習到達目標を「～することができる」という形で、五つの領域ごとに記述します。この時、具体的な学習到達目標となるよう、数値目標を設定してもよいでしょう。
- (3) 卒業時の学習到達目標から、学年ごとの目標を「～することができる」という形で、五つの領域ごとに設定します。その上で各単元における目標を「～することができる」という形で記述し、主な学習活動、評価方法を計画します。
- (4) ペーパーテストに加え、面接、スピーチ、エッセーなどのパフォーマンス評価を活用します。
- (5) 各単元や学期、学年といった単位で学習到達目標の達成状況を把握し、必要に応じて指導方法を改善します。
- (6) 卒業時及び学年ごとの目標の適切さを検討し、必要に応じて見直します。

AOMORI CAN-DO リストや自校版 CAN-DO リストを活用し、児童生徒が自分の学びを振り返る、児童生徒用 CAN-DO リストを作成することもできます。

CAN-DO リスト活用例 ～单元ごとの CAN-DO リストを作成する場合～

- 1 教科書の单元を通して育てたい資質・能力を、AOMORI CAN-DO リストから選択する。

例) 教科書内容 → Blue Sky2 Unit4 My Future Dream

対応する CAN-DO リスト → 2 学年 話すこと [発表] イ

※教科書の单元でスピーチを扱っている場合、「話すこと [発表]」の力を育てることに適していると判断できる。

- 2 CAN-DO リストの下線部を教科書の題材などに変えて「单元目標」とする。

学年	話すこと [発表]
2	イ <u>日常的な話題</u> について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、聞き手の反応を確認しながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 □□□□

例えば、Blue Sky2 の Unit4 であれば、My Future Dream を題材にしているため、下線部を「将来の夢」などに変更する。

- 3 育てたい資質・能力に応じて、具体的な活動場面を想定しながら文言を変更する。

必要に応じて言葉をつないだり、削除したり、「自分で調べた情報を基に」などの学習プロセスが分かる文言を入れたりすることなども考えられる。

＜文言を変更した单元目標例＞

学年	話すこと [発表]
2	イ <u>将来の夢</u> について、自分の考えや気持ちを整理し、理由を付けてまとまりのある内容を話すことができる。 □□□□

- 4 「单元目標」を観点別にまとめると評価規準（单元目標を実現できたと判断する児童生徒の具体的な姿を記述したもの）になる。

評価規準の習得状況の程度を示したものが評価基準となる。その際、数値や記号、条件等で採点の基準を設定する。評価基準は、ルーブリックと呼ばれる。

＜条件設定の考え方・例＞

- ・自分の考えや気持ちを整理→「将来の夢について興味・関心をもって取り組んでいることについて述べている」
- ・理由を付けて→「将来の夢についてその理由を述べている」
- ・まとまりのある内容→「opening-body-closing などの文章構成で述べている」

- 5 单元目標及び対応する CAN-DO リストを单元のスタートで児童生徒と共有する。

- 6 单元目標及び対応する CAN-DO リストの到達度を单元末に児童生徒と確認する。

到達できたと判断したら☑を書かせる。

～教科書内容ベース（单元ごと）の CAN-DO リスト例～

年間指導計画			CAN-DO リスト					評価方法
单元名	題材名	言語材料	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	
			【2学年終了時】 はっきりと話されれば、 <u>日常的な話題</u> について必要な情報を聞き取ったり、話の大きな内容を捉えることができる。	【2学年終了時】 目的のある文章について必要な情報を捉えたり、話の大きな内容を捉えることができる。	【2学年終了時】 目的のある本質について即興で伝え合ったり、 <u>日常的な話題</u> についてメモを活用しながらやり取りできる。	【2学年終了時】 目的のある本質について、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して話すことができる。	【2学年終了時】 目的のある本質について、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して書くことができる。	
Unit1	What is Hero?	There is/are] ~ 接続詞when 過去進行形	はっきりと話されれば、ヒーローについて、大まかな内容を捉えることができる。(イ)	簡単な語句や文で書かれたヒーローについての文章から、話の大まかな内容を捉えることができる。(イ)	自分の好きなヒーローについて、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合うことができる。(ア)	自分の考えるヒーローについて、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して話すことができる。(イ)	自分の考えるヒーローについて、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して書くことができる。(イ)	パフォーマンステスト【発表会】または動画録画
Let's Talk1	待ち合わせ	in front of next to behind between A and B	はっきりと話されれば、待ち合わせの対話文から、必要な情報を聞き取ることができる。(ア)	簡単な語句や文で書かれた待ち合わせに関する対話文から、必要な情報を読み取ることができる。(ア)	待ち合わせについて、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合うことができる。(ア)			動画録画(カードを引き、条件に合うように話す。)
Unit2	Traveling Overseas	will + 動原の原形 be going to + 動原の原形 助動詞must	はっきりと話されれば、海外旅行の対話文から、大まかな内容を捉えることができる。(イ)	簡単な語句や文で書かれた海外旅行に関する文章から、話の大まかな内容を捉えることができる。(イ)	海外旅行について、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して伝えたり、相手からの質問に応答したりすることができる。(イ)	海外旅行について、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して話すことができる。(イ)	海外旅行について、メモを活用しながら、まとまりのある内容を整理して書くことができる。(イ)	パフォーマンステスト【発表会】または動画録画
Let's Talk2	旅行の準備	have to don't have to	はっきりと話されれば、旅行の準備の対話文から、必要な情報を聞き取ることができる。(ア)	簡単な語句や文で書かれた旅行に関する対話文から、必要な情報を読み取ることができる。(ア)	旅行に必要な物について、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合うことができる。(ア)			動画録画(カードを引き、条件に合うように話す。)

※黄色の枠内は、教科書内容から判断して、育成する資質・能力に適した領域。

Ⅲ 実践例について

活用のポイント

本ハンドブックでは「パフォーマンス評価」を「実際のコミュニケーションが発生する場面や状況の下で課題を設定し、その解決の過程で知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりしている姿を見取るもの」ととらえ、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの三つの領域についての「パフォーマンス評価」の単元における実践例を示しました。

実践例における各項目は以下のとおりで、AOMORI ENGLISH MODEL 単元計画シートの作成順に準拠しています。

単元目標の設定やパフォーマンス評価の実施方法を検討する際、生徒の実態や学校の実情を踏まえながら本実践例を御活用ください。

【実践例の項目について】

1 AOMORI CAN-DOリスト

2 単元目標（＝パフォーマンステストの目標）

1を基に、単元末で行うパフォーマンステストでの到達目標を示しています。



活用のポイント1：指導・評価内容が明確になる単元目標の書き方が分かる！

各実践例では、指導・評価内容が明確になるよう、以下の4点を含んで設定しました。

- ① コミュニケーションを行う相手
- ② コミュニケーションを行う目的や場面、状況など
- ③ 取り扱う話題
- ④ できるようになること

□ 実践例1の単元目標

級友と相互理解を深めるために、自分が継続して取り組んでいること等について、

自分のことを伝えたり、相手に質問したりして、即興で会話を継続・発展させることができる。

3 パフォーマンス課題

2を達成させるための具体的な課題を示しています。

4 目標を達成している生徒の姿

当該単元でどのような力を付けさせたいのかを具体的に示した姿です。2を達成した生徒の発話や記述の例を示しています。

5 評価

(1) 評価規準、(2) 評価基準（ルーブリック評価）を示しています。

パフォーマンスの状況を適切かつ公平に評価するために、評価規準を踏まえた評価の基準を設定することが必要です。



活用のポイント2：多様な評価基準（ルーブリック評価）を参考にできる！

知識・技能の尺度（A、B） → 言語活動における言語使用の正確さの程度

思考・判断・表現の尺度（A、B） → 目的に応じた内容の適切さの程度

6 パフォーマンステストについて

「目標」で示した内容がどこまで達成できたかを測るためにテストを実施します。

(1) 事前指導 (2) テストの実施 (3) 事後指導について示しています。



活用のポイント3：単元を見通した指導の在り方のポイントが分かる！

□ 事前指導について

以下の2点を踏まえ、各実践内容に応じた事前指導例を示しました。

- ・ 単元始めの時間等で、単元目標や目標を達成した姿、評価の基準を生徒と共有し、見通しをもたせる。
- ・ 単元を通して、目標とする領域の言語活動を繰り返し、言語面での上達や内容面での深まりを導く。

□ 事後指導について

以下の3点を踏まえ、各実践内容に応じた事後指導例を示しました。

- ・ パフォーマンステストでの発話や記述を、言語面と内容面から振り返る。
- ・ できるようになったことを自覚させたり、褒めたりして、意欲喚起につなげる。
- ・ 他の生徒の優れた例を共有し、自己のパフォーマンスに生かす。

パフォーマンス評価だけでは十分に見取ることができない領域や観点があることを踏まえ、授業中の言語活動の見取りや振り返りシート、ペーパーテストでの評価と併用して評価の総括に生かすようにしましょう。



実践例 1 私の「〇〇歴」を伝え合おう【話すこと〔やり取り〕ア】

1 AOMORI CAN-DO リスト（3学年 ア）

関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、事実や意見、感情等を伝え合いながら、即興で会話を継続・発展させることができる。

2 単元目標（＝パフォーマンステストの目標）

級友と相互理解を深めるために、自分が継続して取り組んでいること等について、自分のことを伝えたり、相手に質問したりして、即興で会話を継続・発展させることができる。

3 パフォーマンス課題

級友同士でお互いのことを今よりもよく知るために、私の「〇〇歴」について伝え合い、即興の会話を2分程度継続する。

4 目標を達成している生徒の姿

※ S = Student

S1: I have been playing basketball for six years.

S2: Wow, for six years.

**S1: I was a member of Team Kazenoko when I was in elementary school.
I practiced very hard.**

S2: Nice. So, you are a good basketball player.

S1: Thank you. How about you? Do you play any sports?

S2: No. I am not good at sports. I have been learning calligraphy since I was five.

S1: Really? We have been a classmate for three years, but I haven't known that. You are great.

S2: Thank you. Do you know the movie "Shodo girls"?

S1: No. What's that?

S2: Shodo girls make Shodo performance. I want to try it.

5 評価

(1) 評価規準

話すこと 「やり取り」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
	<p>【知】 現在完了形や現在完了進行形の特徴やきまりを理解している。</p> <p>【技】 自分が継続して取り組んでいることについて、現在完了形や現在完了進行形を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>相互理解を深めるために、自分が継続して取り組んでいることについて、事実や自分の気持ちなどを即興で伝えたり、相手からの質問に答えたりして、会話を継続している。</p>	<p>相互理解を深めるために、自分が継続して取り組んでいることについて、事実や自分の気持ちなどを即興で伝えたり、相手からの質問に答えたりして、会話を継続しようとしている。</p>

(2) 評価基準 (ルーブリック評価)

知識・ 技能	A	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形や現在完了進行形を用いた英文を正しく話している。 ・その他の英文についても、正しく英語で話している。
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形や現在完了進行形を用いた英文を正しく話している。 ・その他の英文について、コミュニケーションに支障がない程度の誤りがある英語で話している。
思考・ 判断・ 表現	A	<p>B基準に加え、以下が当てはまるようなやり取りになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を2つ以上伝え、会話をより継続・発展させている。 ・質問をしながら、会話をより継続・発展させている。
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が継続して取り組んでいることとそれに関わる情報を1つ伝えている。 ・相手が継続して取り組んでいることを聞き取り、感想を伝えている。

※上記評価項目に満たない場合、評価をCとする。

6 パフォーマンステストについて

(1) 事前指導について

- ・単元始めの時間に、単元目標を生徒と共有する。
- ・単元を通した帯活動として、即興のやり取りに慣れさせるために、現在完了形や現在完了進行形を使用するような話題（「2年以上続けていること」「ずっと好きなこと」など）について即興で話す活動を行う。
- ・中間指導等で、思考・判断・表現の評価について共有する。

(2) パフォーマンステストの実施について

① 内容

ペアで2分間やり取りを続ける。

② 留意点

評価及び事後指導のために録画をする。

(3) 事後指導について

- ・録画映像を視聴する。その際、級友の新たな一面をとらえることを視聴の観点とし、級友をよく知ることができたかを振り返る。
- ・視聴後は、望ましいやり取りの様子や言いたくても英語で言えなかった表現を確認し、全体で共有をする。

実践例 2**夏休みの予定を伝え合おう【話すこと〔やり取り〕イ】****1 AOMORI CAN-DO リスト（2学年 イ）**

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりして、会話を継続させることができる。

2 単元目標（=パフォーマンステストの目標）

相互理解を深めるために、夏休みの予定についてたずねたり、答えたりして、ALTとの会話を1分程度続けることができる。

3 パフォーマンス課題

お互いの夏休みについて理解を深めるために、日本で初めての夏を過ごすALTとお互いの夏休みの予定について伝え合い、1～2分の会話を継続する。

4 目標を達成している生徒の姿

※A基準：下線部はA基準の根拠となる発話 ※A=ALT S=Student

A: What are your summer vacation plans?

S: I'm going to visit Goshogawara city and see "Tachinebuta" festival with my family.

A: That sounds nice. Where is Goshogawara city?

S: It's in the west of Aomori ken. It takes one hour by car.

A: I see.

S: Goshogawara city is famous for "Tachinebuta" festival.

A: "Tachinebuta" festival? What's that?

S: We can see very tall Nebuta floats. They are great. Are you interested in Japanese festivals?

A: Yes.

S: In Aomori-ken, we can enjoy many festivals during summer. You should see them.

A: Oh, thank you. I want to see "Tachinebuta" festival someday.

S: What are you going to do during summer vacation?

A: I am going camping with my friends. I like barbecue and watching stars.

S: How nice! Enjoy your summer.

A: Yes, I will. You too.

5 評価

(1) 評価規準

話すこと 〔やり取り〕	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
	<p>【知】未来表現の特徴やきまりを理解している。</p> <p>【技】夏休みの予定について、未来表現を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	相互理解を深めるために、夏休みの予定について、事実や自分の考え、気持ちなどを伝えたり、相手からの質問に答えたりして、会話を継続している。	相互理解を深めるために、夏休みの予定について、事実や自分の考え、気持ちなどを伝えたり、相手からの質問に答えたりして、会話を継続しようとしている。

(2) 評価基準（ルーブリック評価）

知識・ 技能	A	・ be going to～を用いた英文、その他の英文を正しく話している。
	B	・ be going to～を用いた英文を正しく話している。 ・その他の英文について、コミュニケーションに支障がない程度の誤りがある英語で話している。
思考・ 判断・ 表現	A	B基準に加えて、以下が当てはまるようなやり取りになっている。 ・日本で初めての夏を過ごすALTという相手の状況をふまえて話したり、質問をしたりしている。
	B	・夏休みの予定について、1分程度やり取りをしている。 ・自分の考えや気持ちを含めて話したり、尋ねたりして、お互いの夏休みの計画を理解し、相互理解を深めている。

※上記評価項目に満たない場合、評価をCとする。

6 パフォーマンステストについて

(1) 事前指導について

- ・ 単元始めの時間に、単元目標を生徒と共有し、夏休みの予定を考えさせておく。
- ・ 「今夜の予定」、「明日の予定」、「週末の予定」等を話題としたスモールトークを帯活動として継続的に行う。

(2) パフォーマンステストの実施について

① 内容

- ・ ALTと1分程度やり取りする。
- ・ JTEが見取り、「記録に残す評価」を行う。
※ALTとのやり取りとすることで、ペアとなる級友の能力にかかわらず、信頼性の高い評価ができる。

② 留意点

事後指導のために録画を行う。

(3) 事後指導について

- ・ 録画映像を視聴し、望ましいやり取りの様子や言いたくても英語で言えなかった表現を全体で共有をする。
- ・ 冬休みの前に同様の活動をするなど、継続しながら定着を図る。

実践例3 日本ならではのものを紹介しよう 【話すこと〔発表〕ア】

1 AOMORI CAN-DO リスト（2学年 ア）

関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、メモやキーワードを頼りにしながら、即興で話すことができる。

2 単元目標（＝パフォーマンステストの目標）

日本に来たばかりのALTに日本ならではのものについて知ってもらうために、即興で話すことができる。

3 パフォーマンス課題

日本ならではのものが書かれたカードと、接続詞が書かれたカードをそれぞれ一枚ずつ引き、カードに書かれているものについて、カードに書かれている接続詞を使いながら即興で説明する。

4 目標を達成している生徒の姿

※A基準の姿

***Hatsumode* is a Japanese traditional New Year's event. Many people go to a shrine with their family or friends at the beginning of the New Year. They wish for good health and fortune in front of the shrine. Some people wear *kimono* when they go there.**

***Sumo* is a Japanese national sport. It is a type of wrestling. Two wrestlers fight in a big circle ring. When a wrestler pushes out the other from the ring, that wrestler wins the match. If you want to watch *sumo*, you can watch it on TV.**

5 評価

(1) 評価規準

話すこと 〔発表〕	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
	<p>【知】接続詞の特徴やきまりを理解している。</p> <p>【技】日本ならではのものについて、接続詞を用いて伝える技能を身に付けている。</p>	<p>日本に来たばかりのALTに日本ならではのものについて知ってもらうために、その場で示されたものについて、即興で話している。</p>	<p>日本に来たばかりのALTに日本ならではのものについて知ってもらうために、その場で示されたものについて、即興で話そうとしている。</p>

(2) 評価基準 (ルーブリック評価)

知識・ 技能	A	・ 接続詞を用いた英文を正しく話している。
	B	・ 接続詞を用いた英文を、コミュニケーションに支障がない程度の誤りがある英語で話している。
思考・ 判断・ 表現	A	B基準に加えて、以下が当てはまるようなやり取りになっている。 ・ 話している内容に文と文の意味的なつながりや、内容の一貫性がある。
	B	・ 日本ならではのものについて、即興で話している。

※上記評価項目に満たない場合、評価Cとする。

6 パフォーマンステストについて

(1) 事前指導について

- ・ 日頃からスモールトーク等で、即興で日常的な話題について話し合わせたり、質問させたりする時間を設ける。
- ・ 接続詞 when、if、that、because を扱う授業において、それぞれの接続詞を使った自由英作文の時間を設け、接続詞を使った文を作ることに慣れさせる。
- ・ 自分が好きなものについて、接続詞を使って話させる。
- ・ 教師から示された日本ならではのものについて、接続詞を使って即興で話させる。

(2) パフォーマンステストの実施について

① 内容

教師が準備した、日本ならではのものが記されたカード群と接続詞が記されたカード群の中から、それぞれ無作為に一枚選び、カードに記されたものについて、カードに書かれた接続詞を使って即興で話す。

② 留意点

- ・ 教師が準備するカードに記す日本ならではのものは、「布団」や「おせち料理」、「こたつ」など、外国人に英語で説明する機会が想定されるもので、且つ、中学生が既習の語彙で、接続詞を使いながら説明できるものが望ましい。
- ・ 評価はその場で行うが、確認用としてビデオを撮影しておく。

(3) 事後指導について

- ・ 接続詞の使い方で、共通して見られる間違い等があった場合には全体で確認し、文法事項の定着を図る。
- ・ 文章構成について触れ、優れた構成のスピーチを全体に紹介するとともに、文と文の意味的なつながりや、内容の一貫性についても考えさせる。

実践例 4 将来の夢を伝え合おう【話すこと（発表）イ】

1 AOMORI CAN-DO リスト（2学年 イ）

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、話の構成に気を付けながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容で話すことができる。

2 単元目標（＝パフォーマンステストの目標）

外国の姉妹校の生徒たちに、自分の将来の夢を明確に伝えるために、話の構成に気を付けながら、まとまりのある内容で話すことができる。

3 パフォーマンス課題

外国の姉妹校の生徒たちに、自分の将来の夢を伝える。

※外国の姉妹校の生徒たちが自分の将来の夢についてスピーチをし、最後に「What do you want to be and why?」と問いかける動画を視聴させ、内容を把握させた上で、「自分の考えがよく伝わるように、彼らの問いに対するあなたの考えなどを話しなさい。」と提示する。

4 目標を達成している生徒の姿

My dream is to be a baseball player or coach. I have two reasons.

First, I like baseball very much and I want to live with it.

Second, I want to be a players or coach like Team Japan of the World Baseball Classic, 2024. Do you know the World Baseball Classic? It is a big baseball event. Last year I enjoyed watching it and Team Japan got No. 1. They are very strong and brave.

I will practice baseball hard for my dream.

5 評価

（1）評価規準

話すこと 〔発表〕	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
	【知】to不定詞の特徴やきまりを理解している。 【技】自分の将来の夢について、to不定詞を用いて話す技能を身に付けている。	外国の姉妹校の生徒たちに、自分の将来の夢を明確に伝えるために、事実や自分の考えを整理し、まとまりのある内容で話している。	外国の姉妹校の生徒たちに、自分の将来の夢を明確に伝えるために、事実や自分の考えを整理し、まとまりのある内容で話そうとしている。

(2) 評価基準 (ルーブリック評価)

知識・ 技能	A	・ to 不定詞を用いた英文を正しく話している。 ・ その他の英文についても、正しい英語で話している。
	B	・ to 不定詞を用いた英文を正しく話している。 ・ その他の英文について、コミュニケーションに支障がない程度の誤りがある英語で話している。
思考・ 判断・ 表現	A	B基準に加えて、以下が当てはまるようスピーチをしている。 ・ 自分の将来の夢が明確に伝わるように、強調したり繰り返したりするなど、話し方を工夫している。
	B	・ 将来の夢について、自分の考えや気持ちを話している。 ・ 伝える順番を工夫し、まとまりのある内容になっている。

※上記評価項目に満たない場合、評価をCとする。

6 パフォーマンステストについて

(1) 事前指導について

- ・ 単元の始めの時間に、単元目標を生徒と共有する。
- ・ 単元を通した帯活動として、生徒は将来の夢とその理由について、ペアを変えながら話す。その際、教師は内容面や言語面での指導を繰り返し、生徒自身に内容の深まり等を感じさせるようにする。

(2) パフォーマンステストの実施について

① 内容

- ・ ペアで、各自のスピーチを端末で撮影し合う。
- ・ 1単位時間の中で複数回録画する。1回目の録画の後、学級内で共有して見合う。級友の表現上の工夫等、望ましい点を取り入れながら、2回目以降も録画をする。複数回録画をした中から、自分で選択し、提出する。

② 留意点

- ・ 実際にこの動画を姉妹校に送信する。よって、画面に向かってスピーチをするが、伝える相手を意識することを大切にさせる。

(3) 事後指導について

- ・ 各自のスピーチ映像を視聴する。自分たちと外国人の生徒たちとの将来の夢の傾向を比較したり、明確に伝えるための工夫を見つけたりして、気づきを共有する。

実践例 5

人権問題について考えたことを伝えよう

【話すこと〔発表〕 ウ】

1 AOMORI CAN-DO リスト（3学年 ウ）

社会的な話題について聞いたり読んだりしたことについて、自分で作成したメモなどを活用しながら、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて4文程度で話すことができる。

2 単元目標（＝パフォーマンステストの目標）

級友に自分の意見や考えをよりわかりやすく伝えるために、社会的な話題について、理由を加えて4文程度で話すことができる。

3 パフォーマンス課題

NEW CROWN 3 Lesson 5 「I Have a Dream」の人権問題に関する社会的な話題の媒体を読んだり見たりして、考えたことや感じたこと、その理由などを、自分で作成したメモなどを活用しながら、簡単な語句や文を用いて4文程度で発表する。

4 目標を達成している生徒の姿

※A基準

1文目：**I want to create a world without discrimination.**

2文目：**I was shocked that black people were not free and they had to accept slavery.**

3文目：**I couldn't understand why the police came and arrested Rosa Parks.**

4文目：**She hasn't done anything wrong.**

5文目：**That's why, we should not judge by their race, religion, or political believes.**

※B基準

1文目：**I think this is bad.**

2文目：**I was sad because black people were caught.**

3文目：**It must not happen again.**

4文目：**So, we want to change it to a better world.**

5 評価

(1) 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
話すこと 〔発表〕	<p>【知】既習の言語材料の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技】社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。</p>	<p>級友に自分の意見や考えをよりわかりやすく伝えるために、社会的な話題について、理由を加えて事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。</p>	<p>級友に自分の意見や考えをよりわかりやすく伝えるために、社会的な話題について、理由を加えて事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話そうとしている。</p>

(2) 評価基準（ルーブリック評価）

知識・技能	A	・既習の言語材料を用いた英文を正しく話している。
	B	・既習の言語材料を用いて、コミュニケーションに支障がない程度の誤りがある英文を話している。
思考・判断・表現	A	・順を追って聞き手に自分の意見や考えをよりわかりやすく伝える発表になっており、5文以上で話している。
	B	・少々のポーズ(間)はあるものの、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを4文程度で話している。

※上記評価項目に満たない場合、評価をCとする。

6 パフォーマンステストについて

(1) 事前指導について

- ・単元始めの時間に、単元目標(=パフォーマンステストの目標)を生徒と共有する。
- ・教科書の本文を読み、自分が一番印象に残った文に下線を引き、その文に自分の意見や考えを付け加える指導を継続して行う。
- ・教科書の例文等を必要に応じて振り返らせたり、必要な文に気づかせたりして、自分の意見や考えを4文程度で発表できるよう、帯活動として継続して行うことも考えられる。

- ・日本語をそのまま英語に直訳しようとするつまずきが多いため、主語、動詞の文構成を意識させながら生徒が考えられるように支援する。
- ・普段から、2人1組でパートナーからタブレット端末で録画をしてもらい、互いにアドバイスをもらう活動を行う。

(2) パフォーマンステストの実施について

① 内容

- ・一人ずつ実施。(録画する。)
- ・社会的な話題に関する題材を教科書で学習した後に、自分の意見を4文程度で発表する。

1文目：自分の意見

2文目：1文目をサポートする理由

3文目：自分の意見を補足する内容

4文目：自分の意見(表現方法を変えて1文目の内容を話す)

② 留意点

- ・録画をし、「記録に残す評価」を行う。
- ・AOMORI CAN-DO リスト話すこと〔発表〕ウにおける学年ごとの到達目標は、話す文の数が異なるので、提示する社会的な話題の媒体の難易度を変えることによって、1・2学年でも活用できる。
- ・学習到達目標における「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたこと」を示す媒体は、ニュース、新聞記事などの読み物資料だけでなく、映像、音声、図表、ポスター、電子メールなど、さまざまなものが考えられる。
- ・学習到達目標における「社会的な話題」とは、各教科書会社で取り扱っている、環境問題、エネルギー問題、人権問題、ICT、自然環境、世界情勢、科学技術、平和などを指す。自校の教科書とは異なる教科書から題材を見つけることで、難易度も話題も似ているが媒体が異なる題材を活用することができる。
- ・同じ教科書でも、当該学年よりも下の学年の題材を再度学習することで理解が深まり、生徒の精神的負担が軽減されることもある。

(3) 事後指導について

- ・録画したものを授業で共有し、良い例を紹介する。
- ・良い例を取り入れたり、間違いを訂正したりして改良させる。

実践例6 有名な日本人を紹介しよう【書くこと ア】

1 AOMORI CAN-DO リスト（3学年 ア）

関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて35～45語程度で正確に書くことができる。

2 単元目標（＝パフォーマンステストの目標）

日本に来たばかりのALTに、有名な日本人について知ってもらえるように、簡単な語句や文を用いて35語以上で書くことができる。

3 パフォーマンス課題

スポーツ選手や歴史上の人物、芸能人など、有名な日本人を紹介する英文を35語以上で書く。

4 目標を達成している生徒の姿

※A基準

Otani Shohei is one of the most popular baseball players in the world. He is known as a great pitcher and hitter. People call him a “two-way player”. He was born in Iwate, just south of Aomori. Many people look up to him because he is kind and he works hard.（51語）

※B基準

I will introduce about Otani Shohei. He is a popular major leaguer. He is a great pitcher and hitter. He said to his teammates, “let’s stop admiring them and just think about winning.” I think he is cool.

※下線部のような単語は受容語彙とし、スペルミスは問わないこととする。（38語）

5 評価

（1）評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
書くこと	<p>【知】既習の言語材料の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技】有名な日本人について、簡単な語句や文を用いて正確に書く技能を身に付けている。</p>	日本に来たばかりのALTに、有名な日本人について知ってもらえるように、簡単な語句や文を用いて、書いている。	日本に来たばかりのALTに、有名な日本人について知ってもらえるように、簡単な語句や文を用いて、書こうとしている。

(2) 評価基準 (ルーブリック評価)

知識・ 技能	B	・既習の言語材料を用いて、正しく書いている。(受容語彙については、意味が伝わる程度のスペルミスを許容する。)
思考・ 判断・ 表現	A	・表現の難易度や豊富さの点を含め、より読みやすい構成で45語以上で書いている。
	B	・35語以上44語で書いている。

※上記評価項目に満たない場合、評価をCとする。

6 パフォーマンステストについて

(1) 事前指導について

単元始めの時間に、単元目標(=パフォーマンステストの目標)を生徒と共有する。

(2) パフォーマンステストの実施について

① 内容

- ・制限時間は15分とする。
- ・テスト終了後、原稿を回収し、JTEまたはALTが評価する。

② 留意点

辞書使用やネット検索はさせない。

(3) 事後指導について

- ・書いた内容について他者と共有させ、良い例を紹介する。
- ・既習の言語材料の使い方で、共通して見られる間違いがあった場合には、全体で確認し、文法事項の定着を図る。

実践例7 最近の出来事を伝えよう【書くことイ】

1 AOMORI CAN-DO リスト（1学年 イ）

日常的な話題について、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を15語～25語程度で書くことができる。

2 単元目標（＝パフォーマンステストの目標）

帰国したALTに近況を伝えるために、まとまりのある文章を15語以上で書くことができる。

3 パフォーマンス課題

最近の出来事について、一つのことを取りあげて、15語以上で書く。

4 目標を達成している生徒の姿

※A基準

I visited Tokyo Disneyland with my family last month. I saw a parade there. It was great.

※B基準

I went to Tokyo Disneyland. Mickey Mouse was cute. Space Mountain was fun. Popcorn was delicious.

5 評価

（1）評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
書くこと	<p>【知】過去形の特徴やきまりを理解している。</p> <p>【技】自分の近況について、過去形を用いて伝える技能を身に付けている。</p>	<p>帰国したALTに自分の近況を伝えるために、一つのことに ついてまとまりのある文章を書いている。</p>	<p>帰国したALTに自分の近況を伝えるために、一つのことに ついてまとまりのある文章を書こうとしている。</p>

(2) 評価基準（ルーブリック評価）

知識・ 技能	A	・過去形を用いた英文を正しく書いている。
	B	・過去形を用いた英文を、コミュニケーションに支障がない程度の誤りがある英語で書いている。
思考・ 判断・ 表現	A	・B基準に加えて、以下が当てはまるような文章になっている。 ・書いている内容に文と文の意味的なつながりや、内容の一貫性がある。
	B	・自分の近況を伝えるために、一つのことについて書いている。

※上記評価項目に満たない場合、評価をCとする。

6 パフォーマンステストについて

(1) 事前指導について

- ・スモールトーク等で、週末や長期休業中に行ったことについて話させる。
- ・日記を書かせる。
- ・まとまりのある文章を書けるようにするために、キーワードを整理して書くことや、5W1Hを意識して書くこと、文と文の内容的なつながりを意識して書くことなどを指導する。
- ・パフォーマンステストにおいて、辞書等が使えないことを伝え、最終的に自分の力で英文を書けるようにさせる。

(2) パフォーマンステストの実施について

① 内容

- ・定期テストで実施する。

② 留意点

- ・相手意識をもって英文を書けるように、課題設定や声かけを行う。

(3) 事後指導について

- ・過去形の使い方、共通して見られる間違い等があった場合には、全体で確認し文法事項の定着を図る。
- ・優れた構成の文章を全体に紹介する。
- ・生徒が書いた文章を帰国したALTに送り、読んだ感想をビデオ等で紹介する。

実践例 8 環境保全について考えたことを発表しよう 【書くことウ】

1 AOMORI CAN-DO リスト (2 学年 ウ)

社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて 25～35 語程度で書くことができる。

2 単元目標 (=パフォーマンステストの目標)

環境問題について書かれた英文を読んで、自分の考えやその理由を同学年の生徒に知ってもらうために、25 語以上で書くことができる。

3 パフォーマンス課題

The Great Barrier Reef の環境汚染の状況と保全の必要性についての英文を読んで、考えたこととその理由を 25 語以上で書く。

【生徒が書く前に読む英文例】

Do you know about the Great Barrier Reef? It is the largest coral reef system on earth. Many kinds of fish and other animals live there.

Many tourists come to see it every year. Scuba diving and snorkeling are popular things to do there. They can also enjoy swimming and watching beautiful coral reef, fish and animals in the sea.

However, the Great Barrier Reef is in trouble because of things like pollution and climate change. Pollution from things like plastic and chemicals can make the water dirty. They can hurt the coral and the animals that live there, too. Climate change makes the water too warm. It can make the coral sick and turn it white. This is called coral bleaching. When the coral gets sick, the fish and other animals can also suffer.

We need to work together to stop pollution and take care of the Earth so that the Great Barrier Reef can stay healthy and beautiful for a long time.

4 目標を達成している生徒の姿

I am sad to know the Great Barrier Reef is in trouble because of the pollution and climate change. It is important for us to work together.

(27 語)

Plastic waste is bad for the sea. I want to keep it healthy and beautiful. So I want to use reusable bags instead of plastic ones. (26 語)

5 評価

(1) 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
書くこと	<p>【知】 to 不定詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技】環境保全について考えたことを、to 不定詞を用いて書く技能を身に付けている。</p>	読み手に環境保全についての自分の考えやその理由を知ってもらうために、簡単な語句や文を用いて書いている。	読み手に環境保全についての自分の考えやその理由を知ってもらうために、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。

(2) 評価基準 (ルーブリック評価)

知識・技能	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ to 不定詞を用いた英文を正しく書いている。 ・ その他の英文についても、正しく書いている。
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ to 不定詞を用いた英文を正しく書いている。 ・ その他の英文について、コミュニケーションに支障がない程度の誤りがある英語で書いている。
思考・判断・表現	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文を読んで考えたことや感じたこと、その理由を25語以上で書いている。

※上記評価項目に満たない場合、評価をCとする。思考・判断・表現において、Bを上回った場合(考えと理由を2つ書き、設定語数を大きく超えた場合等)はAとする。

6 パフォーマンステストについて

(1) 事前指導について

- ・ 単元の始めの時間に、単元目標を生徒と共有する。
- ・ 単元を通して、世界各地の環境問題についての英文を読んで考えたことや感じたこと、その理由などを書き、読み合い、意見交流をする活動を継続する。

(2) パフォーマンステストの実施について

① 内容

- ・ 制限時間は20分とする。
- ・ 読んだ英文の内容を踏まえ、自分の考えやその理由を書く。

② 留意点

- ・ 辞書使用やネット検索はさせない。

(3) 事後指導について

- ・ 書いた英文を、同学年の生徒間でタブレット端末上で共有し、読み合う。自分の考えとの共通点、相違点、納得した点について意見共有する。
- ・ 英文の正確さについて、全体または個別に確認する。

IV 参考文献

- ◆文部科学省 中学校学習指導要領（平成29年3月）
- ◆文部科学省 中学校学習指導要領解説 外国語編（平成29年7月）
- ◆国立教育政策研究所 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
中学校外国語（令和2年3月）
- ◆啓林館 BLUE SKY English Course 123（令和2年版）
- ◆東京書籍 NEW HORIZON English Course 123（令和2年版）
- ◆三省堂 NEW CROWN English Series 123（令和2年版）
- ◆光村図書 Here We Go English Course 123（令和2年版）
- ◆札幌市教育委員会 令和2年度札幌市英語教育改善プラン 小・中・高等学校間の
連携・接続を図る「札幌CAN-DOスタンダード」活用ハンドブック（令和3年2月）
- ◆本多敏幸 明治図書出版
中学校外国語新3観点の学習評価完全ガイドブック（令和2年10月）
- ◆瀧沢広人 学陽書房 実例でわかる！中学英語パフォーマンステスト&学習評価
（令和3年10月）

CHAPTER



中学校 定期テスト作成 サポートブック

目次

1

テスト作成の4つのステップ

- Step 1 領域ごとの目標を確認しよう
- Step 2 評価規準を作成する際の観点ごとのポイントを確認しよう
- Step 3 評価することを明確にしよう
- Step 4 具体例を参考に、テストを作成しよう

2

領域ごとの具体例

「聞くこと」

【作成の手順】

【評価することに適したテキストや問題の種類】

- 具体例 1 【知識・技能】を評価したい
- 具体例 2 【思考・判断・表現】「必要な情報を聞き取ること」を評価したい
- 具体例 3 【思考・判断・表現】「概要を捉えること」を評価したい
- 具体例 4 【思考・判断・表現】「要点を捉えること」を評価したい

「読むこと」

【作成の手順】

【評価することに適したテキストや問題の種類】

- 具体例 5 【知識・技能】を評価したい
- 具体例 6 【思考・判断・表現】「必要な情報を読み取ること」を評価したい
- 具体例 7 【思考・判断・表現】「概要を捉えること」を評価したい
- 具体例 8 【思考・判断・表現】「要点を捉えること」を評価したい

「書くこと」

【作成の手順】

- 具体例 9 【知識・技能】「正確に書くこと」を評価したい（主に「知識」を評価する）
- 具体例 10 【知識・技能】「正確に書くこと」を評価したい（主に「技能」を評価する）
- 具体例 11 【知識・技能】「正確に書くこと」を評価したい（主に「技能」を評価する）
- 具体例 12 【思考・判断・表現】「まとまりのある文章を書くこと」を評価したい
- 具体例 13 【思考・判断・表現】「聞いたたり読んだりしたことについて書くこと」を評価したい

Step1 領域ごとの目標を確認しよう

聞くこと	ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、 <u>必要な情報を聞き取ることができる</u> ようにする。
	イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の <u>概要を捉えることができる</u> ようにする。
	ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の <u>要点を捉えることができる</u> ようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから <u>必要な情報を読み取ることができる</u> ようにする。
	イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の <u>概要を捉えることができる</u> ようにする。
	ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の <u>要点を捉えることができる</u> ようにする。
話すこと [やり取り]	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて <u>即興で伝え合うことができる</u> ようにする。
	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、 <u>簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる</u> ようにする。
	ウ 社会的な話題に関して <u>聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる</u> ようにする。
話すこと [発表]	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて <u>即興で話すことができる</u> ようにする。
	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、 <u>簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる</u> ようにする。
	ウ 社会的な話題に関して <u>聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる</u> ようにする。
書くこと	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて <u>正確に書くことができる</u> ようにする。
	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて <u>まとまりのある文章を書くことができる</u> ようにする。
	ウ 社会的な話題に関して <u>聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる</u> ようにする。

※「話すこと」「書くこと」に関しては、「パフォーマンステストハンドブック」も参照してください。

Step2 評価規準を作成する際の観点ごとのポイントを確認しよう

「知識・技能」	「知識」	中学校学習指導要領解説「外国語編」p.119「2 内容」の〔知識及び技能〕における「(1) 英語の特徴やきまりに関する事項」に記されていることを指しており、 <u>それらの事項を理解している状況</u> を評価する。	
	「技能」	「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」 <u>実際のコミュニケーションにおいて</u> 、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして、 <u>表現したり伝え合ったりする技能を身に付けている状況</u> を評価する。 なお、指導する単元で扱う言語材料が提示された状況で、それを使って事実や自分の考え、気持ちなどを話したり書いたりすることができるか否かを評価するのではなく、 <u>使用する言語材料の提示がない状況においても、それらを用いて事実や自分の考えなどを話したり書いたりすることができる技能を身に付けているか否かについて</u> 評価する。	
		「聞くこと」「読むこと」	<u>実際のコミュニケーションにおいて</u> 、日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、 <u>その内容を捉える技能を身に付けている状況</u> を評価する。
		「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」	<u>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて</u> 、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、 <u>話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしている状況</u> を評価する。
「思考・判断・表現」	「聞くこと」「読むこと」	<u>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて</u> 、日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、 <u>必要な情報や概要、要点などを捉えている状況</u> を評価する。	
	「主体的に学習に取り組む態度」	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、 <u>聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている状況</u> を評価する。	
		「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」	日常的な話題や社会的な話題などについて、 <u>目的や場面、状況などに応じて</u> 、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、 <u>話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしようとしている状況</u> を評価する。
「主体的に学習に取り組む態度」	「聞くこと」「読むこと」	<u>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて</u> 、日常的な話題や社会的な話題などについて話されたり書かれたりする文章を聞いたり読んだりして、 <u>必要な情報や概要、要点を捉えようとしている状況</u> を評価する。	
	上記の側面と併せて、言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的に捉えている状況についても、特定の領域・単元だけではなく、年間を通じて評価する。		

ここがポイント！！

生きて働く「知識及び技能」の習得

習得した知識や技能は「生きて働く」、つまり必要な場面で使えるものが求められます。授業においても、実際のコミュニケーションの場面で使うことが大事です。

未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成

相手の発話や与えられた状況にその場で対応する必要がある言語活動を工夫します。単に覚えた内容を再生するだけでは「思考力・判断力・表現力等」の育成は十分とは言えません。

学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

学びを人生や社会に生かそうとするかどうかは、コミュニケーションの目的や場面、状況などが明確であるか、そこに自分自身とのかかわりを実感できるかが大切です。

Step3 評価することを明確にしよう

聞くこと	<u>必要な情報</u> を聞き取ること
	<u>概要</u> を捉えること
	<u>要点</u> を捉えること
読むこと	<u>必要な情報</u> を読み取ること
	<u>概要</u> を捉えること
	<u>要点</u> を捉えること
書くこと	<u>正確</u> に書くこと
	<u>まとまりのある文章</u> を書くこと
	<u>聞いたり読んだりしたこと</u> について、 <u>簡単な語句や文</u> を用いて書くこと

Step4 具体例を参考に、テストを作成しよう

次ページからは、領域ごと、評価することごとの具体例を掲載しています。また、それぞれの具体例の下には、「その他の参考になる問題」も示しているので、巻末の二次元コードを読み取り、他の資料も併せてテスト作成の参考にしてください。

「聞くこと」

【作成の手順】

	手 順
1	当該単元の「聞くこと」の目標を確認する。
2	評価すること（必要な情報を聞き取ること、概要を捉えること、要点を捉えること）を明確にする。
3	<p>評価することに応じてテストを作成する。</p> <p>(1) 評価することに適したテキストの種類を決定する。</p> <p>(2) テキストの種類に応じた文章を作成する（次ページ参照）。</p> <p>ア 教科書の文章を基に作成する（ダイアログをモノログに、モノログをダイアログに変える等）。</p> <p>イ 他教科で学んだことを題材にする。</p> <p>ウ ALTに依頼し、作成してもらう。</p>
4	<p>作成した文章を以下の観点で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 評価したいことに適した内容や構成になっているか。 <input type="checkbox"/> 学習した言語材料が出来る限り使用されているか。 <input type="checkbox"/> 分量は適切か。 <input type="checkbox"/> 背景知識がある生徒に有利な内容になっていないか。 <input type="checkbox"/> 聞かなくても解答できる内容や問いになっていないか。 <input type="checkbox"/> 語や文構造等に未習のものがいないか（文脈によって意味の推測が可能で、解答に関連しなければ使用することは考えられる）。
5	問題を作成する。
6	<p>作成者が実際に解いて、問題の適切さを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 特定の語や文の意味が分かれば解ける問題になっていないか。 <input type="checkbox"/> 選択式の問題の場合、誤答の選択肢の中で正答になりうるものはないか。 <input type="checkbox"/> 1つの問題が他の問題の答えを示していることはないか。 <p>（例）問1 Aは東京に行きましたか。 問2 Aは東京で何を見ましたか。 ※この場合、問2を見ると、Aが東京に行ったのだとわかる。</p>
7	記述式の問題は、採点基準も作成する。

【評価することに適したテキストや問題の種類】

評価	適したテキスト	解答形式	問題の種類
必要な情報を聞き取る	◇広告 ◇パンフレット ◇予定表 ◇手紙 ◇電子メール等	選択式	・英文（プレゼンテーションやアナウンス）を聞いて、適切な表やグラフを選ぶ問題 ・英文（アナウンス等）などを聞いて、聞き手が次に取るべき行動を選ぶ問題 ・イベントのポスターから開催日時やタイムスケジュールを聞いて、自分がどの時間帯に参加するかを決める問題
		記述式	・話し手の状況や意向、疑問を聞き取り、助言や感想を記述する問題
概要を捉える	◇時系列で話された短い説明 ◇意見文 ◇エッセイ ◇物語等	選択式	・英文の概要に合う絵や図、グラフ、英文等を選ぶ問題 ・英文の概要に合うよう、絵や図等を並べ替える問題 ・英文の概要をまとめた別の文章を選ぶ問題 ・英文の概要に合うトピックとその順番を選ぶ問題 ・時系列で話されている英文の内容に合うよう、英文を並べ替える問題
		記述式	・英文の内容に合うように、表やグラフ等の空欄を単語等で埋める問題 ・英文の概要を書く問題 ・英文全体の内容に合うようにタイトルを付ける問題
要点を捉える	◇社会的な話題に関する説明文 ◇意見文 ◇手紙 ◇電子メール等	選択式	・英文の要点に合う英文を選ぶ問題 ・英文の要点をまとめた別の文章を選ぶ問題
		記述式	・英文の重要な点に合うようにタイトルを付ける問題 ・英文の要点を書く問題 ・英文の要点について、自分の意見（賛否）とその理由を書く問題

ここがポイント！！

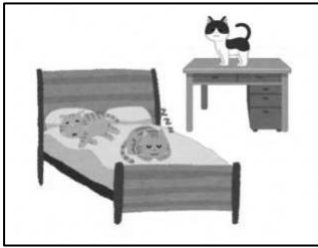
※「知識・技能」を評価するテストを作成する際の注意点は、話される文章等を聞いて、その内容を捉えることができるか否かを評価するものを作成します。当該学期で扱った言語材料を必ず使用して作成します。

※「思考・判断・表現」を評価するテストを作成する際の注意点は、目的や場面、状況などを必ず設定します。当該学期で扱った言語材料を必ず使用しなければならぬわけではありません。

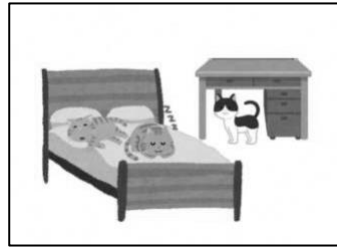
話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ 1 から 4 までの中から 1 つ選びなさい。

(1)

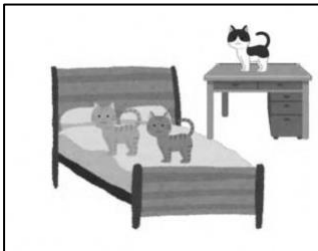
1



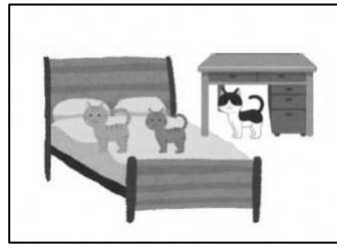
2



3



4



(スクリプト)

(1) Look at this picture. There are three cats. You can see a cat under the desk. And the other cats are on the bed. They are sleeping.

正解 2

(令和 5 年度全国学力・学習状況調査 1)

ここがポイント！！

◎ 特定の言語材料を使用し、1つのキーワードだけでなく、話される文全体の内容の聞き取りが必要な評価問題にすることが鍵！

その際、「知識」と「技能」を正しく捉える必要があります。ゆっくりと話された音声であっても聞き取れない場合は、「知識」の側面に課題があることが考えられます。音声の速度を調節してゆっくりと話された音声であれば聞き取れる場合は、「技能」の側面に課題があることが考えられます。これらを把握して、個々の課題に応じた支援をしていくことが大切になります。

<学習指導の工夫点✍>

- ★ 自然な速さで話される音声を聞いて、語と語の連結による音変化や強勢による英語特有のリズム、イントネーションに慣れる活動を取り入れます。
- ★ 意味のまとまりを意識しながら、区切って聞いたり音読したりする活動を取り入れます。

その他の参考となる問題

- ・令和5年度全国学力・学習状況調査 1 (2) (3)
- ・平成31年度全国学力・学習状況調査 1 (1) ~ (4)
- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 p. 69
 - 5 ペーパーテストの作成に当たって (参考) 「知識・技能」を評価する問題例
- ・令和5年度県学習状況調査 1 (1) ~ (3)
- ・令和4年度県学習状況調査 1 (1) ~ (3)

適したテキストや問題の種類			
評価	適したテキスト	解答形式	問題の種類
必要な情報を聞き取る	◇広告 ◇パンフレット ◇予定表 ◇手紙 ◇電子メール等	選択式	<ul style="list-style-type: none"> ・英文（プレゼンテーションやアナウンス）を聞いて、適切な表やグラフを選ぶ問題 ・英文（アナウンス等）などを聞いて、聞き手が次に取るべき行動を選ぶ問題 ・イベントのポスターから開催日時やタイムスケジュールを聞いて、自分がどの時間帯に参加するかを決める問題
		記述式	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の状況や意向、疑問を聞き取り、助言や感想を記述する問題

あなたはイングリッシュキャンプに参加しています。これから、2班のリーダーとして明日のバーベキューパーティーについて説明を聞くところです。説明を聞いたあと、質問が放送されます。質問の答えとして最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 To tell your group members about your group's job.
- 2 To make the fire and cook rice.
- 3 To cut the vegetables and the meat.
- 4 To cut the vegetables and set the tables.

(スクリプト)

Tomorrow, we will have a barbecue party. We have three groups. Each group has a job. Group leaders, don't forget to tell your group members about your group's job. Group 1, can you make the fire and cook rice? Group 2 and 3, please cut the vegetables together. After you finish cutting the vegetables, Group 2 cut the meat, and Group 3 set the tables for all the groups. Do you have any questions? If you have any questions, please ask me later.

Question: What is your group's job at the barbecue party?

正解 3

(令和5年度全国学力・学習状況調査 3)

ここがポイント！！

- ◎ 自分が置かれた状況などに着目して、必要な情報と必要としない情報を判断し、「必要な情報」のみを取り出すことができるかどうかを評価する問題にすることが鍵！

<学習指導の工夫点✍>

- ★ 言語活動を行うときに、まず「自分の置かれた状況を把握できているか」「何を聞き取ればよいかを理解しているか」を確認します。
- ★ 「必要な情報」のみを取り出すことができるように、事前に聞き取りの視点を与えてから聞かせます。
- ★ 使用されそうな語句や表現、キーワード（左記の問題であれば「Group2」等）を予測しながら聞き取るように指導します。

その他の参考となる問題

- ・令和5年度全国学力・学習状況調査 3
- ・平成31年度全国学力・学習状況調査 3
- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 p.67 5 ペーパーテストの作成に当たって(2) ペーパーテスト例 1
- ・令和4年度県学習状況調査 3
- ・令和3年度県学習状況調査 1 (1) ~ (3)

適したテキストや問題の種類			
評価	適したテキスト	解答形式	問題の種類
概要を捉える	◇時系列で話された短い説明 ◇意見文 ◇エッセイ ◇物語等	選択式	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の概要に合う絵や図、グラフ、英文等を選ぶ問題 ・英文の概要に合うよう、絵や図等を並べ替える問題 ・英文の概要をまとめた別の文章を選ぶ問題 ・英文の概要に合うトピックとその順番を選ぶ問題 ・時系列で話されている英文の内容に合うよう、英文を並べ替える問題
		記述式	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の内容に合うように、表やグラフ等の空欄を単語等で埋める問題 ・英文の概要を書く問題 ・英文全体の内容に合うようにタイトルを付ける問題

英語の授業で、ある生徒が自分の夢について、次の3枚の絵を見せながら発表します。生徒は最初の絵に続けて、ア、イ、ウをどのような順番で見せるでしょうか。正しい順番になるように、1つずつ絵を選びなさい。

最初の絵



ア



イ



ウ



(スクリプト)

Do you know the World Cup? It is a big soccer event. Many people watch it on TV. It is very exciting. We can watch it every four years. Many teams play in it. My favorite team is team Brazil. They are very strong and brave. People in Brazil are proud of them. I want to be a soccer player and play soccer like them in the World Cup.

正解 イ → ウ → ア

(参考：令和4年度県学習状況調査 2)

ここがポイント！！

- ◎ まとまりのある英語を聞いて、“全体を通して” どのような話のあらましになっているのかを捉えさせる評価問題にすることが鍵！

<学習指導の工夫点✍>

- ★ 一語一語や一文一文の意味など、特定の部分にのみとられることのないよう、全体を通して聞くことを確認します。
- ★ コミュニケーションを行う目的や場面、状況を設定し、全体の流れを聞き取る必然性を与えます。

<目的・場面・状況がない設問例>

「英文を聞いて、それに合うようにア～ウの絵を正しい順番に並べなさい。」

その他の参考となる問題

- ・平成31年度全国学力・学習状況調査 [2]
- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 p. 68 5 ペーパーテストの作成に当たって [2]
- ・令和5年度県学習状況調査 [2]

適したテキストや問題の種類			
評価	適したテキスト	解答形式	問題の種類
要点を捉える	◇社会的な話題に関する説明文 ◇意見文 ◇手紙 ◇電子メール等	選択式	・英文の要点に合う英文を選ぶ問題 ・英文の要点をまとめた別の文章を選ぶ問題
		記述式	・英文の重要な点に合うようにタイトルを付ける問題 ・英文の要点を書く問題 ・英文の要点について、自分の意見（賛否）とその理由を書く問題

あなたのクラスは、シンガポールにある姉妹校の生徒たちとオンラインで地域の課題について意見交換をしています。これから、姉妹校の生徒であるジェニーの話を知るところです。ジェニーが最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 There isn't enough water in Singapore.
- 2 Doing something to save water is important.
- 3 I take showers for only five minutes each time.
- 4 One of my friends uses rain water for the plants in his room.

(スクリプト)

Hi, I'm Jenny. Today, I'm going to share our ideas about a water problem in our country. There isn't enough water in Singapore. My classmates and I talked about this problem at school. We all said, "We cannot do something big, but doing something to save water is important for even junior high school students." For example, I take showers for only five minutes each time. Also, I turn off the water when I brush my teeth. One of my friends uses rain water for the plants in his room. We are all trying to do something to save water. What do you think?

正解 2

(令和5年度全国学力・学習状況調査 4)

ここがポイント！！

- ◎ ある程度情報が入ったまとまりのある文から、話し手が伝えようとする「最も重要なことは何であるか」を判断して捉えさせる評価問題にすることが鍵！

<学習指導の工夫点✍>

- ★ 説明を聞いて、聞き取った情報のどれが「話題」「主題」「具体例」に当たるのか、情報を比較しながら検討し、その中で話し手が最も伝えたい「主題」を捉えるように指導します。
- ★ 日常的な話題だけでなく、自然環境問題や平和問題等、社会的な話題に関するまとまりのある内容を聞く活動も取り入れます。
- ★ 話し手が最も伝えたいことだと判断した根拠を比較し合う学習場面を設定します。

その他の参考となる問題

- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 pp. 68-69 5 ペーパーテストの作成に当たって **3**

「読むこと」

【作成の手順】

	手 順
1	当該学年や当該単元の「読むこと」の目標を確認する。
2	ペーパーテストで出題する問題により評価すること（必要な情報を読み取ること、概要を捉えること、要点を捉えること）を、当該学期で指導した内容を踏まえて明確にする。
3	<p>評価することに応じてテストを作成する。</p> <p>(1) 評価することに適したテキストの種類を決定する（次ページ参照）。</p> <p>(2) テキストの種類に応じた文章を作成する。</p> <p>【作成方法の例】</p> <p>ア 教科書の文章を基に作成する（ダイアログをモノログに、モノログをダイアログに変える等）。</p> <p>イ 他教科で学んだことを題材にする。</p> <p>ウ ALTに依頼し、作成してもらう。</p>
4	<p>作成した文章を以下の観点で確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価したいことに適した内容や構成になっているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 学習した言語材料ができる限り使用されているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 分量は適切か。</p> <p><input type="checkbox"/> 背景知識がある生徒に有利な内容になっていないか。</p> <p><input type="checkbox"/> 読まなくても解答できる内容や問いになっていないか。</p> <p><input type="checkbox"/> 語や文構造等に未習のものがいないか（文脈によって意味の推測が可能で、解答に関連しなければ使用することは考えられる）。</p>
5	問題を作成する。
6	<p>作成者が実際に解いて、問題の適切さを確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 特定の語や文の意味が分かれば解ける問題になっていないか。</p> <p><input type="checkbox"/> 選択式の問題の場合、誤答の選択肢の中で正答になりうるものはないか。</p> <p><input type="checkbox"/> 1つの問題が他の問題の答えを示していることはないか。</p> <p>（例）問1 Aは東京に行きましたか。</p> <p>問2 Aは東京で何を見ましたか。</p> <p>※この場合、問2を見ると、Aが東京に行ったのだとわかる。</p>
7	記述式の問題は、採点基準も作成する。

【評価することに適したテキストや問題の種類】

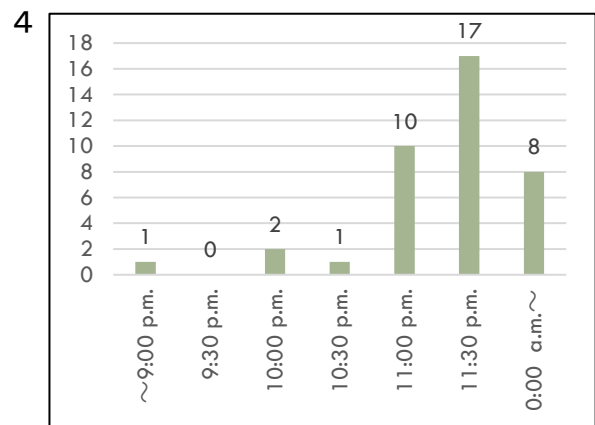
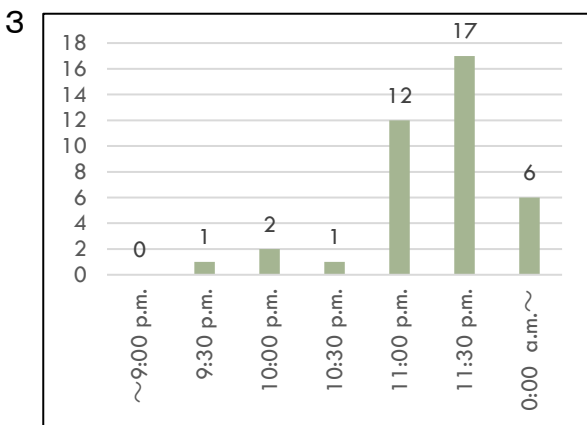
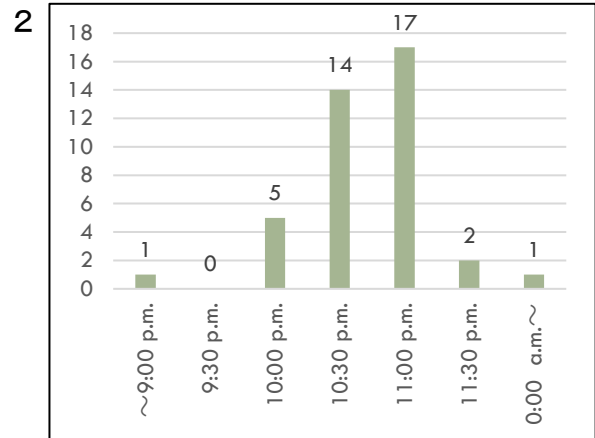
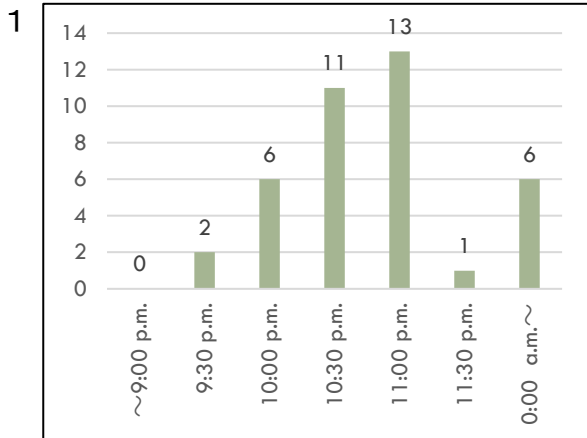
評価	適したテキスト	解答形式	問題の種類
必要な情報を読み取る	◇広告 ◇パンフレット ◇予定表 ◇手紙 ◇電子メール等	選択式	<ul style="list-style-type: none"> ・英文（プレゼンテーションやアナウンス）を読んで、適切な表やグラフを選ぶ問題 ・英文を読んで、読み手が次に取るべき行動を選ぶ問題 ・イベントのポスターから開催日時やタイムスケジュールを読んで、自分がどの時間帯に参加するかを決める問題
		記述式	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の状況や意向、疑問を読み取り、助言や感想を記述する問題 ・イベント紹介のパンフレット等を読み、自分の目的に合うものを選ぶ問題
概要を捉える	◇時系列で書かれた短い説明 ◇意見文 ◇エッセイ ◇物語等	選択式	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の概要に合う絵や図、グラフ、英文等を選ぶ問題 ・英文の概要に合うよう、絵や図等を並べ替える問題 ・英文の概要をまとめた別の文章を選ぶ問題 ・英文の概要に合うトピックとその順番を選ぶ問題 ・時系列で書かれている英文の内容に合うよう、英文を並べ替える問題
		記述式	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の内容に合うように、表やグラフ等の空欄を単語等で埋める問題 ・英文の概要を書く問題 ・英文全体の内容に合うようにタイトルを付ける問題
要点を捉える	◇社会的な話題に関する説明文 ◇意見文 ◇手紙 ◇電子メール等	選択式	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の要点に合う英文を選ぶ問題 ・英文の要点をまとめた別の文章を選ぶ問題
		記述式	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の重要な点に合うようにタイトルを付ける問題 ・英文の要点を書く問題 ・英文の要点について、自分の意見（賛否）とその理由を書く問題

ここがポイント！！

- ◎ **記述式の問題**において、単語や英文で書かせる場合は2～3文程度に留めるなど「書くこと」の負担を軽減します。
- ◎ **採点基準の設定**に留意し「書くこと」の能力を問う問題にならないようにします。
- ◎ **「思考・判断・表現」を評価**する問題には、目的や場面、状況等を必ず設定します。

次の英文を読んで、その内容を最も適切に表しているグラフを、下の1～4までのの中から1つ選びなさい。

Our group asked our classmates this question. “What time do you go to bed every day?” According to our research, many people in this class go to bed late at night. Most of them go to bed after 11:00 p.m. No one goes to bed before 9:00 p.m. More than five people go to bed after midnight.



正解 3

ここがポイント！！

- ◎ 短い文章の中で、語彙や文法事項、言語の働きなどの知識を活用し、情報を正確に読み取ることができるかどうかを評価する問題にすることが鍵！
- ◎ 音声や語彙、表現、文法や言語の働きなどを理解しているか、また、これらの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかを評価します。

<学習指導の工夫点✍>

- ★ 短い文章から情報を正確に読み取るには、既習の語や文法事項等の知識を活用して、文構造を適切に捉え、書かれている情報を読み取っていくことが重要です。
- ★ 英文を読む際に、主語や動詞などの意味のまとまりを捉えながら読み進めることが大切です。また、絵や写真、グラフなどを説明する英文を正確に読み取るためには、I または you 以外の主語や無生物が主語になる英文を使って事実を伝える活動を行うことも大切です。

その他の参考となる問題

- ・令和5年度全国学力・学習状況調査 5
- ・平成31年度全国学力・学習状況調査 5
- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 pp. 61-62 4 ペーパーテストの作成に当たって (2) ペーパーテスト例 (参考)「知識・技能」を評価する問題例

次の英文は、友達のデイビッド (David) があなたに送ったメールです。メールを読んで、デイビッドにおすすめのイベントとして最も適切なものを、下の1から4までのの中から1つ選びなさい。

Events on the Weekend

Date April 13, 2023 18:45

From David

Hello. How are you? I'm excited to stay at your house this weekend.

I hear your town has some events on the weekend. I want to join one of them with you. Which event is the best? We both love sports, music, and cooking, right? Let's choose from among them.

I will arrive on Saturday afternoon. I have to leave before 4 p.m. on Sunday because I will have dinner with my family.

I'm looking forward to seeing you soon.

※ 選択肢としてイベントのポスターを4種類 (省略)

(令和5年度全国学力・学習状況調査 6)

ここがポイント！！

◎ 複数の情報が含まれるまとまりのある内容の英文を作成し、書かれていることのすべてではなく、読み手として目的に応じて知りたいことや欲しい情報などを読み取るような評価問題にすることが鍵！

<学習指導の工夫点✍>

★ 複数の情報が含まれる文章から必要な情報を読み取るためには、書かれていることの全てを読み取ろうとするのではなく、自分の置かれた状況などから何が自分にとって必要な情報であるのか判断した上で読み取ることが重要です。

<言語活動の例>

- ・ 広告や予定表、手紙、電子メールなどから、自分が必要とする情報を読み取る活動
- ・ 取扱説明書から必要としている説明を読み取る活動
- ・ スポーツクラブのパンフレットを複数示し、自分が通うことのできる曜日に自分が体験したいスポーツを実施しているクラブはどれなのかを探す活動

その他の参考となる問題

- ・ 令和5年度県学習状況調査 4、6 (1)
- ・ 令和4年度県学習状況調査 6 (1) (2)

あなたは学校の「ALTコーナー」に掲示されたALTのMs. White（ホワイト先生）が書いた記事について読んでいます。これを読んで以下の問いに答えなさい。

Did you have a wonderful vacation? Me? Yes! I traveled to Thailand and Singapore this summer and had a lot of fun.

On July 31, I went to Thailand and stayed in Bangkok for three days. Bangkok is a big city and has a lot of markets. On the first day, I enjoyed eating local food in Bangkok. I ate noodles and grilled pork. They were delicious. The next day, I saw beautiful golden temples. On the last day, I went to the beach and swam in the sea. The sea was very beautiful.

I went to Singapore on August 3. I saw the Merlion. The Merlion is a famous statue and it is a mascot of Singapore. It has a lion head and a fish body. I took some pictures with it. At night, I had dinner at a restaurant and ate chicken rice. It was so good.

Thailand and Singapore are both Asian countries. But they are very different. I want to travel to the other Asian countries in winter.

(1) ホワイト先生が書いた記事の概要として最も適切なものを、下の(1)～(4)の中から1つ選びなさい。

ア Ms. White had a lot of fun in the summer vacation. She saw the Merlion and she bought a mascot of a lion. At night, she had dinner at a restaurant and ate chicken rice. She wants to travel to Asian countries in winter.

イ Ms. White had a lot of fun in the summer vacation. She enjoyed local food in Thailand. She saw the golden temples and enjoyed swimming in the sea. She wants to go to Singapore in winter.

ウ Ms. White went to Thailand and Singapore this summer. Bangkok was a big city and had a lot of markets. In Singapore she saw the Merlion. The Merlion is a mascot of Singapore. She took some pictures of it. She wants to visit the other Asian countries in winter.

エ Ms. White went to Thailand and Singapore this summer. In Thailand, she ate local food and saw golden temples. She went to the beach and swam in the sea. In Singapore, she saw a famous statue and ate delicious chicken rice. She wants to travel to the other Asian countries in winter.

正解 エ

ここがポイント！！

- ◎ 物語や説明文などのまとまりのある文章を最初から最後まで読み、一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとらわれることなく、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじなど、書き手が述べていることの大まかな内容を捉えているかを評価する問題にすることが鍵！

<学習指導の工夫点✎>

- ★ 概要を捉えるためには、段落内の文と文との関係を読み取りながら、各段落の主な内容を捉えることが重要です。
- ★ 言語活動を行うに当たっては、語と語の関連や代名詞、接続表現などを手掛かりにしながら、段落内の情報の関係を正確に把握することが大切です。

<言語活動の例>

- ・短い説明やエッセイ、物語などの文章全体を読んだ上で、時系列に情報を整理したり、書き手が伝えたいことの大まかな内容などを把握したりする活動
- ・学校生活を紹介している短い文章を読む際に、それぞれの情報の関係を示す接続詞に注目させながら文章の流れを理解したり、キーワードを拾い、全体としての内容を数文の英語でまとめたりする活動
- ・友人や教師が休日を過ごした中で感じたことなどのエッセイを読む際に、出来事を時系列に沿って整理し、伝えようとしている内容を絵や簡単な英語で表現する活動

その他の参考となる問題

- ・令和5年度全国学力学習状況調査 7 (2)
- ・平成31年度全国学力・学習状況調査 6
- ・「指導と評価の一体化」のための参考資料 pp.60-61 4 (2) ペーパーテスト例 1
- ・令和5年度県学習状況調査 6 (2) (3)

★ ChatGPT で作成

留学生のホワイトさんが、総合的な学習の時間にSDGsについて学んだ後、神先生にレポートを提出しました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

The Shirakami Mountains in Japan are full of beautiful nature. Japan has many places with beautiful nature. However, recently, there have been problems with garbage and lots of tourism.

There are many tourists who visit these beautiful places. Because when more people travel, they create more garbage and it puts more stress on the environment. I think it's important not only to enjoy nature, but also to work hard to keep nature beautiful and healthy.

What do you think we can do to protect nature?

- (1) ホワイトさんが最も伝えたいことを、下のア～エの中から1つ選びなさい。
- ア The Shirakami Mountains are full of beautiful nature.
 - イ There are problems with garbage and tourism.
 - ウ It is important not only to enjoy nature, but also to keep it beautiful and healthy.
 - エ There is more stress on the environment.

- (2) ホワイトさんの質問に対するあなたの考えを英語で簡潔に書きなさい。

※「読むこと」と「書くこと」の統合問題（具体例 13 参照）

ここがポイント！！ ※ (1) について

- ◎ 説明文などのまとまりのある文章を最初から最後まで読み、含まれている複数の情報の中から、書き手が最も伝えたいことは何かを判断して捉えているかを評価する問題にすることが鍵！

<学習指導の工夫点>

- ★ 意見文を読んで、要点を捉えるためには、文章全体を通して読み、複数の情報の中から書き手が最も伝えたいことは何かを判断して捉えることが重要です。
- ★ 言語活動を行うに当たっては、繰り返し用いられている語句や同じ内容を言い換えている表現、文章中の問いかけなどを手掛かりにして最も大切な語句や文を選んだり、段落内の文章の構成を把握したりすることが大切です。

その他の参考となる問題

- ・令和5年度全国学力学習状況調査 8 (1)
- ・平成31年度全国学力学習状況調査 7
- ・令和5年度県学習状況調査 7 (1)
- ・令和3年度県学習状況調査 6 (1) (2)

「書くこと」

【作成の手順】 ※主に「知識・技能」

	手 順
1	評価する言語材料を何にするかを定める。
2	出題のねらい（主として評価するのは、「知識」か「技能」か）を決める。
3	文脈や使用場面がある問題を作成する。
4	解答する際に使用する言語材料を明示していないかどうかを確認する。
5	出題方法（多肢選択式、記述式等）を決める。
6	評価する対象の言語材料以外の言語材料における誤りで減点したり誤答としたりといった採点基準になっていないかを確認する。
7	「知識・技能」の問題の配点が高くなりすぎていないかを確認する。

ここがポイント！！

◎ 「知識・技能」を評価するテストを作成する際の注意点

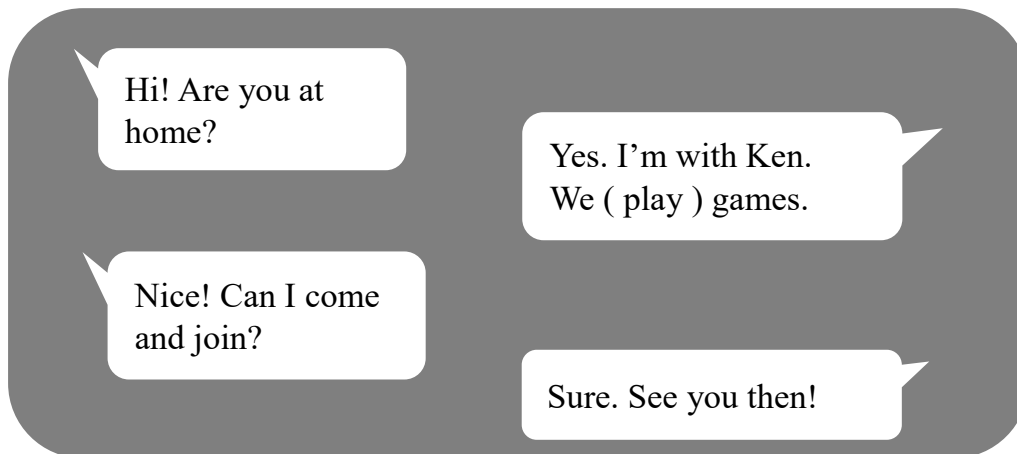
- ・文脈を伴い、文脈から正解を判断できるか否かを問います（主に「知識」を評価する問題）。
- ・実際のコミュニケーションの場面を設定しつつ、特定の言語材料の使用を求めます（主に「技能」を評価する問題）。
- ・「〇〇形を用いて書きなさい」と指示したり、例文を示したりすることは避けま
す。

◎ 「思考・判断・表現」を評価するテストを作成する際の注意点

- ・目的、場面、状況等を設定します。
- ・採点基準を明記します。
- ・内容面を重視し、言語使用の正確さを問う問題にならないよう採点基準の設定に留意します。

（詳細は「パフォーマンステストハンドブック」参照）

次のSNSでのやりとりを読んで、() 内に入る最も適切なものを下の (1) ~ (3) までのの中から1つ選びなさい。



- (1) play (2) are playing (3) played

正解 (2)

ここがポイント！！

◎ 文構造や文法事項、言語の働きなどの知識を活用し、文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかを評価する問題にすることが鍵！

<学習指導の工夫点✍>

★ 場面や状況に応じて正確に英文を書くためには、文脈から適切な文の形式や時制を判断することが大切です。その上で、意味内容の伝達のみには留まるのではなく、生徒自身が英語表現の誤りに気付き、修正を加えながら正確さを高めていくことが必要です。

<言語活動の例>

- ・意味のある文脈を設定し、適切な表現を選択して書く活動

その他の参考となる問題

- ・令和5年度全国学力学習状況調査 9 (1)
- ・平成31年度全国学力学習状況調査 9 (1)
- ・「指導と評価の一体化」のための参考資料 pp. 73-76 5 (1) ペーパーテストやワークシートの問題例①、②
- ・令和5年度県学習状況調査 8 (1)
- ・令和4年度県学習状況調査 8 (1)
- ・令和3年度県学習状況調査 7

以下は、ALTのホワイト(Ms. White)先生と、ある生徒との夏休み明けのノート上でのやり取りです。対話の流れに合うように、()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英語を完成させなさい。

Nice to see you again! How was your summer vacation?

Please tell me about it. (A L T)

Hi, Ms. White! I went to Morioka with my mother. (enjoy) shopping there. I bought a T-shirt and a pencase.

採点の基準 (例)

人称や過去形の特徴やきまりを理解して正確に書いているもの。または、大文字・小文字の書き分けや綴り等に誤りがあるが、コミュニケーションに支障がないもの。 (正答例) We enjoyed / we enjoyed	○
人称や現在進行形の特徴やきまりを理解せず正確に書いていないもの。 (誤答例) I enjoy / I and my mother enjoyed / We enjoyid	×

ここがポイント！！

- ◎ 文構造や文法事項、言語の働きなどの知識を活用し、正しい語順で文を構成することや、伝えたいことについての情報を正確に書くことができるかどうかを評価する問題にすることが鍵！
- ◎ 文脈に応じて、特定の言語材料を正しく使って文(の一部)を書くことができるかを評価します。

<学習指導の工夫点✍>

- ★ 場面や状況に応じて正確に英文を書くためには、文脈から適切な文の形式や時制を判断することが大切です。その上で、意味内容の伝達のみにとどまるのではなく、生徒自身が英語表現の誤りに気づき、修正を加えながら正確さを高めていくことが必要です。

その他の参考となる問題

- ・令和5年度全国学力学習状況調査 9 (2)
- ・平成31年度全国学力学習状況調査 9 (2)
- ・「指導と評価の一体化」のための参考資料 pp.73-76 5 (1) ペーパーテストやワークシートの問題例③
- ・令和5年度県学習状況調査 8 (2)
- ・令和4年度県学習状況調査 8 (2)
- ・令和3年度県学習状況調査 7

あなたの班は、新しく来るALTの先生にインタビューをします。班のみんなで考えた質問事項のメモを読んで、英文の原稿を書きなさい。

質問事項

- 1 好きな食べ物について
- 2 日本の文化に興味があるか
- 3 どこに行ってみたいか
- 4 休日に何をするか

採点の基準（例）

<p>現在形を用いた疑問文に関する英語の特徴やきまりを理解し、文（単文）を正確に書いているもの。または、大文字・小文字の書き分けや綴り等に誤りがあるがコミュニケーションに支障がないもの。※現在形の疑問文の構造を理解しているかを評価の対象とする。</p> <p>（正答例）1. What food do you like? 2. Are you interested in Japanese culture? 3. Where do you want to go? 4. What do you do on weekends?</p>	○
<p>現在形を用いた文に関する英語の特徴やきまりを理解していないもの。</p> <p>（誤答例）1. What do you like food? / Do you like food? 2. Do you interested in Japanese culture? 3. Where you want to go? 4. What are you do on weekends?</p>	×

書くこと

ここがポイント！！

◎ 特定の言語材料の使用を促した上で、場面に応じて、当該言語材料を正しく使って文（短文）を書くことができるかを評価する問題にするのが鍵！

※ その他の **ここがポイント！！** 及び <学習指導の工夫点✍> は、「具体例10」を参照してください。

その他の参考となる問題

- ・令和5年度全国学力学習状況調査 9 (2)
- ・平成31年度全国学力学習状況調査 9 (3)
- ・「指導と評価の一体化」のための参考資料 pp. 73-76 5 (1) ペーパーテストやワークシートの問題例④、⑤

あなたはこれから英語の授業でディベートを行います。先生から次の論題が出されました。下のア～ウに注意して、論題に対するあなた自身の考えを書きなさい。

English is widely used in a lot of countries. But these days, Chinese is learned by many people. I think Japanese students should learn both English and Chinese at school. What do you think?

- ア 「賛成」か「反対」か、自分の立場を明らかにすること。
- イ 理由を2つあげること。
- ウ 文の数や語数はいくつでもよい。

採点の基準（例）（5点満点）

- 1 正答の条件：次の条件を満たして回答している。
 - ① 賛成か反対かを明らかにしている。
 - ② ①の理由を2つ書いている。
- 2 正確さについて
 - ・条件①、②を満たし、正確な英語（語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの。（5点）
 - ・条件①、②を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い）で回答しているもの。（2点）
 - ・条件①、②を満たして解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがある。（0点）
 - ・条件①、②を満たしていない。（0点）

ここがポイント！！

◎ 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかを評価する問題とすることが鍵！

<学習指導の工夫点✍>

- ★ テーマについてまとまりのある文章を書くためには、テーマについて事実や考えを整理し、どのように書けばよりよく読み手に伝わるのかを考えながら書くことが重要です。
- ★ 説明文を書く際には、「主題とその具体例」、意見文を書く際には、「最も伝えたいこととその理由」など、目的に応じて文章構成を判断するように指導することも大切です。

その他の参考となる問題

- ・令和5年度全国学力学習状況調査 10
- ・平成31年度全国学力学習状況調査 10
- ・令和4年度県学習状況調査 9
- ・令和3年度県学習状況調査 8

※ 具体例 8 の本文に対して

(2) ホワイトさんの質問に対するあなたの考えとその理由を英語で簡潔に書きなさい。

採点の基準（例）（5点満点）

- 1 正答の条件：次の条件を満たして回答している。
 - ① 自分の考えを書いている。
 - ② ①の理由を書いている。
- 2 正確さについて
 - ・条件①、②を満たし、正確な英語（語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの。（5点）
 - ・条件①、②を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い）で回答しているもの。（2点）
 - ・条件①、②を満たして解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがある。（0点）
 - ・条件①、②を満たしていない。（0点）

ここがポイント！！

- ◎ 読んだことの要点を捉え、自分が考えたことや感じたことなどを、その理由を交えて書くことを評価する問題にするのが鍵！
- ◎ 読んだ内容に関する賛否や自分の意見を述べたり、自分の意見や主張とその理由や根拠の関係を明確にしたり、内容を整理して述べたりなど、論点を明らかにしたり、順序付けを行ったりすることで、読み手にとって分かりやすい文章を書くことが重要です。

<学習指導の工夫点✍>

- ★ 読んだことを基に自分の考えとその理由を書く際には、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解したことを基に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現することが重要です。
- ★ 言語活動を行うに当たっては、読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行うことが大切です。













<言語活動の例>

- ・教科書に取り上げられている話題に関する自分の意見や感想などを、スピーチの形式や、新聞やホームページなどへの投稿文の形式で書く活動

その他の参考となる問題

- ・令和5年度全国学力学習状況調査 ⑧ (2)

参考資料

- ・ 中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 外国語編 文部科学省

- ・ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校外国語 国立教育政策研究所

- ・ 令和 5 年度全国学力・学習状況調査
国立教育政策研究所
【調査問題】  【解説資料】  【報告書】 
- ・ 平成 3 1 年度全国学力・学習状況調査
国立教育政策研究所
【調査問題】  【解説資料】  【報告書】 
- ・ 令和 5 年度青森県学習状況調査 【調査問題】 青森県教育委員会

- ・ 令和 4 年度青森県学習状況調査 【調査問題】 青森県教育委員会

- ・ 令和 3 年度青森県学習状況調査 【調査問題】 青森県教育委員会

- ・ 令和元年度青森県学習状況調査 【調査問題】 青森県教育委員会


C H A P T E R



SMALL TALK

トリオ・ディスカッション

ICT

ALT

Small Talk の進め方

1 Small Talk の主な目的

—以下は小中共通の目的—

- (1) 既習表現の定着
- (2) 対話を続けるための基本表現の定着

—以下は中学校に追加する目的—

- (3) 「やり取り」「即興性」を意識した言語活動の継続
- (4) 技能統合を意識した言語活動の継続

2 Small Talk の流し方例

① 先生と ALT の会話	既習事項を使いながら、一つの話題について話を膨らませ、必要な表現を耳からインプットさせます。
② 先生と子供の会話	使用してほしい表現を使って、先生が複数の子供にゆっくり話し掛け、強調して気付きを促します。
③ 子供同士の会話	子供同士で会話をさせますが、うまくいかないことが多いので、そういうものだと思って実施します。
④ 中間指導	子供から質問や意見を受け付け、分からない単語、言いたい表現等を全体で共有し、練習します。
⑤ 子供同士の会話	もう一度子供同士で会話をさせます。すると、きっと前回よりは上手になっているので、すかさずほめます。
⑥ 上記の繰り返し	上記の②③④⑤を、毎時間少しずつ変化を付けて繰り返します。
⑦ 振り返り	単元の最後には振り返りを行います。

小学校における指導の目安

5年生＝指導者の話を聞くことが中心

6年生＝ペアで伝え合うことが中心

3 Small Talk を指導する際のポイント

- (1) 身近な話題の中で、自分自身の考えや気持ちなどを伝え合わせましょう。
- (2) 教師も自分自身のことを英語で伝え、やり取りを楽しみましょう。
- (3) 対話を継続することができるような表現を段階的に使わせていきましょう。
- (4) 伝えたいことを伝えることができるよう、既習表現の使用を促しましょう。
- (5) 「活動→指導→活動」の過程で指導しましょう。
- (6) 指導の成果が出てくるのには時間がかかることを理解して指導しましょう。
- (7) 暗記などその場限りのパフォーマンスは求めないようにしましょう。

対話を継続させるための基本スキル

スキル	具体的表現
対話の開始	いきなり会話を始めずに、まずは挨拶からスタートします。 <input type="checkbox"/> Hello. How are you? <input checked="" type="checkbox"/> I'm good. How are you? <input type="checkbox"/> I'm fine.
繰り返し	相手の話した内容を繰り返します。 <input type="checkbox"/> I ate <i>sukiyaki</i> yesterday. <input checked="" type="checkbox"/> (You ate) <i>Sukiyaki!</i>
2文回答	質問に対しては、新情報を付け足して2文で答えます。 <input type="checkbox"/> Do you like basketball? <input checked="" type="checkbox"/> Yes, I do. <u>I like Aomori Wat's.</u>
相づち	話に相づちを入れ、会話の雰囲気をよくします。 <input type="checkbox"/> That's good. <input type="checkbox"/> That's great. <input type="checkbox"/> That's too bad. <input type="checkbox"/> Really? <input type="checkbox"/> I see. <input type="checkbox"/> It's fun. (interesting / nice)
確かめ	会話を聞き取れなかったら確かめます。 <input type="checkbox"/> Pardon? <input type="checkbox"/> Sorry? <input type="checkbox"/> Excuse me? <input type="checkbox"/> Once more, please.
つなぎ言葉	会話が沈黙しそうになったら間をつなぎます。 <input type="checkbox"/> Well <input type="checkbox"/> Um/Er/Uh <input type="checkbox"/> Let me see/Let's see
再質問	相手に質問をして会話を発展させます。 <input type="checkbox"/> What? <input type="checkbox"/> When? <input type="checkbox"/> Where? <input type="checkbox"/> Who? <input type="checkbox"/> How? <input type="checkbox"/> Why? <input type="checkbox"/> How long? <input type="checkbox"/> How many? <input type="checkbox"/> How much? <input type="checkbox"/> What time?
話題変え	話のネタが尽きたら話題を変えます。 <input type="checkbox"/> By the way,
対話の終了	会話の終わりに必ず締め言葉を述べましょう。 <input type="checkbox"/> Nice talking to you. <input checked="" type="checkbox"/> You, too.

【小学校】Small Talk 年間指導計画

第5学年

2時間に1回程度、帯活動で、あるテーマのもと、指導者のまとまった話を聞いたり、指導者と児童が英語でやり取りを行うことが中心。

5～6月					
時期	トピック	誕生日 【教科書との関連トピック】	好きなおやつ	好きな給食メニュー	好きな教科
発話例	自己紹介 【教科書との関連トピック】 Hi, I'm Jiro. J-i-r-o, Jiro. I like apples. I don't like oranges. What's your name? How do you spell your name? What do you like? How about colors? I like blue.	誕生日 【教科書との関連トピック】 A: When is your birthday? B: My birthday is January 1st. B: It's during oshogatsu. A: What do you want for your birthday? B: I want gloves. B: How about you?	好きなおやつ A: What snack do you like? B: I like chocolate. B: It's sweet. B: What snack do you like? A: I like potato chips. A: It's crispy.	好きな給食メニュー A: What school lunch do you like? B: I like curry and rice. B: It's nice. B: What school lunch do you like? A: I like stew. A: It's yummy.	好きな教科 A: What subject do you like? B: I like P.E. B: It's my favorite subject. B: What subject do you like? A: I like English. A: It's fun.
主な 言語材料	How do you spell~? What do you like? I like~.	When is~? What do you want for your birthday?	What~do you like? I like~. It's~.	What~do you like? I like~. It's~.	What~do you like? I like~. It's~.
使える 語彙	色に関する言葉 • white • red • yellow • green • pink • purple • brown • black • blue ※自分が好きなものを英語で言えるようにする。	月に関する言葉 • January • February • March • April • May • June • July • August • September • October • November • December ※自分が欲しいものを英語で言えるようにする。	味・食感に関する言葉 • sweet: 甘い • salty: しよっぱい • spicy: 辛い • sour: 酸っぱい • crispy: さくさく • crunchy: パリパリ • fluffy: ふわふわ • chewy: もちもち • soft: やわらか	給食メニューに関する言葉 • spaghetti: スパゲティ • fried noodle: 焼きそば • omelet: オムレツ ※日本の料理の名前はそのまま言わせてもよい。	教科に関する言葉 • social studies: 社会 • moral education: 道徳 • arts and crafts: 図工 • home economics: 家庭 • period for integrated studies: 総合

【小学校】Small Talk 年間指導計画 第5学年

2時間に1回程度、帯活動で、あるテーマのままとった話を聞いたり、指導者のままとった話を聞いたり、指導者と児童が英語でやり取りを行うことが中心。

7～9月					
時期	できること 【教科書との関連トピック】	身近な人の紹介 【教科書との関連トピック】	好きな季節	夏休みにやりたいこと	夏に食べたい物
発話例	A: This is Hana. A: She can sing well. A: But she can't play the guitar. A: Can you play the guitar? B: Yes, I can. B: I can play the guitar. B: I like music. It's a lot of fun.	A: Who is this? B: This is my friend, Hana. B: She can play tennis very well. B: She is kind. C: Who is that? A: He is my father, Taro. A: He is a soccer player. A: He can kick well. A: He is strong.	A: What season do you like? B: I like winter. B: I can ski in winter. B: What season do you like? A: I like spring. A: I can see beautiful flowers in spring.	A: What do you want to do in summer? B: I want to go to Hiroasaki. A: Why do you want to go to Hiroasaki? B: I want to see Neputa. B: It's exciting.	A: What food do you want to eat in summer? B: I want to eat ice cream. B: It's my favorite summer food. B: How about you? A: I want to eat shaved ice. A: It's delicious.
主な 言語材料	Can you～? Yes, I can. No, I can't.	Who is～? He is～. He can～. She is～. She can～.	What ～ do you like? I can～.	What do you want to ～? in～ Why do you want to ～? I want to～. I want to～.	What do you want to ～? in～ I want to～. How about you?
使える 言葉	動作に関する言葉 • speak • make • read • ride • eat • drink • study • dance	人に関する言葉 • cousin • boy / girl • uncle / aunt • brother / sister 性格、様子などに関する言葉 • friendly • funny • kind • smart • strong	季節に関する言葉 • spring • summer • fall • winter 天気、気候に関する言葉 • sunny • hot • warm • cold • snowy	動作に関する言葉 • listen • play • walk • dance • catch • swim • sing • cook • buy	食へ物に関する言葉 • melon • water melon • BBQ • pizza • grilled eel • soba • parfait • pudding • salad

【小学校】Small Talk 年間指導計画 第5学年

2時間に1回程度、帯活動で、あるテーマのもと、指導者のまとまった話を聞いたり、指導者と児童が英語でやり取りを行うことが中心。

時期		10～12月			
トピック	あなたの家はどこ 【教科書との関連トピック】	この値段はいくら 【教科書との関連トピック】	先生当てクイズ	学校行事	冬に飲みたい物
発話例	A: Can I go to your house? B: O.K. A: Where's your house? B: My house is in Asahi-cho. A: What is near your house? B: You can see Apple Park near my house. A: I see.	A: What would you like? B: I'd like pizza. B: I love pizza. A: How much is it? B: It's six hundred yen. B: What would you like? A: I'd like onigiri. A: It's delicious. A: I like it. B: How much is it? A: It's two hundred yen.	A: I'll give you three hints. A: He is tall. A: He likes yakiniku. A: He is good at tennis. A: Who is he? B: He is Mr. Saito. A: That's right.	A: What is your favorite school event? B: It's the drama festival. B: It is amazing. B: What is your favorite school event? A: It's sports day. A: It is exciting.	A: What do you want to drink in winter? B: I want to drink tea. B: It's very hot. B: How about you? A: I want to drink hot milk. A: I drink it every day.
主な 言語材料	Can I go to~? Where's~? I'd like~ How much is~? It's~	What would you like? I'd like~ How much is~? It's~	Who is~? He/she is good at~	What is your favorite~? How about you?	What do you want to drink? How about you?
使える 語彙	道案内や位置に関する言葉 • turn right/left • go up/down • block • corner • see • by • in • on • under	食べ物に関する言葉 • curry and rice • sandwich • pancake • pizza • hamburger • hot dog • steak • spaghetti • fried noodle	性格・特徴に関する言葉 • active • brave • cute • friendly • funny • gentle • kind • strong	学校行事に関する言葉 • the entrance ceremony • the field trip • the music festival • the school trip • the swimming meet • the volunteer day • the graduation ceremony	飲み物に関する言葉 • coffee • green tea • juice • soda pop • water • hot water • mineral water • hot chocolate • cola

【小学校】Small Talk 年間指導計画 第5学年

2時間に1回程度、帯活動で、あるテーマのもと、指導者のまとまった話を聞いたり、指導者と児童が英語でやり取りを行うことが中心。

1～3月				
時期				
トピック	【教科書との関連トピック】	【教科書との関連トピック】	正月のごちそう	お気に入りの場所
発話例	A: Please tell me about your favorite place. B: My favorite place is the sports park. B: I can enjoy playing basketball. B: I go to the sports park on Sunday.	A: Who is your hero? B: My hero is my father. B: He is a cook. B: He is good at cooking. B: He is very kind.	A: What did you eat on New Year's day? B: I ate sukiyaki. B: It was fantastic. B: How about you? A: I ate osechi. A: I ate kurikinton. A: I liked it very much.	A: Where is your favorite place? B: My favorite place is Mutsu Bay. A: Why do you like it? B: Because I can swim in Mutsu Bay. A: Do you like swimming? B: Yes, I do.
主な言語材料	Please tell me～. I can enjoy ～ing.	Who is your hero? He/she is good at ～.	What did you eat? on New Year's day I ate～.	Where is your favorite～? Why do you～? Because I～.
使える言葉	場所に関する言葉 • the amusement park • the library • the museum • the hospital • the bookstore • the restaurant • the super market • the stadium • the convenience store	性格・特徴に関する言葉 • active • brave • cute • friendly • funny • gentle • kind • strong	正月に食べる物に関する言葉 • 黒豆 : sweet black soybeans • 伊達巻 : sweet rolled omelet • 数の子 : herring roe • 雑煮 : traditional New Year's soup with mochi • 煮物 : simmered dishes • 海老 : shrimp • 鯛 : sea bream • 巻き昆布 : rolled kombu seaweed	動作に関する言葉 • listen • play • walk • dance • catch • swim • sing • cook • buy

【小学校】Small Talk 年間指導計画 第6学年

2時間に1回程度、帯活動で、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりすることが中心。

5～6月						
時期	トピック	【教科書との関連トピック】	季節の行事 【教科書との関連トピック】	一日の生活	好きな給食	好きなYouTubeチャンネル or TV番組
		<p>自己紹介 【教科書との関連トピック】</p> <p>I'm Hachinohe Hana. I'm from Towada. What animal do you like? I like cats. I can cook. I'm good at cooking. It's interesting. When is your birthday? My birthday is January 1st.</p>	<p>季節の行事 【教科書との関連トピック】</p> <p>We have cherry blossom viewing in spring. You can enjoy the flowers. They are beautiful. Hirosaki is a good place for cherry blossom viewing. Don't miss it.</p>	<p>一日の生活</p> <p>I'll tell you my daily life. I always get up at 7 a.m. I often play tennis at 3 p.m. I sometimes watch TV at 7 p.m. I usually go to bed at 11 p.m.</p>	<p>好きな給食</p> <p>A: Do you like school lunch? B: Yes, I do. A: What is your favorite school lunch? B: I like curry and rice. B: It's nice. B: What school lunch do you like? A: I like stew. A: It's yummy.</p>	<p>好きなYouTubeチャンネル or TV番組</p> <p>A: Do you watch YouTube or TV? B: I watch YouTube. A: What YouTube channel do you watch? B: I watch Zuzuru TV. B: It's fun.</p>
	主な 言語材料	<ul style="list-style-type: none"> What~do you like/have/want? I like/have/want~. 	<p>We have~ in~</p>	<p>always often usually sometimes at 時間</p>	<p>What is your favorite~? What~do you like? I like~. It's~.</p>	<p>What ~ do you watch? I watch~. It's~.</p>
	使える 語彙	<p>動物、スポーツ、食べ物、教科など に関する言葉を確認する。 ※活動を通して、自分が好きなものを英語で言えるようにする。</p>	<p>季節の行事に関する言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> New Year's Day Doll's Festival cherry blossom viewing Children's Day Star Festival fireworks festival Halloween Christmas New Year's Eve 	<p>一日の生活に関する言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> get up have breakfast brush my teeth go to school have lunch go home walk my dog do my homework have dinner wash the dishes take a bath go to bed 	<p>食べ物に関する言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> rice rice ball grilled fish bread sandwich pancake hot dog French fries soup steak omelet salad 	<p>感想・様子に関する言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> great bad amazing fantastic wonderful cool cute favorite interesting exciting famous popular

【小学校】Small Talk 年間指導計画 第6学年

2時間に1回程度、帯活動で、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりすることが中心。

7～9月						
時期	トピック	週末にしたこと 【教科書との関連トピック】	私の町 【教科書との関連トピック】	夏休みの思い出	昨日何食べた？	(なりきり) 私は誰でしょう？
発話例	<p>A: What did you do last weekend? B: I went camping. A: Where did you go? B: I went to Mt. Hakkoda. B: How about you? A: I went shopping. A: I bought a new pencil.</p>	<p>A: What place do you like in our town? B: I like Higashi Swimming Pool. B: We can enjoy swimming. B: I think it's fun. B: What place do you like? A: I like the castle park.</p>	<p>A: Long time no see. B: Long time no see. A: How was your summer vacation? B: It was nice. B: I went to Osaka. B: I went to USJ. B: I ate takoyaki. B: It was delicious. A: How was your summer vacation?</p>	<p>A: What was your dinner yesterday? B: I ate grilled fish. B: It was delicious. B: What was your dinner yesterday? A: I ate stew. A: My father made it. A: It was good.</p>	<p>Who am I? I live in America. I am good at baseball. I am a pitcher and batter. I am from Iwate. Who am I? That's right. I am Otani Shohei.</p>	
主な 言語材料	<p>What did you do last weekend? Where did you go? How about you? 遊びなどに関する言葉 • camping • dancing • fishing • hiking • shopping • reading • drawing • jogging • skateboarding • playing video games • seeing movies</p>	<p>What place do you like? We can enjoy~. 町にあるものに関する言葉 • park • library • museum • aquarium • stadium • zoo • amusement park • bookstore • castle • shrine • temple</p>	<p>Long time no see. How was~? 「したこと」に関する言葉 • ate • cleaned • climbed • had • made • played • sang • saw • went • did my homework • listened</p>	<p>What was~? I ate~ It was~ 食べ物に関する言葉 • curry and rice • sandwich • fried chicken • pizza • hamburger • hot dog • steak • spaghetti • fried noodle • noodles • salad</p>	<p>Who am I? 紹介したい人物の情報を英語で言えるようにする。</p>	
使える 語彙						

【小学校】Small Talk 年間指導計画 第6学年

2時間に1回程度、帯活動で、ペアで自分の考えや気持ち伝え合ったりすることが中心。

10～12月					
時期	トピック	発話例	主な言語材料	使える言葉	発話例
	行ってみたい国 【教科書との関連トピック】 A: What country do you want to go to? B: I want to go to Italy. B: Italy is my favorite country. A: Why? B: Because I like Italian food. B: I want to eat pizza in Italy.	小学校の思い出 【教科書との関連トピック】 A: What's your best memory in this school? B: It's the school trip. A: Why? B: Because I bought good souvenirs. B: I like them. B: What's your best memory?	青森のいいところ A: What do you like about Aomori? B: I like the food in Aomori. A: Why? B: Because Seafood in Aomori is really nice. A: For example? B: We can enjoy salmon and tuna.	私たちの町のいいところ A: What do you like about our town? B: I like the people in our town. A: Why? B: Because they are very kind. B: How about you?	サンタへの願い事 A: What do you want for Christmas? B: I want a new game. A: Why? B: Because my game is very old. B: I need a new game. A: What game do you want? B: I want FINAL FANTASY.
	What country do you want to go to? I want to～. Why? Because～	What's your best memory? Why? Because～	What do you like about～? Why? Because～	What do you like about～? Why? Because～	What do you want? Why? Because～?
	国や場所に関する言葉 <ul style="list-style-type: none"> • America • the U. K. • Australia • New Zealand • China • Korea • Taiwan • Germany • France • Brazil • Thailand 	学校行事に関する言葉 <ul style="list-style-type: none"> • the entrance ceremony • the field trip • the music festival • the school trip • the swimming meet • the volunteer day • the graduation ceremony • the chorus contest • the sports day • the summer vacation • the school festival 	感想・様子に関する言葉 <ul style="list-style-type: none"> • great • bad • amazing • fantastic • wonderful • cool • cute • favorite • interesting • exciting • famous • popular 	性格・特徴に関する言葉 <ul style="list-style-type: none"> • active • brave • cute • friendly • funny • gentle • kind • strong 	小学生がほしがりそうなものに関する言葉 <ul style="list-style-type: none"> • comic book • watch • computer • smartphone • tablet • bat • glove • racket • soccer shoes • mug • ticket

【小学校】Small Talk 年間指導計画 第6学年

2時間に1回程度、帯活動で、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりすることが中心。

1～3月						
時期	トピック	中学校生活 【教科書との関連トピック】	将来の夢 【教科書との関連トピック】	友だちへの感謝	春休みにやりたいこと	春を感じるもの
	<p>A: What do you want to do in junior high school? B: I want to join the English club. A: Why? B: Because I want to work in America. A: I think you can do it.</p>	<p>A: What is your dream? B: I want to be a professional soccer player. A: That's nice. Why? B: I'm good at soccer. B: I like soccer very much.</p>	<p>A: Thank you for always helping me. B: You're welcome. A: I respect you. B: Why? A: Because you are kind. You always study hard. B: Thank you.</p>	<p>A: What do you want to do for spring vacation? B: I want to read many books. A: That's good. A: What kind of books do you want to read? B: I want to read manga. I like Spy Family. A: Me, too.</p>	<p>A: What do you think about spring? B: I think tsukushi. B: How about you? A: I think cherry blossoms. A: They are beautiful.</p>	
主な 言語材料	<p>What do you want to do? I want to～. Why? Because～.</p>	<p>What is your dream? I want to be a～. Why? I'm good at～</p>	<p>Thank you for～ Why? Because～.</p>	<p>What do you want to do? I want to～. Why? Because～.</p>	<p>What do you think about～? How about～?</p>	
使える 言葉	<p>運動や文化活動に関する言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> • art club • brass band • chorus club • track and field team • soccer team • gymnastics team • school trip • drama festival • field trip • music festival 	<p>職業に関する言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> • baker • police officer • doctor • cook • fire fighter • florist • nurse • shopkeeper • reporter • carpenter 	<p>性格・特徴に関する言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> • active • brave • cute • friendly • funny • gentle • kind • strong 	<p>動作に関する言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> • make • talk • watch • read • help • enjoy • visit • ride • study • join 	<p>春に関する言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> • flower • cherry blossom • seeding • sunshine • raindrop • fresh green • bird • rainbow • wind • hanami 	

【中学校】Small Talk 年間指導計画 第1学年

同じテーマで少なくとも2時間は繰り返し、相手の表現を参考にしたり自分の表現を構成し直す時間を取ったりしながら、何度も繰り返す。

4～6月					
時期	思い出	したいこと／予定	人紹介	日本の文化／地域	好きなもの・こと
トピック	「大型連休の思い出」	「頑張りたい教科」	「私の家族」	「お花見」	「好きな食べ物」 「好きな動物」
発話例	A: Did you enjoy Golden Week? B: Yes, I did. I went to Tokyo. B: What did you do there? A: I went shopping.	A: Which subject do you want to study? B: I want to study English hard. A: Oh, English! Why? B: Because I want to speak English well. A: I see.	A: Please tell me about your family. B: OK. This is my father, Taro. He is a baseball fan. He likes the Rakuten Eagles.	A: Did you go to hanami this year? B: Yes, I did. I went to Hiroasaki. A: Nice! Why did you choose Hiroasaki? B: Because the Hiroasaki cherry trees are very famous.	A: What food do you like? B: I like ramen. A: Oh, ramen. What kind of ramen do you like? B: I like miso ramen. Salt ramen is also nice.
主な言語材料	<ul style="list-style-type: none"> • Did you enjoy ~? • What did you do during ~? • I went to ~. • I enjoyed ~. • I bought ~. • I saw ~. • I ate ~. 	<ul style="list-style-type: none"> • Which subject do you want to study hard? • I want to study ~hard. • Are you good at ~? • Is it exciting for you? 	<ul style="list-style-type: none"> • Please tell me about your family. • This is ~. • He/She is ~. • He/She likes ~. 	<ul style="list-style-type: none"> • Did you go to hanami? • Where did you go? 	<ul style="list-style-type: none"> • What ~ do you like? • I like ~. • What kind of ~
使える語彙	<ul style="list-style-type: none"> • anime • manga • movie • music • mountain • river • lake • beach • park • garden • theater • train • bus • car • airplane • supermarket • convenience store • department store • baseball • soccer • tennis 	<ul style="list-style-type: none"> • study • learn • read • watch • social studies • Japanese • moral education • home economics • period for integrated studies • interesting • hard • difficult • easy • unique 	<ul style="list-style-type: none"> • father • mother • brother • grandfather • grandmother • friendly • outgoing • patient • honest • hardworking • lazy • happy • sad • angry • tired • hungry • big • small • new • old • easy • difficult • fast • slow 	<ul style="list-style-type: none"> • enjoy • drink • eat • relax • take a picture • draw • hanami/cherry blossom viewing • flower • tree • branch • bloom • picnic • party • drink • bento • beautiful • amazing • pink • white 	<ul style="list-style-type: none"> • 食べ物に関する単語全般 • 動物に関する単語全般 • delicious • yummy • sweet • sour • spicy • juicy • fresh • exciting • relaxing • amazing • wonderful • interesting • clean • kind • funny • cute

【中学校】Small Talk 年間指導計画 第1学年

同じテーマで少なくとも2時間は繰り返し返す。1時間の授業の中でも、相手の表現を参考にしたり自分の表現を構成し直す時間を取ったりしながら、何度も繰り返す。

7～9月			
時期	思い出	～したいこと／予定	人紹介
トピック	思い出 「週末の出来事」 「夏休みの思い出」	～したいこと／予定 「夏に食べたいもの」 「挑戦したいスポーツ」	人紹介 「好きな歌手」 「好きなスポーツ選手」
発話例	<p>A: What did you do last weekend? B: I went to the sea. A: What did you do there? B: I enjoyed swimming, and I ate fresh sashimi.</p>	<p>A: What food do you want to eat in summer? B: I want to eat ice cream. A: What ice cream flavor do you like? B: I like chocolate mint. It's perfect!</p>	<p>A: Who is your favorite singer? B: My favorite singer is Aimyon. She is from Hyogo. Her songs are excellent. I listen to her songs every day.</p>
主な 言語材料	<p>• What did you do last weekend? • Did you enjoy ~? • I went to ~. • I enjoyed ~. • I saw ~. • I ate ~. • there</p>	<p>• What food do you want to eat in summer? • What ice cream flavor do you like? • What sport do you want to try? • Why?</p>	<p>• What ~ do you like? • I like ~. • Why do you like ~? • Because ~</p>
使える 語彙	<p>動 • saw • went • watched • read • had 形 • exciting • interesting • busy • lazy 名 • weekend • TV show • book • test • drink • restaurant</p>	<p>動 • eat • drink • order • make • buy • sell • cut • blend 形 • hot • cold • delicious • sweet • sour 名 • ice cream • shaved ice • soda • juice • salad • fruit • yogurt</p>	<p>動 • follow • cheer • copy 形 • famous • popular • amazing • handsome 名 • athlete • player • star • champion • hero/heroine • idol • fan • team</p>
		<p>• share • taste • play • try • learn • win • lose • score • salty • juicy • fresh • frozen • sport • goal • team • rule • player</p>	<p>• respect • idolize • praise • beautiful • cute • cool • score • record • medal • trophy • singer • artist • concert • voice</p>
			<p>•教科と季節に関する言葉全般</p> <p>動 • study • learn • teach 形 • interesting • boring • difficult • run 名 • subject • class • lesson • teacher • student • test • homework • grade • season • weather • temperature</p>

【中学校】Small Talk 年間指導計画 第1学年

同じテーマで少なくとも2時間は繰り返し、1時間の授業の中でも、相手の表現を参考にしたり自分の表現を構成し直す時間を取ったりしながら、何度も繰り返す。

10～12月				
時期	思い出	～したいこと／予定	人紹介	好きなもの・こと
トピック	「文化祭の思い出」 「校外学習の思い出」	「クリスマスにほしいもの」 「冬休みにしたいこと」	「私のヒーロー／ヒロイン」 「好きなアニメキャラクター」	「秋の食べ物」 「秋にすること」
発話例	A: How was your school festival this year? B: I enjoyed the school festival. I enjoyed watching drama. A: What song did you sing? B: I sang "Believe". It is a good song.	A: What do you want for Christmas? B: I want a video game for Christmas. A: What game do you want? B: I want a Pokémon game. A: Why (do you want it)? B: Because Pokémon are cute.	A: Who is your hero? B: Doraemon is my hero. He is always kind. A: Do you have any Doraemon goods? B: Yes, I do. I have many. A: What Doraemon goods do you have? B: I collect Doraemon T-shirts. They are very cute.	A: What do you do in autumn? B: I eat roasted sweet potatoes in autumn every year. A: Are they sweet? B: Yes, they are. They taste amazing.
主な 言語材料	<ul style="list-style-type: none"> How was your～? I went to～. I enjoyed～. I learned～. What is your a nice memory of from～? My best memory is～. 	<ul style="list-style-type: none"> What do you want for Christmas? Why (do you want it)? What do you want to do during winter vacation? 	<ul style="list-style-type: none"> Who is your hero/heroine? What is your favorite anime character? My favorite anime character is～. 	<ul style="list-style-type: none"> What's your favorite autumn food? What do you do in autumn? Why do you do～? Because～
使える 言葉	動 <ul style="list-style-type: none"> practice enjoy perform watch cheer help prepare fun exciting amazing awesome beautiful school festival field trip memory experience event activity drink stage dance 形 <ul style="list-style-type: none"> delicious popular busy tired happy 名 <ul style="list-style-type: none"> decorate make sell buy eat talk laugh delicious popular busy tired happy school festival field trip memory experience event activity drink stage dance 	動 <ul style="list-style-type: none"> give receive buy wrap make wish choose Christmas special wonderful amazing beautiful present gift card letter box ribbon 形 <ul style="list-style-type: none"> surprise exchange visit travel see relax enjoy cute cool expensive cheap big/small wish list toy book game 名 <ul style="list-style-type: none"> follow cosplay draw collect cool cute funny strong brave character anime manga genre voice role fan 	動 <ul style="list-style-type: none"> respect thank support kind legend icon leader person singer athlete actor writer parent 形 <ul style="list-style-type: none"> follow cosplay draw collect cool cute funny strong brave character anime manga genre voice role fan 	<ul style="list-style-type: none"> eat cook bake boil roast steam fry grill delicious sweet sour salty spicy fruit/vegetable/mushroom/nut autumn/fall/activity/event food dish nut cuisine flavor fruit vegetable event

【中学校】Small Talk 年間指導計画 第1学年

同じテーマで少なくとも2時間は繰り返す。1時間の授業の中でも、相手の表現を参考にしたり自分の表現を構成し直す時間を取ったりしながら、何度も繰り返す。

1～3月					
時期	思い出	～したいこと／予定	人の紹介	日本の文化／地域	好きなもの・こと
トピック	「冬休みの思い出」 「本年度の思い出」	「職場体験でいたいこと」 「将来なりたい職業」	「クラスの友達」 「あこがれの先輩」	「ひな祭り」 「子どもの日」	「自由時間の過ごし方」 「好きな学校行事」
発話例	A: What did you do in during winter vacation? B: I practiced hard at singing. A: Why? B: Because I am a member of chorus club, but I am not good at singing. Now, I can sing well.	A: What do you want to do at a supermarket? B: I want to learn how to display. A: Why did you choose a supermarket? B: Because my mother works at a supermarket.	A: Please tell me about your classmate. B: Sure. This is my classmate, Keiko. A: What does Keiko do? B: Keiko is a member of the brass band. She likes Mozart. She plays the piano.	A: What will you explain about? B: I will explain about Hinamatsuri. It is called Doll's Day or Girls' Day in English. Girls eat special food like hina-arare on that day. It is very delicious.	A: What do you do in your free time? B: I read books (in my free time). Reading books is my hobby. A: Please tell me about some interesting books. B: Of course.
主な 言語材料	<ul style="list-style-type: none"> • What did you do in winter? • I went to/enjoyed/ate/saw～. • What do you want to do next year? • I want to study/practice～. • Because ～. 	<ul style="list-style-type: none"> • What do you want to do at～? • What do you want to be in the future? • I want to be～. • What do you want to do at a supermarket? 	<ul style="list-style-type: none"> • Please tell me about your classmate. • This is my classmate,～. • A senior I respect is～. • He/She is a member of ～. • He/She is～. 	<ul style="list-style-type: none"> • I'll talk about Doll's day. • We eat～on Children's day. • Children receive～from～. 	<ul style="list-style-type: none"> • What do you do in your free time? • What is your favorite school event? • Why do you like ～? • What is your favorite school event?
使える 語彙	<ul style="list-style-type: none"> 動 • ski • skate • snowboard • remember • challenge 形 • exciting • relaxing • snowy 名 • experience • place • activity • family • friend • snow 	<ul style="list-style-type: none"> 動 • want • hope • wish • dream • study • work 形 • stressful • easy/hard 名 • goal • dream • wish • plan ※how to～: ～の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> 動 • talk • study • help • share • laugh • ask 形 • kind • friendly • smart • cute • cool 名 • friend • classmate • buddy 	<ul style="list-style-type: none"> 動 • celebrate • display • wish • pray • enjoy 形 • sweet • traditional • colorful 名 • festival • peach • doll • children ひな祭り: Doll's Festival 子供の日: Children's day 	<ul style="list-style-type: none"> 動 • play • watch • read • listen • perform • practice 形 • free • relaxing • lazy 名 • hour • hobby • activity • game

【中学校】Small Talk 年間指導計画 第2学年

「即興性」を意識しながら、目標とされる発語数やターン数、時間を設定し、意味のある「やり取り」を継続できるようにする。

4～6月						
時期	思い出	～したいこと／予定	人紹介	日本の文化／地域	好きなもの・こと	
トピック	「春休みの出来事」 「GWの思い出」	「サンドイッチに何入れる」 「週末にしたいこと」	「私の好きな偉人・有名人」 「私の家族」	「地域のおいしいお店」 「町のよいところ」	「誕生日の食事」 「好きなお祭り」	
発話例	A: Did you enjoy spring vacation? B: Yes, I did. A: Please tell me more. B: (OK.) I went to Sendai and I watched a baseball game. It was really fun.	A: What do you want to put in your sandwich? B I want to put ham, lettuce, tomatoes and cucumbers in my sandwich. It's healthy and delicious.	A: Who is your favorite celebrity? B: Do you know Kerry? She is a famous writer. Her stories are very interesting.	A: What is the best restaurant in our town? B: I think A Restaurant is the best. Their apple pies are very sweet and delicious. They use apples from Aomori.	A: What do you want to eat for your birthday? B: I want to eat sushi. A: Oh, what sushi do you like? B: I like salmon. Salmon is very tasty.	
主な発話材料	<ul style="list-style-type: none"> • Did you enjoy spring vacation? • Can you tell me about your golden week? • Where did you go? • What did you enjoy? • How was it? • Please tell me more. 	<ul style="list-style-type: none"> • What do you want to put in your sandwich? • I put ~in~. • It's healthy and delicious. • What do you want to do this weekend? 	<ul style="list-style-type: none"> • Tell me about your favorite celebrity. • Tell me about your family. • I have 5 people in my family. 	<ul style="list-style-type: none"> • What is the best restaurant in our town? • What is good about our town? • I think ~is good. 	<ul style="list-style-type: none"> • What do you want to eat for your birthday? • What festival do you like? • I like ~. • What sushi do you like? • Why (do you like it)? • Because it's ~. 	
使える語彙	<ul style="list-style-type: none"> • enjoy • travel • visit • relax • play • try • taste 形 • fun • exciting • interesting • busy 名 • trip • memory • money • food • drink • music 	<ul style="list-style-type: none"> • make • prepare • order • choose • enjoy • taste 形 • delicious • tasty • spicy • soft 名 • sandwich • bread • cheese • onion • lettuce • tomato 	<ul style="list-style-type: none"> • care • support • respect • visit 形 • respectful • interesting • wise • famous • innovative 名 • family/parents/grandparents • cousin/aunt/uncle/pioneer • artist/musician/writer • family • parents • grandparents • cousin • aunt 有名人:celebrity famous person 	<ul style="list-style-type: none"> • love • respect • cherish • visit • walk 形 • beautiful • scenic • historic • cultural • friendly 名 • city • town • village • street • park • museum • menu 	<ul style="list-style-type: none"> • run • hike • swim • climb • safe • clean • green • welcoming • gallery • restaurant • cafe • bar • diner • bakery 	<ul style="list-style-type: none"> • celebrate • cook • eat • enjoy • try 形 • delicious • colorful • memorable • tasty • joyful 名 • birthday • snack • cake • restaurant • dessert • fireworks • dish • favorite food • meal • music • recipe • festival

【中学校】Small Talk 年間指導計画 第2学年

「即興性」を意識しながら、目標とする発語数やターン数、時間を設定し、意味のある「やり取り」を継続できるようにする。

7～9月					
時期	思い出	～したいこと／予定	日本の文化／地域	好きなもの・こと	
トピック	「宿泊学習の思い出」 「夏休みの思い出」	「夏休みの予定」 「観戦したいスポーツ」	「青森県のよい点」 「私の町のよい点」	「大好きな夏の食べ物」 「夏にすること」	
発話例	A: How was your overnight trip? B: I enjoyed it a lot! A: Please tell me more. B: (OK.) We made curry and rice. It was very tasty.	A: Tell me about your summer vacation plans. B: I'm going to go swimming at the beach and I'm going to go camping. How about you? A: Can you tell me about your summer vacation plans? B: What sport do you want to watch? A: I'm going to ~. B: I will ~.	A: What are the good points about Aomori? B: There are many good points. The food is one of them. For example, Aomori apples, scallops, and garlic are amazing.	A: What is your favorite summer food? B: I like BBQ barbecue. A: Tell me more. B: My family also likes BBQ barbecue. We often eat BBQ barbecue outside.	
主な言語材料	<ul style="list-style-type: none"> • How was your overnight trip? • How was your summer vacation? • Did you enjoy ~? • Where did you go? • What did you enjoy? • I went to ~. • I enjoyed ~. • How was it? • It was ~. 	<ul style="list-style-type: none"> • Can you tell me about your summer vacation plans? • What sport do you want to watch? • I'm going to ~. • I will ~. 	<ul style="list-style-type: none"> • What are the good points about Aomori? • What are the good points about our town? • For example, • one of them 	<ul style="list-style-type: none"> • What is your favorite summer food? • What do you like to do in summer? • I like to ~. • Why (do you like it)? • Because ~. 	
使える語彙	<ul style="list-style-type: none"> 動 • learn • experience • share • plan • cook • eat • sleep • create 形 • exciting • cultural • memorable • scenic • comfortable 名 • overnight trip/camp • program • activity • experience • nature 	<ul style="list-style-type: none"> 動 • travel • visit • relax • play • try 形 • exciting • relaxing • interesting • thrilling • professional 名 • vacation • experience • memory • culture • food • drink • movie 	<ul style="list-style-type: none"> 動 • respect • cherish • celebrate • visit 形 • scenic • historic • cultural • friendly • welcoming 名 • scallop • street • museum • gallery • market 	<ul style="list-style-type: none"> 動 • learn • bike • swim • camp 形 • safe • clean • green • sustainable • convenient 名 • theater • landmark • monument • sports event • university 	<ul style="list-style-type: none"> 動 • grill • barbecue • roast • bake • relax 形 • juicy • spicy • sour • delicious • sunny • hot 名 • corn • tomato • cucumber • beach • pool • waterfall

【中学校】Small Talk 年間指導計画 第2学年

「即興性」を意識しながら、目標とする発語数やターン数、時間を設定し、意味のある「やり取り」を継続できるようにする。

10～12月					
時期	思い出	～したいこと／予定	日本の文化／地域	社会的なこと	
トピック	「週末の出来事」 「秋の思い出」	「会いたい有名人」 「冬休みの予定」	「学校行事」 「秋の味覚」	「持続可能な社会」 「職場体験学習」	
発話例	A: Can you tell me about your weekend? B: I visited my friend's house and I played video games with him. A: What video games did you play?	A: Do you want to meet famous people? B: Yes, I do. A: Who do you want to meet? B: I want to meet Ourin-chan. A: Why do you want to meet her? B: Because I like her personality. And she is very iconic in Aomori. I respect her.	A: What is your favorite school event? B: My favorite event is the school festival. A: Please tell me more about it. B: I saw a the brass band's performance at the school festival. It was exciting.	A: What is important for a sustainable society? B: We should practice the 3Rs. The 3Rs are Reduce, Reuse and Recycle. A: What else should we do? B: It is important for us to enjoy doing the 3Rs.	
主な言語材料	<ul style="list-style-type: none"> • Can you tell me about your weekend? • What did you do this fall? • Please tell me about your memories this autumn. • I went to ～. • I enjoyed ～. 	<ul style="list-style-type: none"> • Do you want to meet famous people? • Which famous person do you want to meet? • I respect him/her. • What will you do during winter vacation? 	<ul style="list-style-type: none"> • What is your favorite school event? • Please tell me more about it. • What is your favorite food in the fall? 	<ul style="list-style-type: none"> • What is important for a sustainable society? • It is important for ～to～ • Will you tell me about your work place experience? 	
使える語彙	<ul style="list-style-type: none"> • enjoy • remember • meet • share • chat • hike 形 • beautiful • exciting • memorable • colorful • chilly • festive 名 • autumn memories • fall • leisure • scenery • memory • event 	<ul style="list-style-type: none"> • meet • chat • follow • invite • dream • discuss • interview 形 • famous • influential • popular • iconic 名 • celebrity • idol • influencer • artist 	<ul style="list-style-type: none"> • support • record • imagine • interact • inspire • respect • charming • motivating • creative • musician • athlete • goal • dream 	<ul style="list-style-type: none"> • participate • plan • prepare • perform • harvest 形 • exciting • traditional • educational • cultural • creative • collaborative 名 • school event • autumn food • ceremony • event • performance • play • presentation • pie 	<ul style="list-style-type: none"> • recycle • renew • reduce • reuse • learn • observe 形 • sustainable • green • renewable • professional 名 • work experience program • sustainable society • environment/sustainability • recycling/conservation • work • environment • experience • sustainability • program • sustainable • society

【中学校】Small Talk 年間指導計画 第2学年

「即興性」を意識しながら、目標とされる発語数やターン数、時間を設定し、意味のある「やり取り」を継続できるようにする。

1～3月					
時期	思い出	～したいこと／予定	人紹介	好きなもの・こと	社会的なこと
トピック	「冬休みの思い出」 「1年間の思い出」	「飼いたいペット」 「修学旅行の予定」	「あこがれの人物」 「クラス友達の友達」	「好きなスポーツ選手」 「冬休みにする好きなこと」 「好きな教科」	「勉強は学校の家」 「制服or私服」
発話例	<p>A: What did you do in winter? B: I went to my cousin's house. He lives near my house. He likes karuta. So we enjoyed karuta together.</p>	<p>A: Do you have any pets? B: No, I don't. A: Do you want a pet? B: Yes, I do. A: Please tell me more about it. B: I want a dog and I want to walk it every day.</p>	<p>A: Who is your role model? B: My role model is Naoto. I respect him because he is always kind to everyone.</p>	<p>A: Who is your favorite sports athlete? B: I like Otani because he is a great player. And he has leadership. I respect him.</p>	<p>A: Which do you like better, studying at school or at home? And why? B: I like studying at school better because my friend helps me with my homework.</p>
主な発話材料	<ul style="list-style-type: none"> • What did you do during winter vacation? • I went to ~. • I enjoyed ~. • Please tell me what happened this year? • What is your best memory this year? 	<ul style="list-style-type: none"> • Do you have any pets? • What kind of pet do you want to have? • What's your pet's name? • I will visit ~. • I want to go to ~. • Please tell me more. • What will you do on your school trip? 	<ul style="list-style-type: none"> • Who is your role model? • I'm going to introduce my classmate. • I think that ~. • I want to be ~like ~. 	<ul style="list-style-type: none"> • Who is your favorite sports athlete? • What do you like to do in winter? • What subject do you like? • Why do you like it? • Because ~. 	<ul style="list-style-type: none"> • Which do you like better, A or B? • I like A better than B. • Why do you think so? • Because ~.
使える語彙	<ul style="list-style-type: none"> • travel • ski • relax • enjoy • visit • memorable • relaxing • snow • family • friend • music • teacher • subject • experience • learn • grow • develop • study • challenging • interesting • class • tradition • lesson • project • performance 	<ul style="list-style-type: none"> • want • visit • choose • plan • exciting • amazing • interesting • fun • charming/colorful • place • trip • pet • animal • fish • dream • wish • explore • cool • wonderful • fantastic • colorful • rabbit • zoo • nature • wildlife 	<ul style="list-style-type: none"> • talk • play • help • friendly • funny • helpful • supportive • influential • role model • people I admire • friend • classmate • 憧れの人物; someone I admire • お手本とする人物: role model • share • understand • support • reliable • loyal • talented • respected • buddy • I admire • hero/heroine • leader 	<ul style="list-style-type: none"> • Who is your favorite sports athlete? • What do you like to do in winter? • What subject do you like? • Why do you like it? • Because ~. 	<ul style="list-style-type: none"> • wear • choose • express • change • formal • casual • fashionable • personal • uniform • jacket • shirt • tie • skirt • design • focus • concentrate • review • unique • trendy • stylish • pants • blouse • textbook • information • test

【中学生用】 トリオ・ディスカッションの進め方



1 トリオ・ディスカッションの主な目的

- (1) ディスカッション表現への慣れ親しみ
- (2) 既習表現の定着
- (3) 「やり取り」「即興性」を意識した言語活動の継続
- (4) 技能統合を意識した言語活動の継続

2 注意事項

- (1) 中学校2年生後半から、帯活動として定期的にとリオ・ディスカッションに取り組みます。
- (2) 時間配分に気を付けながら、全員がバランスよく話すようにします。
- (3) 自分の考えを、相手の意見と関連付けて話すようにします。

3 ディスカッション・パートの進め方

- (1) 3人グループを決定
- (2) お題の発表
 - ・お題をワークシートに記入します。
例 Which do you like better, to eat at a restaurant or at home?
- (3) 3分間トリオ・ディスカッション
 - ・トリオ・ディスカッションはトリオ・ディスカッションシートを用いて行います。
 - ・ディスカッションは立って行います。
 - ・ディスカッション終了後、使用したフレーズに☑を入れます。
- (4) 得点計算
 - ・個人の記録とチームの記録を出し、成果を可視化します。

4 ライティング・パートの進め方

- (5) 3分間ライティング
 - ・お題はディスカッションと一緒にです。
 - ・他者が話した内容や表現を使ってもOKです。
 - ・正確さよりも量を優先します。
- (6) 語数計算
 - ・3人の平均語数を出します。
- (7) グループで回覧して読み合い
- (8) 英作文のモデルを全体共有
 - ・(必要なら) 教科書、翻訳アプリ、AI等でモデル英文を確認します。

毎回、ディスカッションとライティングの両方をやらなければいけないということではありません。授業の進度を考えながらバランスよく実施してください。



トリオ・ディスカッション お題一覧（例）

- 1 Which is your favorite season? Why?
- 2 Many students go to high school. Why?
- 3 Do you think students should wear school uniforms?
- 4 Should we stop eating unhealthy snacks?
- 5 Should we stop playing video games or online games?
- 6 Do we need a day without smartphones?
- 7 Why do people work? Is it only for money?
- 8 Why are Japanese manga (or anime) so popular around the world?
- 9 Which do you like better, to eat at a restaurant or at home?
- 10 Which do you like better, face-to-face classes or online classes?
- 11 What is a good friend?
- 12 What kind of seniors are good seniors?
- 13 What skill is the most important in society?
- 14 Which is better, to study alone or with others?
- 15 Which is better, to travel alone or with others?
- 16 Is it important for students to learn English? Why or why not?
- 17 If you were a school principal, what would you want to change in your school?
- 18 If you were the prime minister of Japan, what would you want to change about Japan?

ここに書かれたお題を参考に、生徒たちにお題を決めさせると、ディスカッションはさらに盛り上がります。テーマは、教科書と「関係あるお題」と「関係ないお題」をうまく使い分けましょう。



ICTの活用で授業が変わる！

ICTの授業における活用は学習指導要領においても記載されており、本県においても積極的な活用とその成果が報告されています。本章では明日の授業から皆さんの教室で取り組むことができる事例を紹介し、先生方の授業に役立てることを目的として紹介します。

1 学習指導要領における記載

○小学校学習指導要領（平成29年告示）外国語活動・外国語

児童が身に付けるべき資質・能力や児童の実態、教材の内容などに応じて、視覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用し、**児童の興味・関心をより高め、指導の効率化や言語活動の更なる充実を図る**ようにすること。

○小学校学習指導要領（平成29年告示）外国語活動・外国語

生徒が身に付けるべき資質・能力や生徒の実態、教材の内容などに応じて、視覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用し、**生徒の興味・関心をより高め、指導の効率化や言語活動の更なる充実を図る**ようにすること。

2 生徒の興味・関心を高め指導の効率化を図る ICTの活用（小・中学校で活用可）

Q：学習指導要領が変わり、単語数が大幅に増えた。しかし、授業中において単語練習に時間をたくさん使えない。どうしよう・・・。

A：Quizletの活用で子供たちが主体的に単語学習に取り組むようになりました。



Quizletとは？インターネットでフラッシュカードを作成できる無料アプリです。ChromebookでもiPadでも使えるものです。

～使い方～

- ①インターネットでQuizletを検索。新規登録を行う。
- ②学習セットを選択して、単語とその意味を入力する。



- ③出来上がったシートはGoogle Classroomに投稿することができる。



※授業が始まる前の休み時間、昼休み、自宅においても取り組む生徒が増えました。

Q：授業の始めに子供たちが興味をもって既習事項を振り返る ICT の活用はないか。

A：Kahoot！は簡単にクイズが作れる優れたものです。一人一台端末を使って全員が参加できます。



Kahoot とは？インターネットを通じて選択ゲームができる無料ツールです。

ChromebookでもiPadでも使えるものです。

★ALTに頼んでクイズをつくってもらおうとALTがセンターでできる活動にもなります。

～使い方～

- ①インターネットでkahoot! log in create で検索し、登録を行う。
- ②作成ボタンを押して問題を作成する。



- ③問題作成完了後、生徒児童には、ネットの検索画面で Kahoot!を入力させる。
- ④検索する一番上に Kahoot!をクリックすると、紫色の画面で、「ゲーム PIN」が表示される。
→使用するゲーム PIN を児童生徒に伝え、入力させる。（※ゲーム PIN は毎回異なる。）
- ⑤「ニックネーム」が表示されるので、下の名前を入力させる。
- ⑥教師の端末には、児童生徒が入力した「ニックネーム」とアイコンが表示されるので、全員が入ったことを確認して始める。



既習事項の復習として、ほぼ毎回 Kahoot!を
帯活動で取り入れています。全員一斉に参加で
き、問題は 1 人 1 台端末に出題されます。問題
毎にランキングが出るので、ゲーム感覚で取り組
むことができ、生徒たちは毎回とても意欲的に取
り組んでいます。私も問題ごとに一喜一憂する生
徒の反応を見て楽しんでいます。

(佃中：工藤教諭)



Q : 教科書の本文以外にも既習の単語を使ったリーディング教材が欲しい。簡単に作成できないだろうか・・・。

A : Chat GPT等生成AIを活用することで簡単な教材をつくることができます。

例えば Chat GPT に単元で学んだ単語、文法を学ばせたり、扱った英文を学ばせるなどすることで長文を作成することができます。

You
次の英文のあとに来るストーリーを考えなさい

ChatGPT
もちろんです。英文を教えてくださいませんか？

You
There are ramps in stations and stores. They are for wheelchair users. The users can go up and down the ramps. These ramps are also useful to people with baby strollers or heavy suitcases. It is hard to go up and down stairs with such things. The ramps make many people happy.

ChatGPT
Certainly! Here's a continuation for the given text:



教科書の本文を入れる。

One day, as Emily wheeled herself down the ramp at the bustling train station, she noticed a young mother struggling with a bulky stroller near the stairs. Offering a warm smile, Emily approached and gestured towards the convenient ramp. The mother gratefully accepted the suggestion and easily maneuvered the stroller down the incline.

Witnessing this small act of kindness, a fellow commuter named James was inspired. He decided to organize a community initiative to promote awareness about the importance of accessibility in public spaces. Together with a group of volunteers, they started a campaign to encourage more businesses and public places to install ramps.

Their efforts gained momentum, and soon, local businesses and public facilities embraced the idea of inclusivity. The town became more accessible for everyone, fostering a sense of unity and understanding. The ramps not only facilitated smooth mobility for wheelchair users but also transformed the community into a place where people actively looked out for one another.

As the campaign expanded beyond the town, inspiring other communities to adopt similar practices, the impact reached unexpected heights. In the end, it wasn't just about ramps; it was about creating a world where everyone, regardless of their abilities, could navigate public spaces with ease and dignity.



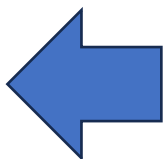
ここから、単語の難易度や文字数を指定していく。

High school student Sarah noticed the lack of ramps in the local park. With friends, she organized fundraisers, gaining community support. Approaching the town council, they secured approval for the ramp installation. Construction began, and the town united to make the park inclusive. The grand opening celebrated their success, inspiring neighboring towns. Sarah's initiative sparked a regional movement, emphasizing the importance of accessibility in public spaces, creating a more inclusive environment for all.

ChatGPT

ChatGPT

・英検 3 級程度の難易度
・文字数は 200 字程度
・簡単な単語を使用
など、AI に情報を学ばせる。そのことで AI は考え文をつくる。



この後、英文に関する質問を考えるように指示を出すと、英問ができる。こちら側が、いかに情報を AI に学ばせるかが鍵となります。使う価値は十分にある。





Q：パフォーマンス課題を出したのだが、一人一人マンツーマンで見るのは難しい。何かいい方法はないか？

A：このような時こそ、一人一台端末の良さを生かしましょう。それは録画機能です。インターネット上には録画して、それを共有できるアプリなどがありますが、ここではFlipを紹介します。

～使い方～

- ①ブラウザでFlipを検索して、sign upする。それぞれの端末のアカウントで個人アカウントをつくること
ができる。
- ②児童生徒につくらせる前に、先生は児童生徒のアカウントをエクセルなどにまとめておくと後から役に立
つ。
- ③先生は課題を映像を使って児童生徒へ提示することができる。

Which do you like, udon or soba?

裕一鹿 20 1082 22 94時間のディスカッション

Please make a presentation using a question "Which do you like, A or B?
and tell me why you choose it."

録画

- ④児童生徒は、先生の課題に対して、録画をして提出する。
- ⑤その際、プレゼンテーションソフトで作ったスライドを声とともに録画することもできる。

発表に関するクラスメイトからのコメントも参考にできる。

- ⑥上記は中学校1年生が作成して投稿したものです。プレゼンテーションソフトを使い、それを見ながら自分で英語で発表する。特に、自分が納得いくまで練習して、投稿できるのが録画の良さです。
- ⑦中間評価でクラスメイトが投稿したものを見て、よいものをさらに取り入れて投稿することもできる。
- ⑧私たち教員のマネジメント次第でできます。時間も節約できて、子供たちも多くの学びがある。これがデジタルの良さです。

デジタル教科書を活用しよう

「学習指導要領や中央教育審議会答申において、資質・能力の育成に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が求められています。また、ICTを適切に活用した学習活動は、学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に資するものであり、各教科等においても指導内容に応じて ICT を適切に活用することが求められています。デジタル教科書等の ICT 機器を最大限に活用しながら、上記の視点での授業改善を行うことで、資質・能力の育成へと繋がることが期待されています。

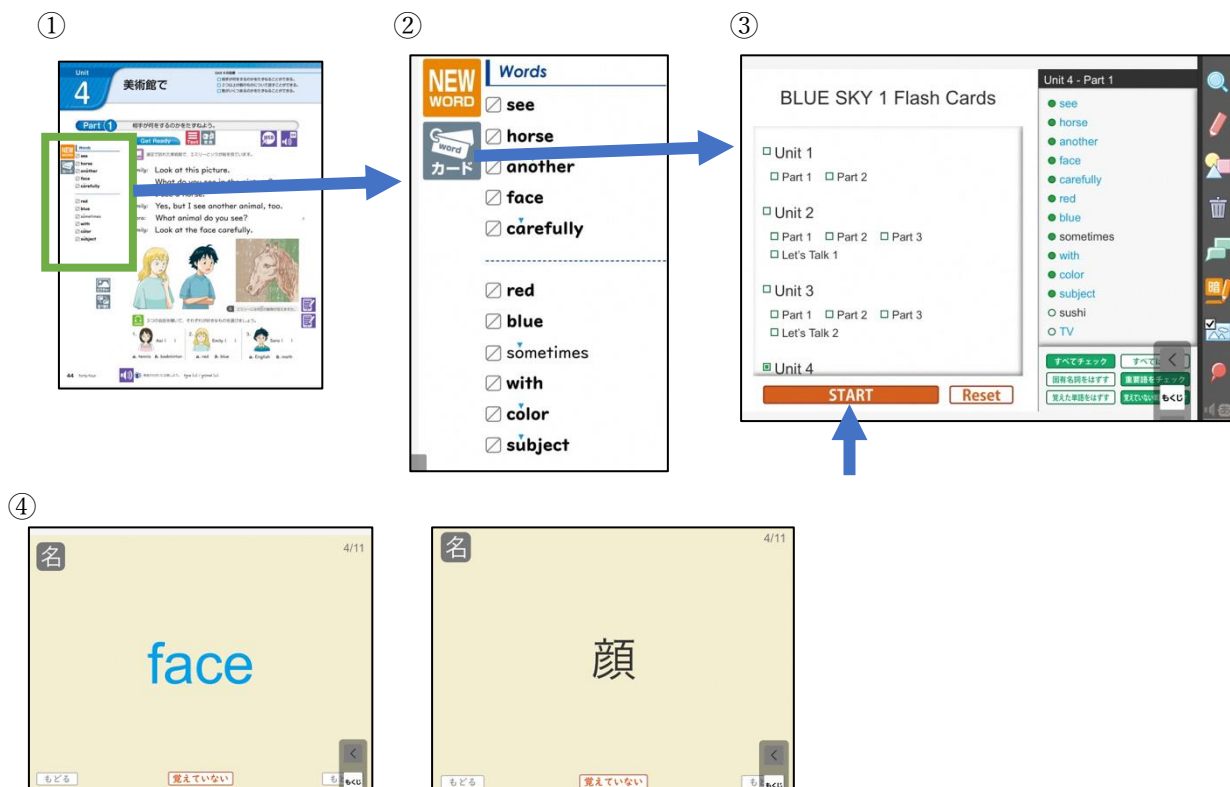
(学習者用デジタル教科書の活用による指導力向上ガイドブック(令和4年度)より抜粋)

上記で示されているように、今まさにデジタル教科書を使用し、授業を展開することが求められています。本稿では、「明日からでも使ってみるデジタル教科書」をテーマにデジタル教科書の簡単な使い方を紹介します。

1 単語練習

以前はフラッシュカードを使って単語の発音練習等を行ってきました。しかし、今はデジタル教科書のカード機能を使えば簡単に練習ができます。

(参考教科書 啓林館: BLUE SKY 1)



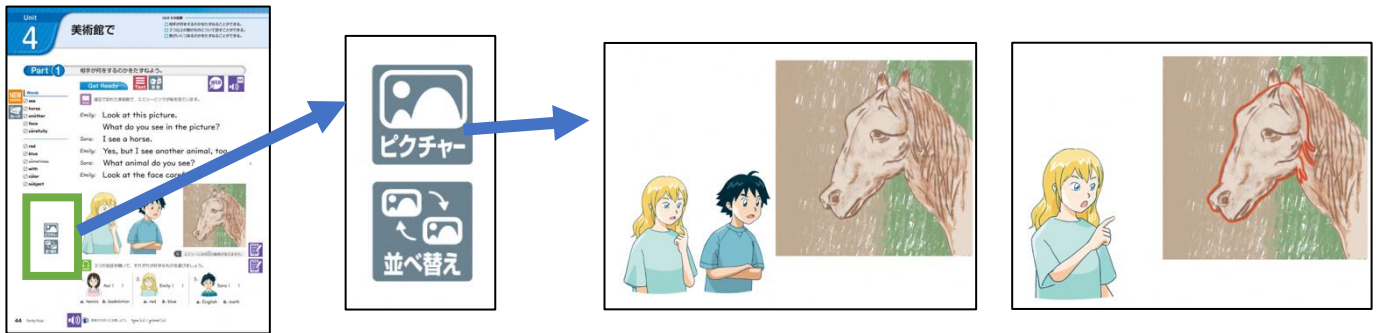
※この画面をモニターで写して、デジタル教科書から流れてくる音声とともに練習を見童生徒たちとすれば以前までのフラッシュカードを使った練習ができます。

(英→日、日→英、英語のみ、日本語のみ、ランダムと選択可能)

- 👉 イヤフォンで音声を聞きながら個別で練習することもできます。「覚えていない」ボタンを押すことで何度も覚えていない単語を練習することもできます。
- 👉 音声を何度も聞かせることは非常に大切なことです。聞いた単語を2回リピートさせる練習など、次の単語までの時間を設定することで、練習にも活気が出てきます。
- 👉 慣れてきたら、再生をランダムにしたり、日本語を表示して英語を発音させたりするなど、少し遊び心をもって練習させるのもいいアイデアです。

2 ピクチャーカードを使う

今までは、大きなピクチャーカードを教室に持ってきていました。しかし、デジタル教科書を使えば体力の消費は unnecessary です。しかも、それ以外にもデジタルは可能性がいっぱい！！



※以前のように一枚のカードを投影して

- ①教師が絵を見せながら“They are talking about the picture. What do you see, S1?”と児童生徒たちと絵の様子についてやりとりをします。
- ②児童生徒の中からいろいろな意見が出てきたところで“OK, now let’s listen to the conversation”と話し、写真を消して英文だけを聞かせる。(スピードを変えて聞かせることも可能)
- ③What animal do you see?ともう一度たずね、児童生徒が自信をもって答えられることを見取ったら、もう1度絵付きで英文を流す。

👉 ピクチャーカードの使い方は様々です。デジタルになったことで簡単にワークシートにピクチャーカードを貼り付け、リテリングの教材をつくることも簡単になりました。

👉 音声を流して、聞こえた内容を簡単な絵で表させます。その後ピクチャーカードを見せて内容の理解を深めさせると、児童生徒は聞こえた英文を絵に表すことでイメージをもって英語を聞くことができます。その内容をピクチャーカードと照らし合わせることで更なる英文理解につなげることができます。(再生スピードを変えるなど工夫しながら取り組ませると効果的です)

(個別に取り組ませたい時)

👉 内容を聞き取れたことが課題解決につながるような課題を設定します。

- ①聞き取りのポイントをワークシートに示し、音声のみを聞かせます。(再生速度はゆっくり→速い)
- ②ピクチャーカードを見せながら再生します。
- ③字幕付きで再生します。

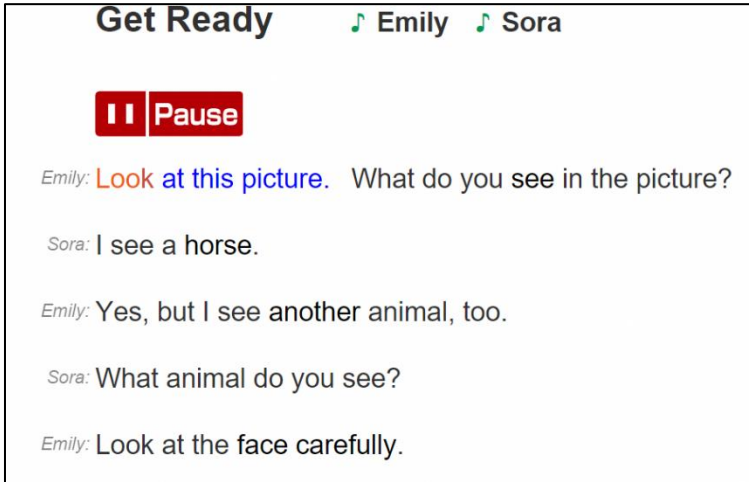
👉 ピクチャーカードをワードなどに貼り付けて、並べ替えをさせる方法も導入として使えます。

3 音読練習

デジタル教科書の音読機能を活用しましょう。

①聴かせたい！練習させたい！部分を選択して練習できる。

(図1)



Get Ready Emily Sora

Pause

Emily: Look at this picture. What do you see in the picture?

Sora: I see a horse.

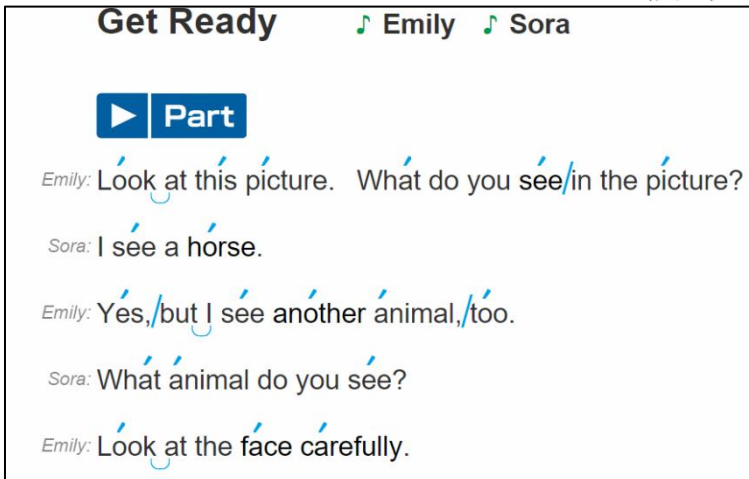
Emily: Yes, but I see another animal, too.

Sora: What animal do you see?

Emily: Look at the face carefully.

★練習させたい英文を選択すると、英文が流れます。(図1)

(図2)



Get Ready Emily Sora

Part

Emily: Look at this picture. What do you see/in the picture?

Sora: I see a horse.

Emily: Yes,/but I see another animal,/too.

Sora: What animal do you see?

Emily: Look at the face carefully.

★デジタル教科書には、発音のポイントやアクセントなどを表示できます。(図2)

★音と音のつながりやアクセント、ポーズなど英語特有の発音を繰り返し聞かせることもできます。

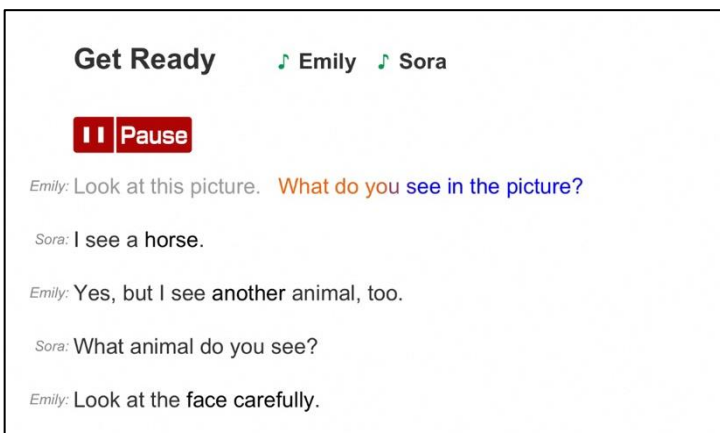


生徒たちに強く読む場所やアクセントなどを一度書かせたり、発表させたりしてから、図2を表示することもアイデアの1つです。

②役割リーディング：役割を決めてリーディング練習もできます。

(例) ♪Emilyを押すと、Emilyのパートが読まれません。このように役割を決めて練習できることも1つのメリットです。

③カラオケリーディング



Get Ready Emily Sora

Pause

Emily: Look at this picture. What do you see in the picture?

Sora: I see a horse.

Emily: Yes, but I see another animal, too.

Sora: What animal do you see?

Emily: Look at the face carefully.

字幕がカラオケのように表示されます。自分のスピードとモデル文のスピードをカラオケのように練習することもできます。これは個別練習でも使えますし、全体指導でも使えます。

④スラッシュリーディング

意味のまとまりを考えながら音読をさせる方法を取り入れてみましょう。

例えば、右のように英文が書かれた本文を配り、

T: 意味のまとまりを考えて、意味のまとまり（チャンク）ごとにスラッシュを入れましょう。

S: やってみる。

T: この英文では11本のスラッシュが入ります。

S: 考える。

T: では、皆さんで確認してみましょう。(Part1を提示する。)

There are ramps in stations and stores.
They are for wheelchair users. The users can go up and down the ramps. These ramps are also useful to people with baby strollers or heavy suitcases. It is hard to go up and down stairs with such things. The ramps make many people happy.


Part 1

There are ramps /
in stations and stores. /
They are for wheelchair users. /

The users can go up and down
the ramps. /
These ramps are also useful /
to people with baby strollers /
or heavy suitcases. /

It is hard /
to go up and down stairs /
with such things. /

The ramps make many people
happy. /

 チャンクごとに日本語の提示もできます。日本語だけを提示して英語に直すトレーニングも行うことができます。サイトトランスレーションにも活用できます。

※ワークシートに反映させることも可能です。

データをうまく使用し、ワークシートへ反映することも可能です。活用の仕方は工夫次第です。

Part 1

There are ramps /	スロープがあります
in stations and stores. /	駅や店には。
They are for wheelchair users. /	それらは車いすの利用者のためのものです。
The users can go up and down the ramps. /	利用者はスロープを上り下りすることができます。
These ramps are also useful /	これらのスロープはまた役立ちます
to people with baby strollers /	ベビーカーを持った人にも
or heavy suitcases. /	あるいは重いスーツケースを持った人にも。
It is hard /	困難です
to go up and down stairs /	階段を上り下りすることは
with such things. /	そのようなものを持って。
The ramps make many people happy. /	スロープは多くの人を幸せにします。


⑤マスキングを活用してリーディング


デジタル教科書にはマスキングができる機能があります。

新出単語をマスクしたり、ランダムに単語数を指定してマスクしたりできます。

もちろん指導者用のデジタル教科書には自分で隠せる機能もついていますので覚えさせたい単語やフレーズを隠してリーディングに取り組みさせることもできます。

 複数形のsの発音を確認させたい時

 a や the を確認したい時

 三人称単数や過去形など動詞の変化を意識してマスクすることもできます。

Get Ready

▶ Part

There are in stations and stores. They are for users.
The users can go up and down the ramps. These ramps are also useful to people with or heavy suitcases. It is hard to go up and down with such things. The ramps make many people happy.

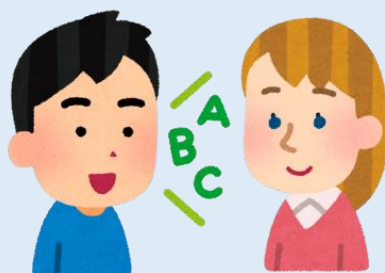
まとめ

現在、便利なアプリ、ICT の活用方法はたくさん紹介されています。しかし、ICT を使うことが授業のメインの活動になっては本末転倒です。先生方一人一人の授業の中で「～の力を付けるために〇〇な場面で ICT を使う」など児童生徒の力を伸ばすためにより効果的に使うことが求められています。

そして、児童生徒たちにとって個別最適な学びを実現する一つ的手段であることも忘れてはいけません。聞き取れなかった英語を何度も再生したり、録音した自分の発音を何度も聞いたり、ゴールに向かって何度も繰り返し練習したり、挑戦したり手軽にできることも一人一台端末は可能にしました。English User をこれからの世の中に輩出するためにも、今私たちに求められているのは、この ICT を使って子供たちが自ら課題に取り組んでいける授業づくりです。そして、英語は楽しい！英語を使ってたくさんの人と話したい！と思う児童生徒がこれからも増えることを願ってよりよい授業を目指し、これからも研究を重ねていきましょう。

小学校向け

ALTとのチーム・ティーチング ～チーム・ティーチングで大切なこと～



はじめに

現在、日本の小学校の外国語教育では、日本人教師（学級担任や英語専科教員など）による単独での授業、外国語指導助手（Assistant Language Teacher；以下ALTと略す）と外部人材とのチーム・ティーチング（Team Teaching；以下TT）等、学校の実態に合わせた指導が行われています。TTの形態については、学級担任とALT、英語が堪能な地域人材、英語専科教員等、様々なパターンが考えられますが、ALTの活用時数の割合が年々増加傾向にあることを踏まえ、本稿では、「学級担任とALTとのTTについて」述べていきたいと思えます。

チーム・ティーチングの意義

チーム・ティーチングとは…



「ある特定の学習集団に対して2人以上の教師がチームを組み、協力して指導にあたる教育方法」

（『英語教育用語辞典』1999）

【考えてほしいポイント】

- 複数の指導者がいるからこそ可能なことは何か？
- 指導者それぞれの適性や個性を生かした授業とはどのようなものか？

学級担任とALTのもつ特性

<p>学級担任等の特性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人をよく理解しているため、学習指導と生活指導の両面に配慮し、学級の児童の発達段階に応じた内容を設定することができます。 ・児童と信頼関係が構築されており、児童が外国語活動や外国語科の授業を担当が担当することに安心感を覚え、リラックスして授業に臨むことができます。 ・（小学校の場合は）全教科等を担当しているため、他教科等での学びを外国語学習に取り入れることができます。 ・英語学習者の一人として、児童とともに英語を使い、学ぶ存在です。
<p>ALTの特性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイティブ・スピーカーの発音を聞かせたり、母国の生活や文化等の情報を伝えたりすることができます。 ・児童にとって、学んだ英語を実際に使えるコミュニケーションの相手です。

日本人教師の役割とは

日本人教師（学級担任、英語専科教員等）の役割は何か？

- 年間指導計画を立てます。
- 授業準備をします。（指導案作成、教材準備）
- ALTと打ち合わせを行い、役割を事前に話し合います。
- T1として授業をリードする。
- クラスルームマネジメントをする。（児童観察、学習規律）
- 児童の理解度を確認する。
- 学習評価を管理する。
- 他教科や学校行事と外国語教育の連携をする。
- 教育委員会主催、または外部の研修会に参加する。



ALTの役割とは

外国語教育において、ALTに求められている役割は何か？

- 授業の目的、指導内容を理解します。
- 指導手順、指導の役割分担、教材等を把握します。
- 教材作成やその補助を行います。
- 活動についての説明、助言、講評を行います。
- 言語モデルの提示をします。
- 音声、表現、文法等についてのチェックや助言を行います。
- 児童との会話を行います。
- 母国の言語や文化についての情報を提供します。



TTのメリットと課題

TTのメリットを考えると、

- 充実した指導環境をつくることができます。
 - ・専門性 ・授業準備 ・支援体制 など
- 効率的に授業を行うことができます。
 - ・ロールプレイ ・クラスを二つに分けて少人数指導 など
- 児童の学習意欲を刺激できます。
 - ・英語を使う教師の姿 ・ALTの存在 など
- 言語的・文化的な違いを示すことができます。
 - ・文化的、習慣的な違いを体験 など

一方、課題は・・・

- ▲ 打合わせやリハーサルに時間を取られます。
- ▲ 授業をALTに任せっきりにしてしまいます。
- ▲ ALTをうまく活用できません。
- ▲ 自分の都合に合わせて、柔軟に予定を変更できません。
- ▲ 教師間で意見が対立します。
- ▲ 児童がALTとコミュニケーションを行う場面が少ないです。
- ▲ 日本人教師がALTの発話を過度に日本語に訳してしまいます。



課題は山積みですが、これらの課題を改善するための改善策が四つあります。

A L T と の 打 合 せ に つ い て

教員には空き時間が少なく、打ち合わせの時間を十分に確保することが難しい。



【改善策】

- 指導案等を使って、会話のやり取りやポイントのみを英語で明記します。
- 特に主となる活動のねらいと役割分担について確認します。
- 各市町村で教員同士の共有フォルダがある場合には、指導案や連絡事項をALTと共有します。

「T Tの仕方がわからない」問題

日本人教師ができることを考えてみましょう。



【改善策】

- スケジュールや授業計画は、日本人教師（T1）が立ててALTに伝えます。授業中、児童観察や時間コントロールに徹します。
- 日本人教師は、日本語を効果的にタイミングよく使います。児童生徒の英語への気付きや理解を促すために使います。
- 教師が楽しんで英語を学ぶ姿を児童に見せます。ALTと懸命にコミュニケーションを取る姿こそが児童の手本となります。

「ALTとの共通言語がない」問題

日本人教師は英語ができず、ALTは日本語ができないため、意思疎通が難しくなります。

【改善策】



- 翻訳ツールを積極的に活用しましょう。お勧めのアプリは「DeepL(ディープエル)翻訳」。是非、一度、お試しください。
※DeepL翻訳はDeepL SEが開発した翻訳ツールです。
- クラスルームイングリッシュを覚えましょう。ポイントは、1日1フレーズ覚えることです。「小学校外国語活動・外国語研修ハンドブック」に多数掲載されています。

ALTとの文化的違いについて

日本人教師とALTの文化的な違いは、時にTTを難しくします。



【改善策】

- 日本人教師が「ここは日本なんだから…」という態度を取るのはいさぎ悪いです。感情的にならないように、忍耐強く時間をかけて対処しましょう。
- ALTとの衝突は異文化理解へのチャンスでもあります。ALTの母国の事情について話をしてもらいましょう。

TTの授業の参考サイトを紹介

- 「外国語活動・外国語科授業を観る（小学校）」

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/index_00004.htm

言語活動から学習評価まで様々な動画がアップされています



- 「JETプログラム ALT用 来日時研修用コンテンツ」

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503_00004.htm



- 「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm



おわりに

本稿では、小学校におけるチーム・ティーチングの意義や日本人教師とALTの役割、TTの課題や解決策についてまとめ、何点か提案をさせていただきました。

最後まで読んで下さった方の中には、「実際の授業についてもっと知りたかった」と内容に物足りなさを感じた方もいらっしゃるかもしれませんが、現場で指導する先生方に、「これならできる」「やってみようかな」と考えていただく内容となることを最優先に心掛けました。

今後も、ALTとのコミュニケーションを大切にしながら、チーム・ティーチングの指導力向上を目指してほしいと願っております。

参考資料

1 帯活動パート

- ・ 『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』（文部科学省，2017）
- ・ 『身近な話題で楽しく話せる！ Small Talk 月別メニュー』（山口美穂，明治図書，2019）
- ・ 『英語トリオ・ディスカッション指導ガイドブック』（上山晋平，明治図書，2023）

2 ICTパート

- ・ 『学習者用デジタル教科書の活用による指導力向上ガイドブック』（文部科学省，2022）
- ・ 小学校学習指導要領（平成 29 年告示）外国語活動・外国語編
- ・ 中学校学習指導要領（平成 29 年告示）外国語編
- ・ BLUE SKY 1 English Course 1 株式会社新興出版社啓林館

3 ALTパート

- ・ 『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』（文部科学省，2017）
- ・ 『ALT とのティーム・ティーチング入門』
- ・ （祁答院恵古・高野のぞみ・蒲原順子，大修館書店，2022）
- ・ 「（別紙）文部科学省が一般的に考える外国語指導助手（ALT）とのティーム・ティーチングにおける ALT の役割（文部科学省）」
https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1304113.htm

青森県小・中学校外国語教育充実検討委員会 (『AOMORI ENGLISH PACKAGE』作成委員)

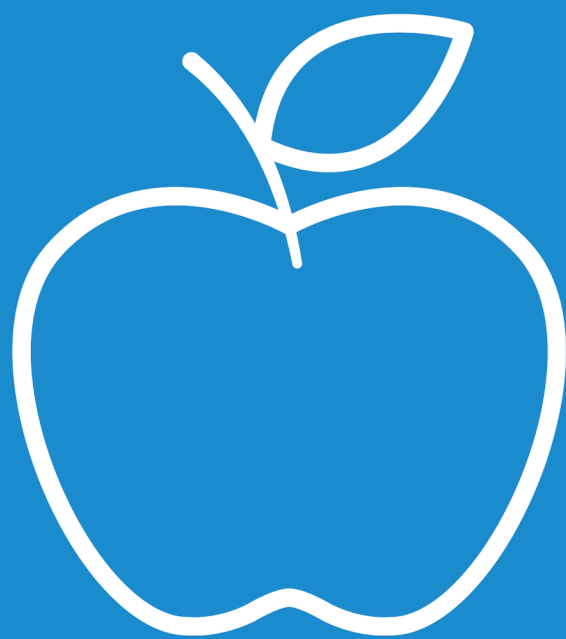
(令和6年3月現在)

鹿内 裕一	主査兼指導主事	青森市教育委員会
石久保 美喜	主査兼指導主事	青森市教育委員会
工藤 誉士	指導主事	弘前市教育委員会
西村 章華	主任指導主事	八戸市教育委員会
對馬 弘樹	指導主事	黒石市教育委員会
木村 千穂	指導主事	五所川原市教育委員会
内山 浩晃	指導主事	十和田市教育委員会
月足 正亮	指導主事	三沢市教育委員会
秋田 久美子	指導主事	三沢市教育委員会
細越 周作	指導主事	むつ市教育委員会
坂本 朋子	主任指導主事	つがる市教育委員会
佐々木 孝典	指導主事	中部上北広域事業組合教育委員会
横山 祥人	指導主事	六戸町教育委員会
向中野 純子	指導室長	野辺地町教育委員会
高田 早苗	指導主事	東通村教育委員会
佐々木 紀人	指導主事	東青教育事務所
原 倫子	指導主事	西北教育事務所
葛西 昭吾	指導主事	中南教育事務所
相馬 葉子	指導主事	上北教育事務所
長内 人志	主任指導主事	下北教育事務所
吉成 京子	指導主事	三八教育事務所
長谷川 紘一	指導主事	県総合学校教育センター
加藤 匡顕	指導主事	県教育庁学校教育課

AOMORI ENGLISH PACKAGE

令和6年3月発行

発行者 青森県教育庁学校教育課
青森県青森市長島一丁目1番1号
電話番号 017-734-9895
FAX 番号 017-734-8270



発行 青森県教育庁学校教育課